

# All-In-One Tool V2 ユーザーマニュアル



All-In-One Tool

---

# 目次

---

本書について.....	5
<b>法的情報.....</b>	<b>6</b>
著作権.....	6
免責事項.....	6
商標.....	6
ソフトウェアの更新に関する免責事項.....	6
<b>はじめに.....</b>	<b>8</b>
概要.....	8
特長.....	9
システム要件.....	11
サポートされるモデル.....	11
<b>はじめて使うとき.....</b>	<b>12</b>
インストール.....	12
サインアップ/ログイン.....	16
ログアウト.....	21
プリンタの追加.....	22
自動検出によるプリンタの追加.....	23
サポートされているインタフェース設定を使用して手動でプリンタを追加する.....	25
<b>アプリケーションの操作.....</b>	<b>27</b>
ツールバー.....	28
プリンタの検索.....	30
その他のアプリ.....	32
[単位変換ツール].....	32
[プリンタドライバ経由SBPL送信].....	33
[画像変換].....	35
アプリケーションの基本設定.....	37
既定言語の設定.....	38
国と地域の設定.....	38
アプリケーション動作ログの有効化.....	38
アプリケーションログの有効化.....	38
ヘルプ.....	39
[新しい機能].....	39
[オンラインマニュアル].....	40
プリンタページ.....	41
リスト表示のプリンタページ.....	42
グリッド表示のプリンタページ.....	45
プリンタ情報の表示と編集.....	48
プリンタ・グループ.....	53
フォルダとサブフォルダの作成.....	54
プリンタを別のフォルダに移動する.....	58
<b>アプリケーションのさまざまなメニュー.....</b>	<b>59</b>
[その他] メニュー.....	60

[ツール] メニューへのアクセス.....	61
SBPLコマンドの送信とプレビュー.....	62
SBPLコマンドの送信.....	63
SBPLコマンドをプレビューする.....	65
ステータス監視機能の無効化/有効化.....	68
NFC設定の出力.....	70
オフライン/オンラインの設定.....	76
Web設定を開く.....	77
プリンタディスプレイカスタマイズ.....	79
プリンタログのエクスポート.....	82
メディアプロファイルの登録.....	85
フォントのアップロード.....	87
TrueTypeフォント全体のアップロード.....	88
選択した文字のアップロード.....	91
画像アップロード.....	93
画像をプリンタにアップロードする.....	95
ファームウェアのアップロード.....	97
プリンタのサポートと連絡先.....	98
[オンラインチケット登録].....	98
[営業担当].....	98
[ツール] メニュー.....	99
アップロード.....	100
クローン作成.....	102
パッケージのインストール.....	104
テスト印字.....	107
指定ファイルを使用したテスト印字.....	107
プリンタ設定情報を使用したテスト印字.....	108
再起動.....	110
[設定] メニュー.....	111
[印字]メニュー.....	112
[一般] 設定.....	112
[ハクリ設定].....	113
[基点補正]設定.....	114
[詳細設定]設定.....	114
[高精度印字モード] 設定.....	120
[通信設定]メニュー.....	121
[一般] 設定.....	121
[ネットワーク] 設定.....	121
[IEEE1284] 設定.....	136
[RS-232C] 設定.....	137
[USB] 設定.....	137
[Bluetooth] 設定.....	138
[NFC] 設定.....	140
[外部信号] 設定.....	140
[RFID] 設定.....	144
[バッテリー]メニュー.....	148
[状態].....	148
[サイクルカウント].....	148
[エコ充電].....	148
[充電完了後電源オフ].....	148
[キャパシティ].....	148
[アプリケーション]メニュー.....	149
[一般] 設定.....	149
[グループ自動切替].....	149
[SBPL] 設定.....	149
[SZPL] 設定.....	151
[SIPL] 設定.....	152
[STCL] 設定.....	152

[SDPL] 設定.....	153
[SEPL] 設定.....	157
[AEP].....	158
[スタンドアロン]メニュー.....	159
[AEP].....	159
[システム]メニュー.....	160
[一般] 設定.....	160
[地域] 設定.....	161
[お知らせ] 設定.....	162
[ブザー音] 設定.....	164
[低消費電力モード] 設定.....	164
[パスワード] 設定.....	165
[互換] 設定.....	165
[ツール]メニュー.....	168
[一般] 設定.....	168
[HEXダンプ].....	168
[バーコードチェッカー].....	168
[ログ採取].....	169
[オートクローン設定].....	170
[インフォメーション]メニュー.....	171
[ビルドバージョン].....	171
[印字モジュール].....	171
[センサモジュール].....	172
[FPGAバージョン].....	172
[カウンタ].....	172
[実印字動作].....	173
[LAN].....	174
[Wi-Fi].....	174
[Wi-Fi バージョン].....	174
[Bluetooth].....	175
[IPアドレス].....	175
[IPアドレス].....	175
[LAN MACアドレス].....	175
[Wi-Fi MACアドレス].....	175
[Wi-Fiモジュール].....	175
[Bluetooth]メニュー.....	176
[有効].....	176
[名前].....	176
[PINコード].....	176
[BDアドレス].....	176
[BDバージョン].....	176
[iOS再接続機能].....	176
[認証].....	176
[ISI].....	176
[ISW].....	176
[PSI].....	177
[PSW].....	177
[CRCチェック].....	177
[通信プロトコル].....	177
[Wi-Fi]メニュー.....	178
[Wi-Fi設定].....	178
[有効].....	182

よくあるご質問 (Q&A) ・ お問い合わせ.....	183
-----------------------------	-----

---

# 本書について





---

All-In-One Toolをご利用いただき、ありがとうございます。

本書は、All-In-One Toolの機能に関する情報と説明のみを示したものです。プリンタのその他の操作、設定についての詳細は、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。

## 記号について

本書では、以下の記号を使用しています。

記号	説明
 (警告)	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 (注意)	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 (補足)	知っていると便利な補足情報を示しています。
 (参照)	関連情報の参照先を示しています。



- いかなる形態においても本書の内容の一部または全部を転載することを禁じます。
  - 本書の内容は、予告なく変更される場合があります。
  - 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入された販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。
-

---

# 法的情報

---

## 著作権

---

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

© 2023 SATO Corporation. All rights reserved.

## 免責事項

---

株式会社サトーおよび日本、米国、およびその他の国におけるその子会社は、本書に記載されている情報の利用に起因する損害または特許権その他の侵害に関しては、一切その責任を負いません。株式会社サトーは、本書の記載内容の間違いや欠落、あるいは本書の提供、配布、性能、または使用によるいかなる直接的、間接的、偶発的、結果的な損害についても、責任を負いません。

本書に記載されている仕様および内容は、予告なく変更されることがあります。

## 商標

---

- 以下は、サトーホールディングス株式会社および国内外の子会社の登録商標です。
  - SATO
  - SOS (SATO Online Services) (ロゴ)
- QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。
- Windows、Microsoftは、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Android、Googleは、Google LLCの商標または登録商標です。
- IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の商標です。
- Wi-Fi<sup>®</sup>は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- 以下はWi-Fi Allianceの商標です。
  - Wi-Fi Direct<sup>™</sup>
  - WPA<sup>™</sup>
  - WPA2<sup>™</sup>
- その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

## ソフトウェアの更新に関する免責事項

---

本書に記載の情報の正確性と最新性については万全を期しておりますが、本書の内容が古くなっている可能性もあります。そのような場合は、<https://www.sato.co.jp/support/>から本書の更新版がないかご確認ください。

---

# はじめに

---

## 概要

---

All-In-One Toolは、ユーザーがシステム全体のインフラストラクチャ上でプリンタをシームレスに設定できるようにするためのプリンタ管理ユーティリティです。

プリンタが、USB、イーサネット、またはワイヤレスのいずれで接続されている場合でも、ユーザーは、All-In-One Toolを使用して用途に合わせてかんたんにプリンタを設定できます。

プリンタをリモート操作できるAll-In-One Toolは、以下の目的のために開発されました。

- 弊社パートナーやユーザーがプリンタを容易に設定、導入できるようにする。
- このアプリケーションと互換性のあるプリンタの設定と操作を、一か所でおこなえるようにする。
- できるだけ多くのソフトウェアプリンタユーティリティを1つのアプリケーションに統合する。



## 特長

---

All-In-One Toolには以下のような特長があり、プリンタを効率的に管理できます。

- **多言語表示**

All-In-One Toolは、英語、中国語簡体字、日本語で使用できる、便利で使いやすいアプリケーションです。

- **一元管理**

すべてのプリンタの印字方式、解像度、印字速度などの設定を一目で確認、管理できます。ITチームや本社が、ネットワーク上で世界のさまざまな場所に展開された複数のプリンタを管理するのに理想的です。

- **プリンタ・グループ**

ユーザーは、特定の条件または分類に基づいてプリンタを編成およびグループ化することができます。プリンタの分類は、個人のこだわりや組織上の規定に応じて変更することができます。

- **設定のアップロードとクローン作成**

プリンタ固有の設定を、1台または複数のプリンタに一度にアップロードしたりクローン作成できるため、プリンタの設定に要する時間を削減できます。

- **複数のインタフェース接続**

LAN、無線LAN、USBなどさまざまなインタフェースを介して接続されているプリンタを管理できます。

- **カスタマイズ可能なフォントと画像**

カスタムフォントと画像をプリンタのメモリにアップロードすることで、印字文字列を最適化し全体のスループットを向上させることができます。

- **ソフトウェアが自動的に更新されるため安心**

All-In-One Toolは、起動されるたびに新しい更新がないか自動的に確認し、更新がある場合はユーザーにお知らせします。このためアプリケーションが古くなる心配がなく、安心です。

- **直感的な自動検出機能とプリンタ設定機能により生産性が向上**

お客様のプリンタ群を自動的に検出して設定します。プリンタが世界中のどこにあるかにかかわらずネットワーク上の複数のプリンタを管理できます。

- **ログインによるセキュリティを強化**

All-In-One ToolではEメールと認証コードを使用してアプリケーションにログインすることでセキュリティを強化できます。ログインすることでプリンタへのフォントと画像のアップロードなどの高度な機能を使用でき、プリンタの管理を最適化できます。

- **アプリケーションのログ機能を使用した継続的な改善**

All-In-One Toolは、お客様の利用状況データを収集し、お客様のニーズにお応えできるよう設計していきます。

## システム要件

---

All-In-One Toolをご利用いただくためのシステム要件は以下のとおりです。

- 64ビットのWindows 10、Windows 11以降が動作し1GB以上のストレージ空き容量があるコンピュータで実行すること
- 本アプリケーションを実行するコンピュータにサトーの対応プリンタが少なくとも1台接続されていること
- 本アプリケーションを実行するコンピュータがインターネットにアクセスできること

## サポートされるモデル

---

現行バージョンのAll-In-One Toolでサポートされるプリンタのモデルは以下のとおりです。

- CL4NX/CL4NX Plus/CL4NX-J/CL4NX-J Plusシリーズ
- CL6NX/CL6NX Plus/CL6NX-J/CL6NX-J Plusシリーズ
- CT4-LX/CT4-LX-HC（海外モデル）/HC4-LXシリーズ
- FX3-LX\_Ln（海外モデル）
- PW208NX/PW208mNX
- PW4NX
- S84NX/S86NX シリーズ（海外モデル）

\* ご使用いただけるプリンタは国や地域により異なります。詳細は、購入された販売店またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

All-In-One Toolは継続的に改良されており、他のモデルのプリンタも、お客様からのご要望に応じ今後サポートされる予定です。



- このアプリケーションでサポートされないプリンタでも、前バージョンのAll-In-One Toolをご利用いただける場合があります。詳細は、購入された販売店またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
-

---

# はじめて使うとき

---

## インストール

---

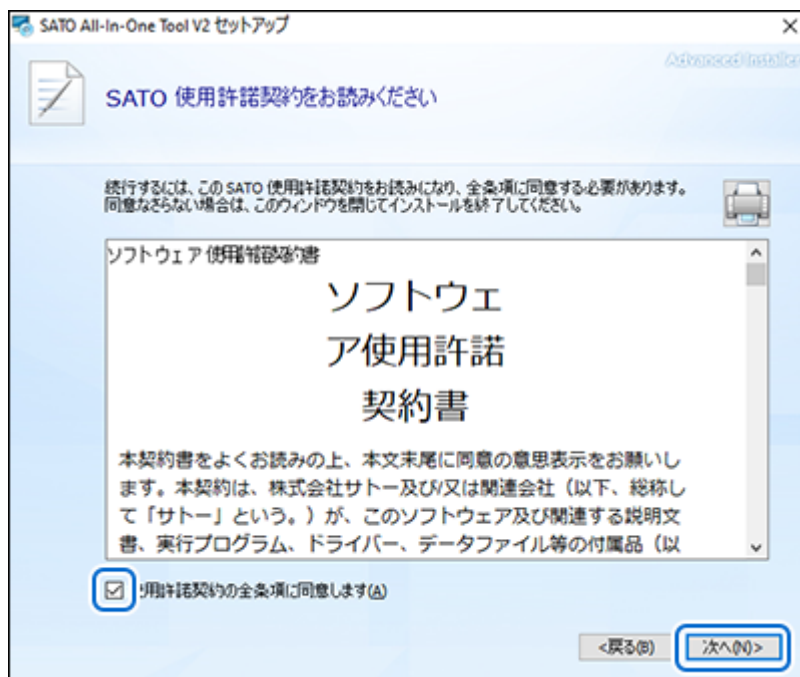
サトーのWebサイトからAll-In-One Tool V2インストールソフトウェアをダウンロードします。<https://www.sato.co.jp/support/printer/all-in-onetool/>

インストールソフトウェアを入手したら、セットアップファイルをダブルクリックしてアプリケーションをインストールします。

1. 「ようこそ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。



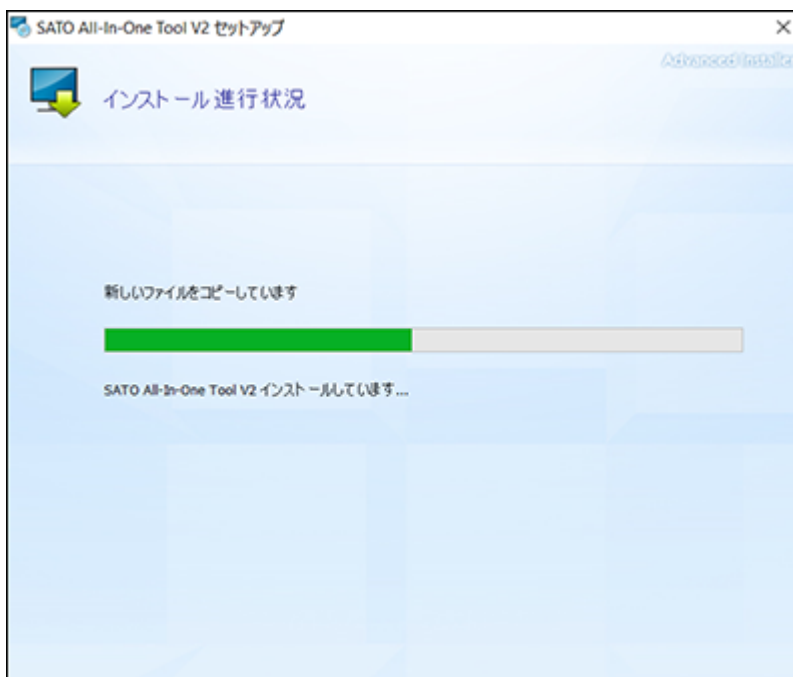
- スクロールしてソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。内容に同意するにはチェックボックスを選択します。[次へ]をクリックして次に進みます。



- アプリケーションのインストール先を選択して[次へ]をクリックします。



4. [インストール]をクリックするとインストールが開始されます。



5. 正常にインストールできたら[閉じる]をクリックします。



6. Windowsの [スタート]ボタンをクリックし、[SATO] > [SATO All-In-One Tool V2]を選択してAll-In-One Tool V2アプリケーションを開きます。



- インストール後、または旧バージョンからV2.6.0への更新後にAll-In-One Tool V2アプリケーションをはじめて開くと、[設定]ダイアログボックスが表示されます。



既定の国を設定し、[保存]をクリックして操作を進めてください。選択したオプションは、あとから[アプリケーション設定]ページで変更できます。

- [保存]ボタンをクリックせずにアプリケーションを閉じた場合は、次回起動時にダイアログプロンプトが表示されます。

## サインアップ/ログイン

All-In-One Toolをはじめて使用するときはゲストとして扱われ、アクセスが制限されます。このアプリケーションの全機能を使用できるように、ご自身のアカウントを使用してサインアップしログインしてください。



- ゲストとしてAll-In-One Toolを使用する場合、以下の操作はできません。
  - プリンタ・ログ・エクスポート

ログインには、Eメールアドレスとワンタイム認証コードを使用します。また、GoogleアカウントやMicrosoftアカウントを使用してログインすることもできます。

Eメールアドレスとワンタイム認証コードを使用するログイン手順を以下に示します。

### 1. 右上のユーザーアイコンをクリックします。





2. Eメールアドレスを入力して[ワンタイムパスワード取得]をクリックします。

Eメールアドレス確認ダイアログが表示されます。

3. Eメールアドレスを確認して[OK]をクリックします。
4. システムからユーザーに、認証コードを含むEメールが送信されます。メールボックスを確認し、Eメールから認証コードを取得してください。

5. 認証コードの最後の6文字を入力します。最初の3文字はログインダイアログと同じです。



- Eメールを受信してから20分以内に認証コードを入力する必要があります。コードが期限切れになった場合は、[ワンタイムパスワード取得]をもう一度クリックして別の新しいコードを取得します。

6. [確定]をクリックします。

7. All-In-One Toolに登録するユーザー名を入力し、[確定]をクリックします。



The screenshot shows the registration screen for 'All-In-One Tool'. At the top left is a blue circular icon of a printer. To its right is the title 'All-In-One Tool' in a large black font, with the subtitle 'SATOプリンタ管理ツール' below it. Underneath, the text 'ユーザー名:' is followed by a text input field containing the placeholder 'ユーザー名 (最大32桁)'. Below the input field is a grey button labeled '確定'. At the bottom of the screen, there is a paragraph of text: 'ユーザー名を入力してください。このユーザー名は All-in-One toolの画面表示に用いられます。'

ユーザーの利用状況共有への同意ダイアログが表示されます。



The screenshot shows a consent dialog box. At the top left is the same printer icon as in the previous screen. To its right is the title 'All-In-One Tool' and the subtitle 'SATOプリンタ管理ツール'. The main content of the dialog is enclosed in a light grey box and contains the following text: 'アプリケーションの改善にご協力ください。', 'アプリケーション品質改善のために利用状況を共有いただくプログラムに同意をお願いします。', and 'この設定はアプリケーション設定からいつでも変更できます。詳細は利用規約をご確認ください。 [利用規約](#).' At the bottom right of the dialog are two buttons: a white button labeled 'キャンセル' and a blue button labeled '同意'.

**8. リンクをクリックして「利用規約」を読み、[同意]をクリックして操作を進めます。**



- サインアップが完了すると、[アプリケーション設定]ページで選択項目を変更したり [アプリケーションログ]の設定を無効にできます。
-

## ログアウト

---

### 1. 右上のユーザーアイコンをクリックします。

ダイアログが開き、ユーザーのログイン用Eメールアドレスと[ログアウト]ボタンが表示されます。



### 2. [ログアウト]をクリックします。

ログアウト確認ダイアログが表示されます。



### 3. [OK]をクリックして操作を進めます。

## プリンタの追加

All-In-One Toolでサポートされているプリンタのみを検出、追加できます。現在は以下のインターフェースのみサポートされています。

- LAN（有線と無線、TCP/IP）
- USB（プラグアンドプレイ）

プリンタを追加する前に、プリンタをコンピュータまたはネットワークに接続してください。接続についての詳細は、各プリンタの取扱説明書を参照してください。

All-In-One Toolには、システムと互換性があるプリンタを検出したり追加したりする方法が2つ用意されています。

### [自動検出によるプリンタの追加](#)

### [サポートされているインターフェース設定を使用して手動でプリンタを追加する](#)

上記のどちらのモードでも、システムは、対象のプリンタとハンドシェイクをおこない適切なコマンドを発行して、プリンタのファームウェア情報の取得を試みます。ハンドシェイクに成功すると、検出されたプリンタがプリンタページに表示されます。



- All-In-One Toolがプリンタへの接続を試みる際には、他のアプリケーション（プリンタドライバなど）が同時にプリンタを使用していないことを確認してください。

たとえば、All-In-One Tool接続時に、プリンタドライバをUSBポート経由でPW208NXに接続していると、問題が発生する可能性があります。

SATO PW208NXのプロパティ

全般 共有 **ポート** 詳細設定 色の管理 セキュリティ Driver Settings

SATO PW208NX

印刷するポート(P)  
ドキュメントは、チェックボックスがオンになっているポートのうち、最初に利用可能なもので印刷されます。

ポート	説明	プリンター
<input type="checkbox"/> LPT3:	プリンター ポート	
<input type="checkbox"/> COM1:	シリアル ポート	
<input type="checkbox"/> COM2:	シリアル ポート	
<input type="checkbox"/> COM3:	シリアル ポート	
<input type="checkbox"/> COM4:	シリアル ポート	
<input type="checkbox"/> FILE:	ファイルへ出力	
<input checked="" type="checkbox"/> USB001	Virtual printer port f...	SATO PW208NX
<input type="checkbox"/> IP_10...	標準の TCP/IP ポート	Brother MFC-9330CDW-Back...

ポートの追加(T)...    ポートの削除(D)    ポートの構成(C)...

双方向サポートを有効にする(E)  
 プリンター プールを有効にする(N)

## 自動検出によるプリンタの追加

All-In-One Toolは、USBインターフェースや、ネットワークシステム内の標準的なLANインターフェースで接続されたプリンタを自動的に検出できます。



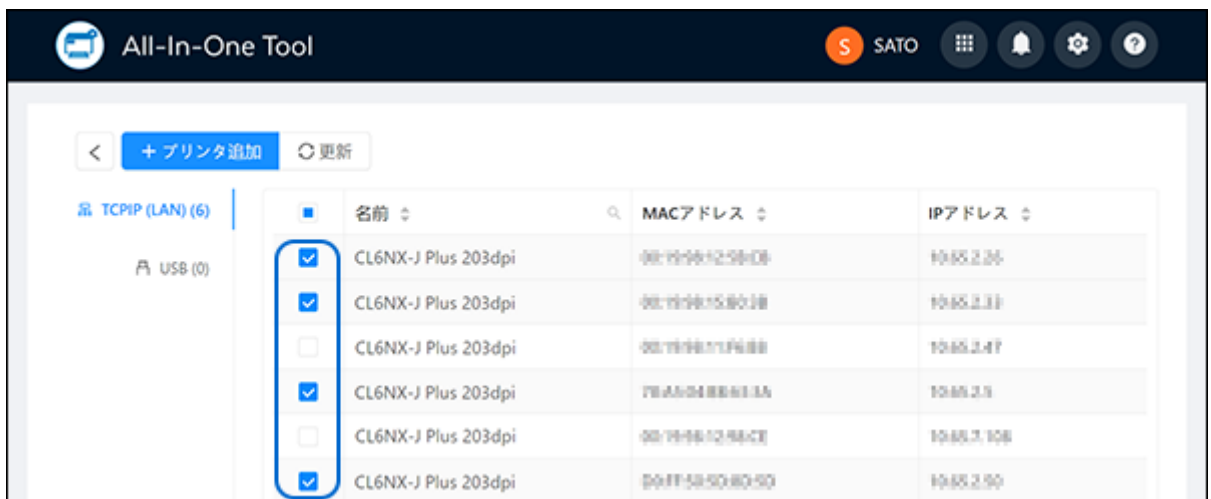
- プリンタが正しくネットワークに接続されているか、IT管理者に問い合わせ確認してください。

### 1. プリンタページで[プリンタ検出]をクリックします。



All-In-One Toolがスキャン動作を開始し、ネットワークシステムに接続されているすべてのプリンタが表示されます。

### 2. 追加したいプリンタのチェックボックスを選択します。



3. [プリンタ追加]をクリックします。



プリンタがプリンタページに追加されます。





## サポートされているインタフェース設定を使用して手動でプリンタを追加する

プリンタのシリーズ、プリンタ名、インタフェース、IPアドレス、ポート番号、およびUSBポートを指定して、All-In-One Toolに新しいプリンタを追加できます。

1. プリンタページで[プリンタ追加]をクリックします。



2. プリンタのシリーズ(a)、プリンタ名(b)、インタフェース(c)、および選択されているインタフェースに必要な設定項目(d)を指定します。



### 3. [確定]をクリックします。

プリンタがプリンタページに追加されます。



# アプリケーションの操作

All-In-One Toolを開いたとき、初期設定ではプリンタページが表示されます。



## (1) ツールバー

上部のツールバーのメニューでは、ログイン/ログアウト、さまざまな便利なアプリへのアクセス、基本設定、最新のアップデートに関する通知や情報の表示、プリンタページに表示されるプリンタリストの検索やフィルタ処理など、複数のアクションを実行できます。

## (2) プリンタページ

プリンタページでは、登録済みのすべてのプリンタをリモートで表示したり管理できます。ユーザーは、プリンタページから他のページに移動して、詳細情報、設定、個々のプリンタソフトウェアユーティリティなどにアクセスできます。

## (3) プリンタ・グループ

プリンタ・グループ機能を使用すると、サブフォルダが親フォルダ内に置かれている階層構造を使用してプリンタを管理および編成できます。

## ツールバー

All-In-One Toolの上部にあるツールバーには、以下の機能が含まれています。



### (1) プリンタの検索

プリンタ名を入力して、プリンタページ上の特定のプリンタを検索できます。また、検索フィルタを利用して、さまざまな条件に基づいて検索結果を絞り込むことができます。この機能を使用すると、広範囲にわたるリストを手動で参照する必要なく、迅速かつ効率的にプリンタを見つけることができます。

 この操作についての詳細は、[プリンタの検索](#)を参照してください。


### (2) ユーザーアイコン

クリックしてサインアップまたはログインすると、このアプリケーションの全機能が使用できるようになります。ログインすると、ユーザー名が、[ゲスト]から、ユーザーの設定したログインユーザー名に変わります。

クリックするとダイアログが開き、ユーザーのログイン用Eメールアドレスと[ログアウト]ボタンが表示されます。




 ログイン操作についての詳細は、[サインアップ/ログイン](#)を参照してください。

 ログアウト操作についての詳細は、[ログアウト](#)を参照してください。

### (3) [他のアプリ]アイコン

単位の変換、プリンタドライバへのSBPLの送信、画像の変換など、お役立ち機能を使用できます。


 この操作についての詳細は、[その他のアプリ](#)を参照してください。

### (4) [お知らせ]アイコン

All-In-One Toolからの通知を表示します。


(5) **[設定]アイコン**

アプリケーションの一般的な設定をおこないます。

 この操作についての詳細は、[アプリケーションの基本設定](#)を参照してください。

(6) **[ヘルプ]アイコン**

現在のアプリケーションバージョンの更新済み情報を表示したり、オンラインユーザーマニュアルのヘルプを参照したりできます。


 この操作についての詳細は、[ヘルプ](#)を参照してください。

## プリンタの検索

プリンタ名を入力して、プリンタページ上の特定のプリンタを検索できます。また、検索フィルタを利用して、さまざまな条件に基づいて検索結果を絞り込むこともできます。この機能を使用すると、広範囲にわたるリストを手動で参照する必要なく、迅速かつ効率的にプリンタを見つけることができます。

上部のツールバーで、プリンタ名を入力して特定のプリンタを検索します。検索結果はプリンタページに直接表示され、検索されたテキストがハイライトされます。



追加のフィルタにアクセスするには、 ボタンをクリックして[検索フィルタ]ダイアログを表示します。





[検索フィルタ]ダイアログが表示されます。



表示された条件を選択することでさまざまなフィルタを適用できます。

[検索対象]の場所、[シリーズ]、[ステータス]、[通信設定]に基づいてプリンタを検索できます。

- 検索フィルタを適用するには、[OK]ボタンをクリックします。
- [検索フィルタ]ダイアログを閉じるには、 ボタンをクリックします。
- [検索フィルタ]ダイアログで選択したフィルタをすべてクリアするには、[絞り込み解除]ボタンをクリックします。

プリンタページでフィルタ処理されたリストは、上部ツールバーの  ボタンをクリックしてフィルタをクリアしない限り、フィルタ処理された状態のままになります。[設定]または[プリンタ検出]を選択すると、フィルタ処理された検索機能もリセットされます。



## その他のアプリ

以下の機能を使用できます。

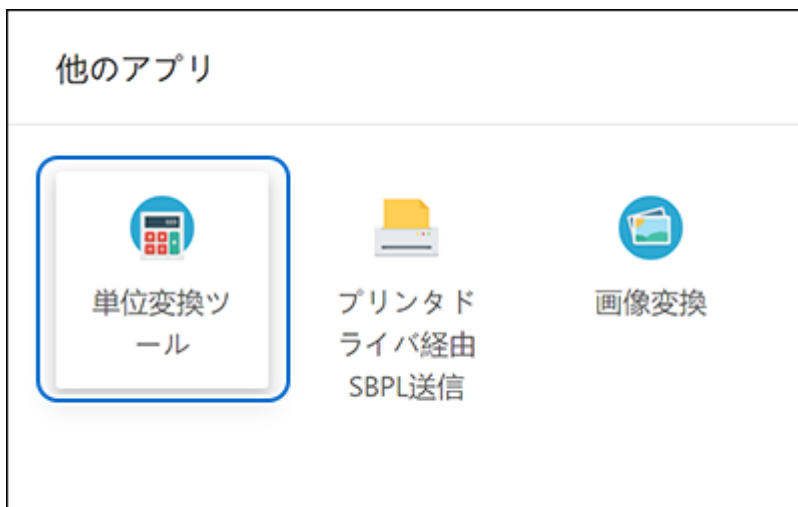
### [単位変換ツール]

この機能を使用すると、対応する解像度の単位をdot、mm、cm、インチ、hexの間で切替えることができます。

1. [他のアプリ]をクリックします。



2. [単位変換ツール]をクリックします。





[単位変換ツール]ダイアログが表示されます。

単位変換ツール

印字解像度: 203dpi 8dots/mm (a)

変換元: dot mm cm インチ hex (b)

変換先: dot mm cm インチ hex (c)

変換する値: 100 (d)

変換後の値: 12.5 (e)

キャンセル 変換

3. [印字解像度]ドロップダウンリスト(a)からプリンタの解像度を選択します。
4. 変換元の単位(b)を選択します。
5. 変換先の単位(c)を選択します。
6. 変換したい値(d)を入力します。
7. [変換]をクリックします。  
変換後の値(e)が表示されます。

## [プリンタドライバ経由SBPL送信]

この機能を使用するとSBPLの印字ファイルをプリンタドライバに送信できます。印字ファイルは、[ドライバプロパティ] > [ポートの設定]で定義されているインターフェースを使用してプリンタに送信されます。

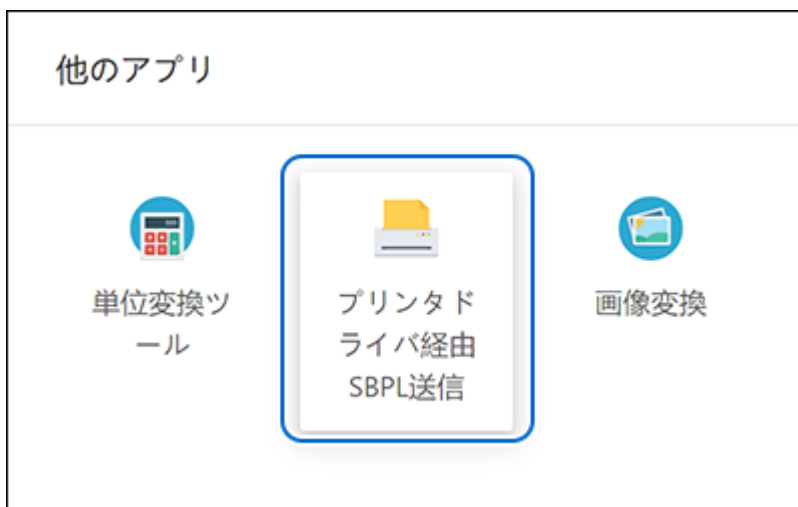


- 印字速度や印字濃度などのドライバ設定値は、印字ファイルには適用されません。

1. [他のアプリ]をクリックします。



2. [プリンタドライバ経由SBPL送信]をクリックします。



[プリンタドライバ経由SBPL送信]ダイアログが表示されます。



3. ファイル挿入ボックス(a)をクリックし、コンピュータのファイルシステムからSBPL印字ファイルを選択します。

4. ドロップダウンリスト(b)からプリンタドライバを選択します。

コンピュータにインストール済みのサポートされているプリンタドライバのみが表示されます。

5. 印字部数をテキストボックス(c)に入力します。

6. 印字ファイルを複数回印字する場合は[間隔]チェックボックス(e)を選択します。印字ファイル間には遅延時間が必要です。
7. 遅延時間をミリ秒単位（1秒=1000ミリ秒）でテキストボックス(d)に入力します。
8. [OK]をクリックします。

## [画像変換]

このユーティリティは、画像ファイル（\*.BMP、\*.GIF、\*.JPG、\*.PNG）をSBPLコマンドに変換できます。

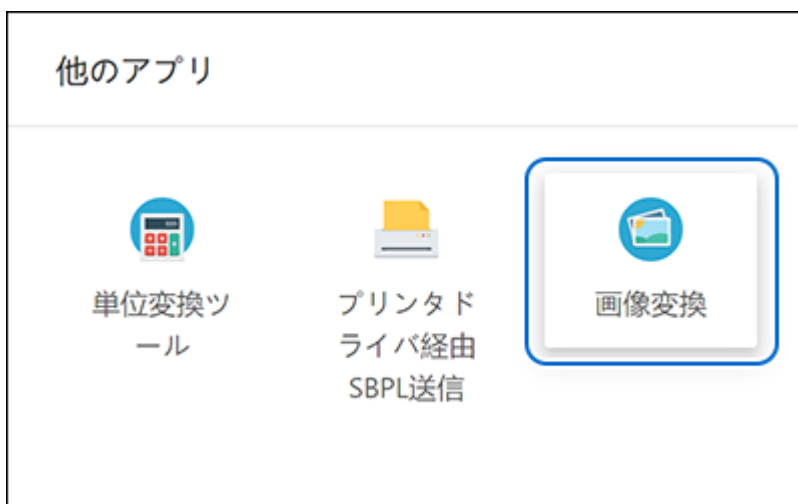


- 元の画像がカラー画像でも、変換後の画像はモノクロ画像になります。

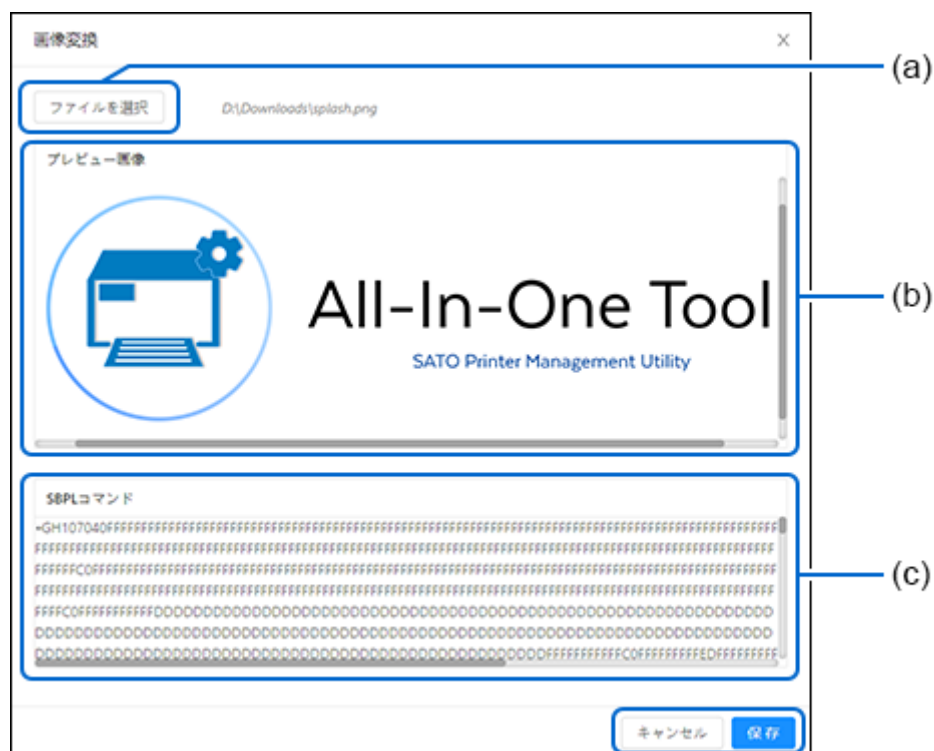
1. [他のアプリ]をクリックします。



2. [画像変換]をクリックします。



[画像変換]ダイアログが表示されます。



**3. [ファイルを選択](a)を選択し、変換する画像を選択します。**

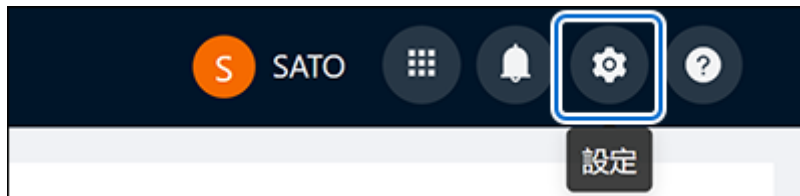
選択した画像が[プレビュー画像]ボックス(b)に表示されます。

ファイルを印字するためのSBPLコマンドが[SBPLコマンド]テキストボックス(c)に表示されます。

**4. コマンドをファイルに保存するには[保存]を、変換を終了するには[キャンセル]をクリックします。**


## アプリケーションの基本設定

ツールバーの[設定]アイコンをクリックします。



[アプリケーション設定]ページが表示されます。



- プリンタページに戻るには、[アプリケーション設定]ページ左上の  ボタンをクリックします。

[一般設定]では、以下の設定をおこなえます。

## 既定言語の設定

本アプリケーションでサポートされている言語は、英語、中国語簡体字、日本語です。

[既定言語]には、上記の言語の中からOSで使用されている言語が設定されます。

OSの言語が上記以外の言語の場合は、英語が使用されます。

また、OSの言語が中国語繁体字の場合は、中国語簡体字が使用されます。



- アプリケーションをアップデートすると、[既定言語]の設定は初期化されます。
- 

[既定言語]ドロップダウンリストをクリックし、必要に応じ言語を選択してください。

## 国と地域の設定

既定の国の設定は、All-In-One Tool V2アプリケーションでの設定に使用されます。

[既定の国]ドロップダウンリストをクリックするとリストが表示されますので、お客様の国を選択してください。

## アプリケーション動作ログの有効化

All-In-One Toolの動作ログは、トラブル対策に役立ちます。All-In-One Toolは、エラーコードなどの重要なデバッグ情報を取得するためのログファイルを生成します。

初期設定では、ログファイルはユーザーの「ドキュメント」フォルダの下の「AIOTv2Log」フォルダ、つまり `UserPath¥Documents¥AIOTv2Files¥AIOTv2Log` に生成されます。UserPathは現在のコンピュータユーザーのパスです。

バグや問題点を報告する場合、[アプリケーション動作ログ]を有効にし、アプリケーションを実行して問題を再現し、ログファイルをお客さまヘルプデスクにお送りいただき、指示を受けてください。

[アプリケーション動作ログ]は、初期値では無効に設定されています。トグルスイッチをクリックして設定を有効に切替えてください。

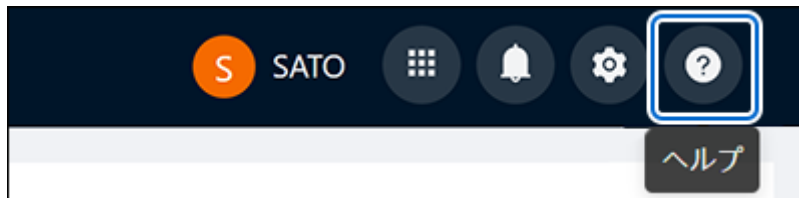
## アプリケーションログの有効化

[アプリケーションログ]を有効にすると、All-In-One ToolのメンテナンスおよびAll-In-One Toolの使用に関する統計分析をおこなうために収集されたアクセス情報を弊社が使用することについて、お客様が同意されたこととなります。

[アプリケーションログ]を有効または無効にするには、トグルスイッチをクリックしてください。

## ヘルプ

ツールバーの[ヘルプ]アイコンをクリックします。



[ヘルプ]ダイアログが表示されます。



[ヘルプ]では、以下のオプションを選択できます。

### [新しい機能]

[新しい機能]をクリックすると、アプリケーションの現在のバージョンに追加された新しい機能が表示されます。



## [オンラインマニュアル]

[オンラインマニュアル]をクリックすると、オンラインのAll-In-One Tool V2ユーザーマニュアルが既定のブラウザで開きます。

このアプリケーションの言語設定が英語または中国語簡体字の場合は、英語版のユーザーマニュアルのみが表示されます。言語設定が日本語の場合は、日本語版のユーザーマニュアルが表示されます。



## プリンタページ

対象となるプリンタが正しく検出された場合、またはアプリケーションにプリンタが登録された場合に、プリンタページに表示されます。


このページでは、登録済みのプリンタをリモートで表示したり管理できます。プリンタのステータスやエラー状態を監視したり、カテゴリ別にプリンタを並べ替えたりすることができます。また、各プリンタの情報を表示したり、プリンタの設定を変更することもできます。



プリンタページは、リスト表示またはグリッド表示できます。

### (1) [プリンタ追加]ボタン

手動操作でプリンタをリストに追加できます。

 この操作についての詳細は、[サポートされているインタフェース設定を使用して手動でプリンタを追加する](#)を参照してください。


### (2) [プリンタ検出]ボタン

自動検出機能を使用してプリンタをリストに追加できます。

 この操作についての詳細は、[自動検出によるプリンタの追加](#)を参照してください。


### (3) [リストビュー]ボタン

登録済みのプリンタをリスト表示できます。

 プリンタページで使用可能な他の機能や、他のメニューへのアクセス方法についての詳細は、[リスト表示のプリンタページ](#)を参照してください。

### (4) [グリッドビュー]ボタン

登録済みのプリンタをグリッド表示できます。

 プリンタページで使用可能な他の機能や、他のメニューへのアクセス方法についての詳細は、[グリッド表示のプリンタページ](#)を参照してください。

## リスト表示のプリンタページ

プリンタページは、初期設定ではリスト表示になります。右上のグリッド表示アイコンをクリックすると、グリッド表示に切替えることができます。

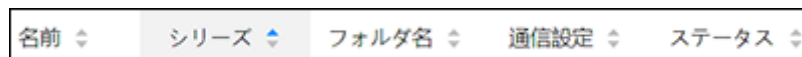
リスト表示ではプリンタ群が行ごとに表示されます。



プリンタページでできる操作は以下のとおりです。

### (1) プリンタリストの並べ替え

[名前]、[シリーズ]、[フォルダ名]、[通信設定]または[ステータス]をクリックすると、それに応じてプリンタのリストを並べ替えることができます。



青い矢印が上向きときは、アルファベットで昇順に表示されます。

青い矢印が下向きときは、アルファベットで降順に表示されます。

矢印がグレーのときは、並べ替え機能が無効になっています。

### (2) プリンタステータスの詳細の表示

プリンタ画像の左側の **+** ボタンをクリックすると、行が拡大され、リボンの状態、用紙の状態、エラーコードが表示されます。



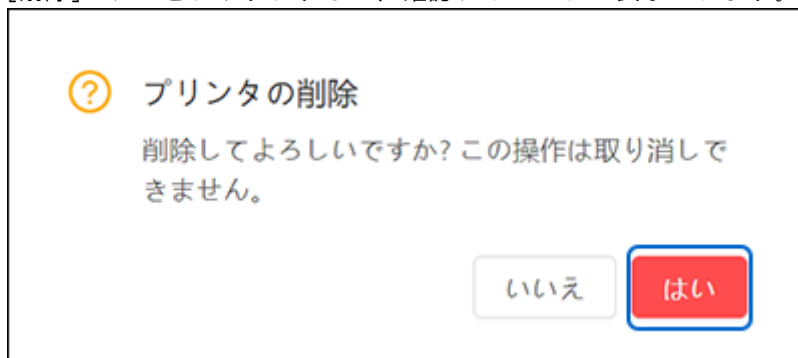
**-** ボタンをクリックすると、詳細のステータスが表示されていない状態に戻ります。

### (3) リストからプリンタを削除する

1. プリンタページから削除するプリンタの左側のチェックボックスを選択します。
2. プリンタページ左上に[削除]、[すべて選択]、[解除]の各ボタンが表示されます。



- プリンタページのすべてのプリンタを選択するには[すべて選択]をクリックします。
  - 選択されているプリンタのすべてのチェックボックスをクリアするには[解除]をクリックします。
  - 選択されているプリンタをプリンタページから削除するには[削除]をクリックします。
3. [削除]ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。



[はい]をクリックして操作を進めます。

#### (4) プリンタ情報の表示

カーソルを移動して、プリンタ情報を表示させたいプリンタをハイライトします。次に、[通信設定]のIPアドレス、[設定]、および[その他]以外の部分をクリックします。

[インフォメーション]ダイアログが表示されます。



 プリンタ情報の編集についての詳細は、[プリンタ情報の表示と編集](#)を参照してください。

#### (5) 設定メニューの表示

[設定]をクリックすると[設定]メニューが表示されます。


このメニューではプリンタをリモートで設定できます。

 この操作についての詳細は、[設定メニュー](#)を参照してください。

#### (6) その他のメニューの表示

カーソルを[その他]に移動すると[その他]ドロップダウンメニューが表示されます。

このメニューではさまざまな機能を選択して実行できます。

 これらの機能についての詳細は、[その他メニュー](#)を参照してください。

## グリッド表示のプリンタページ

右上のグリッド表示アイコンをクリックすると、グリッド表示でプリンタページを表示できます。リスト表示アイコンをクリックすると、リスト表示に戻すことができます。

グリッド表示では各プリンタが対応するグリッド内に表示されます。各プリンタの画像の下に、プリンタ名、プリンタのシリーズ名、接続インターフェース、プリンタのステータスが表示されます。[プリンタ情報]、[設定]、および[その他]オプションは、グリッド内にアイコンとして表示されます。



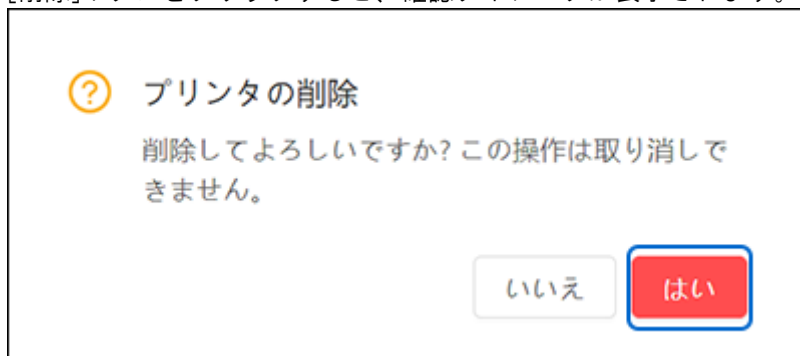
プリンタページでできる操作は以下のとおりです。

### (1) リストからプリンタを削除する

1. プリンタページから削除するプリンタの左上のチェックボックスを選択します。
2. プリンタページ上部に[削除]、[すべて選択]、[解除]の各ボタンが表示されます。



- プリンタページのすべてのプリンタを選択するには[すべて選択]をクリックします。
  - 選択されているプリンタのすべてのチェックボックスをクリアするには[解除]をクリックします。
  - 選択されているプリンタをプリンタページから削除するには[削除]をクリックします。
3. [削除]ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。



[はい]をクリックして操作を進めます。

## (2) プリンタ情報の表示

枠の左下の[プリンタ情報]アイコンをクリックします。

[インフォメーション]ダイアログが表示されます。



 プリンタ情報の編集についての詳細は、[プリンタ情報の表示と編集](#)を参照してください。

## (3) 設定メニューの表示

枠の中央下の[設定]アイコンをクリックします。

[設定]メニューページが表示されます。


このメニューではプリンタをリモートで設定できます。

 この操作についての詳細は、[設定メニュー](#)を参照してください。

## (4) その他のメニューの表示

枠の右下の[その他]アイコンをクリックすると、[その他]ドロップダウンメニューが表示されます。

このメニューではさまざまな機能を選択して実行できます。

 これらの機能についての詳細は、[その他メニュー](#)を参照してください。

## プリンタ情報の表示と編集

### プリンタ情報の表示

#### リスト表示

カーソルを移動して、プリンタ情報を表示させたいプリンタをハイライトします。次に、[通信設定]のIPアドレス、[設定]、および[その他]以外の部分をクリックします。



#### グリッド表示

枠の左下の[プリンタ情報]アイコンをクリックします。





## プリンタ情報の編集

1. [インフォメーション]ダイアログの右上の歯車のアイコンにカーソルを移動し、[編集]を選択します。



[プリンタ情報編集]ダイアログが表示されます。

2. ダイアログに表示されている項目を変更して[確定]をクリックします。



- [プリンタ名]を変更してもプリンタには影響しません。プリンタにコマンドが送られることはありません。  
プリンタページで並べ替えやフィルタ処理を容易におこなえるよう、プリンタの場所や使用目的などに応じてプリンタ名を変更できます。
- IPアドレスなどインタフェースの内容は変更できますが、インタフェースの種類は変更できません。たとえばインタフェースの接続をLANからUSBに変更した場合は、プリンタページでプリンタを削除してから、新しいインタフェース情報を使用してプリンタを追加する必要があります。

## プリンタ情報ダイアログからプリンタを削除する

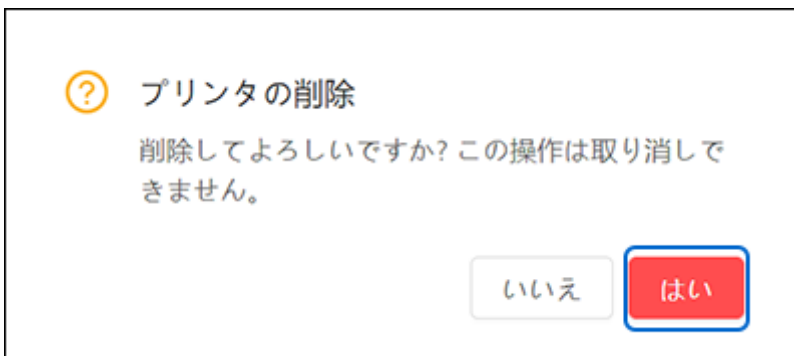
[インフォメーション]ダイアログでプリンタを削除することもできます。

1. [インフォメーション]ダイアログの右上の歯車のアイコンにカーソルを移動し、[削除]を選択します。



プリンタ名	CT4-LX TT 305dpi	ステータス	● オンライン
シリーズ	CT4-LX シリーズ		
通信設定	TCP/IP		
IPアドレス	192.168.1.100	ポート番号	9100
モデル	CT4-LX TT 305dpi		
MACアドレス	00:00:00:00:00:00		
ファームウェア・バージョン	6.6.5-r1		
シリアル番号			
SBPL プロトコル	標準		
フォルダーパス	ホーム		

2. 確認ダイアログが表示されます。



**?** プリンタの削除

削除してよろしいですか? この操作は取り消しできません。

いいえ **はい**

[はい]をクリックして操作を進めます。

## プリンタステータスの詳細の表示

カーソルをステータスボックスに移動すると、さらに詳細なプリンタステータスが表示されます。




## プリンタ・グループ

対象となるプリンタが正しく検出された場合、またはアプリケーションにプリンタが登録された場合に、プリンタページに表示されます。

個人のこだわりや組織の要望に基づいて、プリンタを分類およびグループ化できます。


プリンタ・グループ機能を使用すると、サブフォルダが親フォルダ内に置かれている階層構造を使用してプリンタを管理および編成できます。

1. プリンタページの左上にある  ボタンをクリックします。



[プリンタ・グループ]パネルが表示されます。



[プリンタ・グループ]パネルを閉じるには、 をクリックします。

ユーザーは、ドラッグアンドドロップ機能を使用して、容易にフォルダやサブフォルダを作成したり、フォルダを削除したり、プリンタを別のフォルダに移動したりできます。詳細については、以下のリンクをクリックしてください。

 [フォルダとサブフォルダの作成](#)

 [プリンタを別のフォルダに移動する](#)

## フォルダとサブフォルダの作成

フォルダを作成すると、接続されたプリンタを特定の条件に基づいてグループにまとめることができます。これにより、各グループ内でのプリンタ管理が簡単になり、都度プリンタを個別に選択する必要がなくなります。

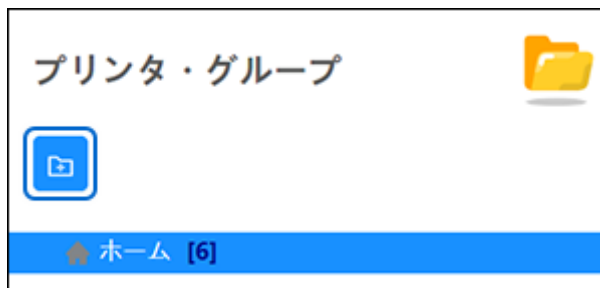
初期設定では、[ホーム]フォルダが作成され、バージョンV2.6.0より前に登録されたプリンタは自動的に[ホーム]フォルダに割り当てられます。


[ホーム]フォルダを削除したり、サブフォルダを作成することはできません。ただし、ユーザーはルートディレクトリに自由にフォルダを作成できます。これらのカスタムフォルダ内では、登録したプリンタを容易に任意の場所にドラッグしたり、任意の場所からドラッグしたりできます。

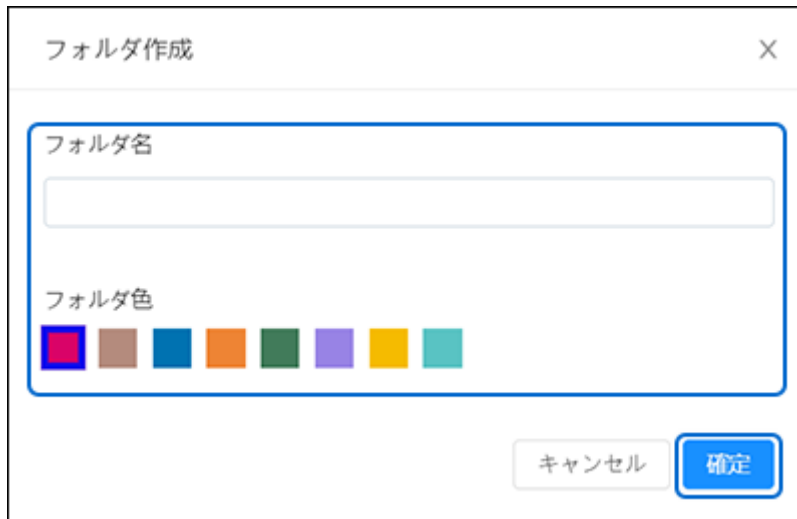


### 新規フォルダの作成

1. [プリンタ・グループ]画面で、[ホーム]フォルダを選択します。



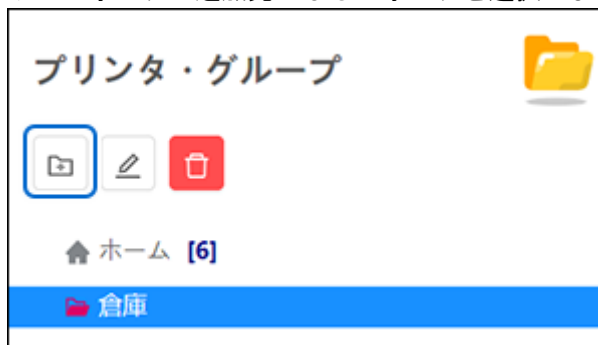
2.  ボタンをクリックして、新しいフォルダを作成します。  
[フォルダ作成]ダイアログが表示されます。
3. フォルダ名を入力し、フォルダの色を選択して[確定]をクリックします。




- フォルダ名には最大30文字を使用できます。
- フォルダ名は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、スペース（' '）、アットマーク（'@'）、ピリオド（'.'）、アンダースコア（'\_'）、およびハイフン（'-'）で構成できます。
- フォルダ構造の同一レベル内に同じ名前のフォルダを作成することはできません。

## サブフォルダの作成

1. サブフォルダの追加先となるフォルダを選択します。



2.  ボタンをクリックして、サブフォルダを追加します。  
[サブフォルダ作成]ダイアログが表示されます。
3. フォルダ名を入力し、フォルダの色を選択して[確定]をクリックします。

サブフォルダ作成

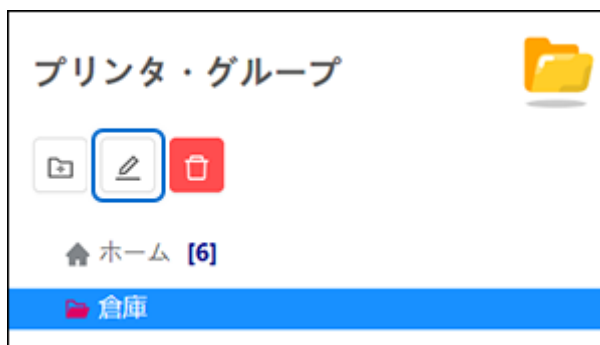
フォルダ名

フォルダ色

キャンセル 確定

## フォルダ名とフォルダ色の編集

1. 編集するフォルダを選択します。



2. 編集アイコンをクリックして、選択したフォルダを編集します。
3. フォルダ名やフォルダ色を変更して、[確定]をクリックします。

フォルダ編集

フォルダ名


倉庫

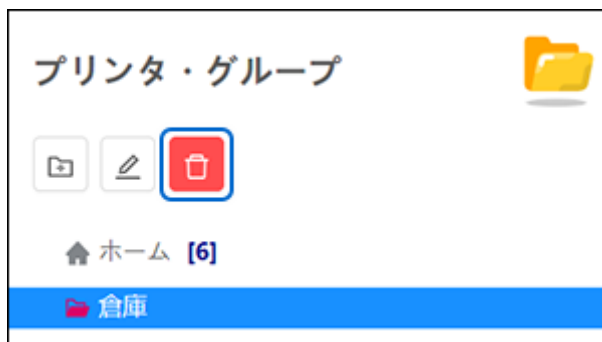
フォルダ色

キャンセル 確定

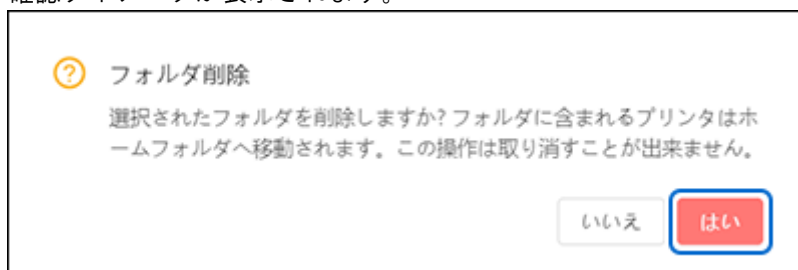


## フォルダの削除

1. 削除するフォルダを選択します。
2.  ボタンをクリックして、選択したフォルダを削除します。



確認ダイアログが表示されます。



- 削除したフォルダの下にグループ化されていたプリンタは、[ホーム]フォルダに移動します。

3. [はい]をクリックして操作を進めます。

## プリンタを別のフォルダに移動する

ドラッグアンドドロップ機能を使用すると、プリンタをフォルダ間で容易に移動することができます。



- ドラッグアンドドロップ機能では、プリンタをフォルダに移動することができますが、この機能は、現在はリスト表示でのみ利用できます。

### 1つのプリンタを別のフォルダに移動する

- [ホーム]を選択するか、目的のプリンタがプリンタページに表示されているフォルダを選択します。
- 目的のプリンタ行の上にマウスポインターを合わせて、プリンタを[プリンタ・グループ]パネル上の目的のフォルダにドラッグします。



これにより、プリンタリストとフォルダリストの両方が新しい情報で自動的に更新されます。

### 複数のプリンタを別のフォルダに移動する

- [ホーム]を選択するか、プリンタページ内の目的の複数のプリンタが表示されているフォルダを選択します。
- 移動するプリンタの左側のチェックボックスを選択します。



- 選択したチェックボックスを[プリンタ・グループ]パネル上の目的のフォルダにドラッグします。


これにより、プリンタリストとフォルダリストの両方が新しい情報で自動的に更新されます。


---


# アプリケーションのさまざまなメニュー

---

All-In-One Toolのメニューは以下のとおりです。

 [その他 メニュー](#)














 [ツール メニュー](#)

 [設定 メニュー](#)

## [その他] メニュー

---

[その他]メニューでは、以下のことができます。

-  [ツールメニューへのアクセス](#)
-  [SBPLコマンドの送信とプレビュー](#)
-  [ステータス監視機能の無効化/有効化](#)
-  [NFC設定の出力](#)
-  [オフライン/オンラインの設定](#)
-  [Web設定を開く](#)
-  [プリンタディスプレイカスタマイズ](#)
-  [プリンタログのエクスポート](#)
-  [メディアプロファイルの登録](#)
-  [フォントのアップロード](#)
-  [画像アップロード](#)
-  [ファームウェアのアップロード](#)
-  [プリンタのサポートと連絡先](#)

## [ツール] メニューへのアクセス

プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [ツール]をクリックすると、[ツール]メニューが表示されます。



[ツール]メニューの最初の画面が表示されます。



📖 詳細は、[ツールメニュー](#)を参照してください。

## SBPLコマンドの送信とプレビュー

この機能を使用すると、選択したプリンタにSBPLコマンドを送信したり、プリンタからのSBPLコマンド出力をプレビューしたりできます。

プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [SBPL送信機能]をクリックします。



[SBPL送信機能]ダイアログが表示されます。



## SBPLコマンドの送信

[一般]タブでは、SBPLコマンドファイルをプリンタに送信したり、コマンドテキストボックスにコマンドを入力してプリンタに送信したりすることができます。

また、この機能を使用してコマンドからプリンタ応答を取り出すこともできます。プリンタの応答はHEX形式とASCII形式の両方で表示されます。

The screenshot shows the 'SBPL送信機能' (SBPL Transmission Function) window. It is divided into two main sections: '送る' (Send) and '受信済み' (Received).

**送る (Send) Section:**

- Printer Information:** Includes printer name (CL6NX-J Plus), model (CL6NX-J Plus 305dpi), communication settings (TCPIP), and firmware version (1.13.3-r1).
- Command File Selection:** A file named 'SBPL Test1.txt' is selected in the 'コマンドファイル送信' (Send Command File) field. Callouts (a) through (c) point to this area.
- Command Entry:** The 'コマンド' (Command) field contains control codes: STX, ETX, ESC, SOH, EOT, ENQ, DC2, CAN, NUL. Below this, two lines of commands are entered: '+A+V10+H50+P2+L0202+XMABCD' and '+V100+H50+BC02123101234567890+Q1+Z'. Callouts (d) through (i) point to this area.

**受信済み (Received) Section:**

- Hex Data:** A table displays the received data in hexadecimal. Callout (j) points to this table.
 

00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F	総バイト数
00	00	00	1C	05	02	20	20	41	30	30	30	30	30	30	20	32
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	03	
- ASCII Text:** The 'ASCIIテキスト' (ASCII Text) field shows the corresponding ASCII representation: '000000 A000000'. Callouts (k) through (m) point to this area.

### SBPLコマンドファイルをプリンタに送信する

1. ファイル挿入ボックス(a)をクリックし、コンピュータのファイルシステムからコマンドファイルを選択します。



2. [送る]ボタン(b)をクリックします。  
選択したコマンドファイルがプリンタに送信されます。

## クエリコマンドファイルをプリンタに送信する

1. ファイル挿入ボックス(a)をクリックし、コンピュータのファイルシステムからコマンドファイルを選択します。
  2. [クエリ]ボタン(c)をクリックします。  
クエリコマンドファイルがプリンタに送信されると、プリンタはHEX形式とASCII形式の両方で応答を返します。受信したデータが[16進数(HEX)データ]ボックス(j)と[ASCIIテキスト]ボックス(k)に表示されます。
- 受信したデータを保存するには、[保存]ボタン(l)をクリックします。
  - 受信したデータをクリアするには、[解除]ボタン(m)をクリックします。

## SBPLコマンドを手動で入力してコマンドをプリンタに送信する

1. [コマンド]ボックス(d)にコマンドを入力します。
  2. [送る]ボタン(e)をクリックします。  
入力したコマンドがプリンタに送信されます。
- プリンタから返されるデータが必要な場合は、[クエリ]ボタン(f)をクリックしてコマンドを送信します。
  - コマンドを保存するには、[保存]ボタン(h)をクリックします。
  - コマンドをクリアするには、[解除]ボタン(i)をクリックします。

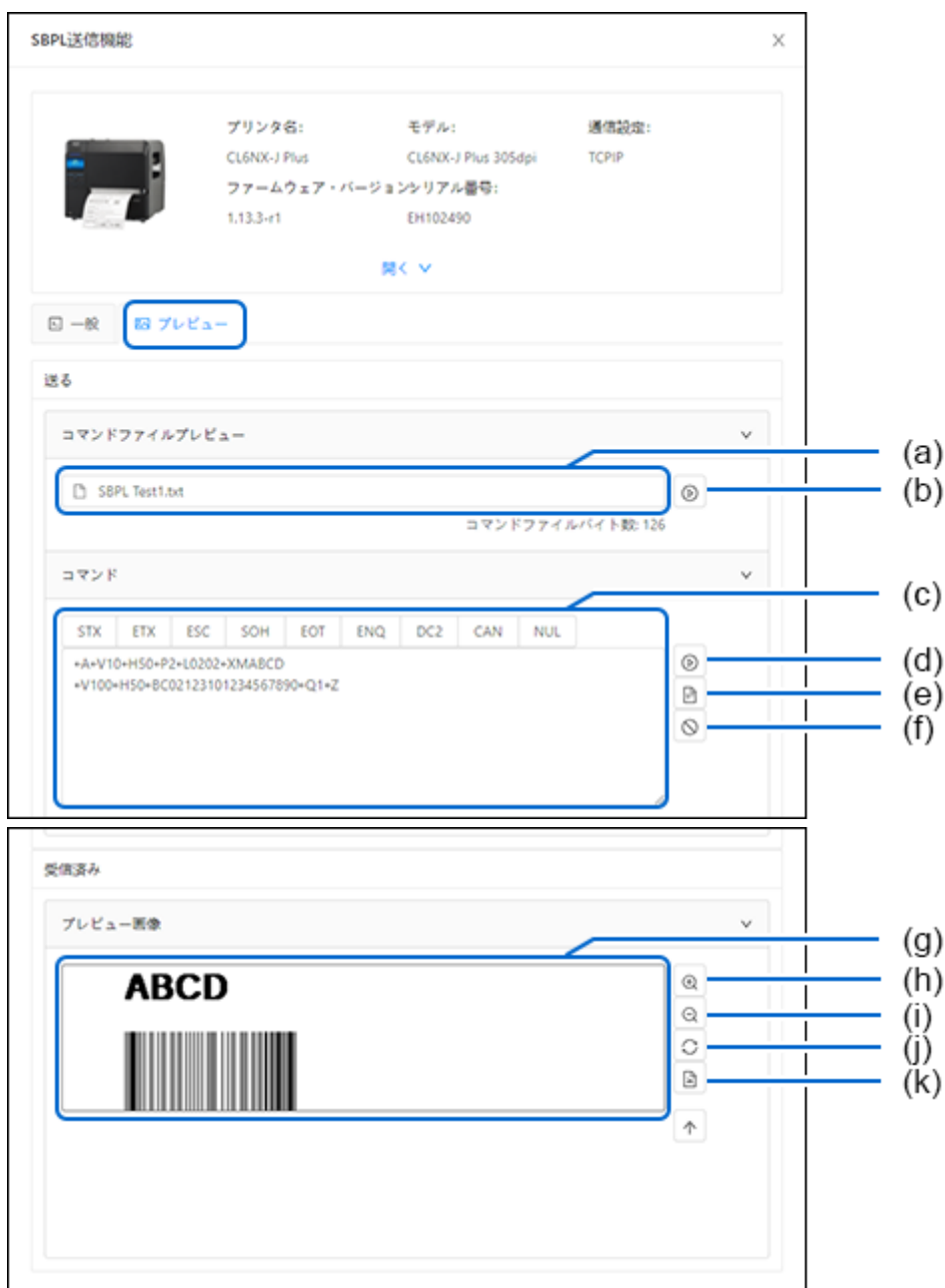
## コマンドファイルを読み込んでコマンドを編集する

1. ファイル挿入ボックス(a)をクリックし、コンピュータのファイルシステムからコマンドファイルを選択します。
  2. [ファイルから読み込む]ボタン(g)をクリックします。  
選択したファイルのコマンドが[コマンド]ボックス(d)に表示されます。
  3. [コマンド]ボックス(d)のコマンドを編集します。
  4. [保存]ボタン(h)をクリックしてコマンドを保存します。
- コマンドをクリアするには、[解除]ボタン(i)をクリックします。

## SBPLコマンドをプレビューする

[プレビュー]タブでは、SBPLコマンドの出力画像をプレビューできます。

アプリケーションがプリンタと通信して、ラベルに変換されるデータを取得するためには、プリンタが接続されている必要があります。SBPLコマンドを含むファイルの内容をプレビューするだけでなく、コマンドボックスに読み込んで確認したり変更したりすることもできます。さまざまなサイズのラベルをプレビューし、スクロールしてラベルの細部を見ることもできます。



## SBPLコマンドファイルの画像をプレビューする

1. ファイル挿入ボックス(a)をクリックし、コンピュータのファイルシステムからコマンドファイルを選択します。
2. [プレビュー]ボタン(b)をクリックすると、選択したコマンドファイルの出力画像が表示されます。出力画像が[プレビュー画像]ボックス(g)に表示されます。
  - **画像の表示サイズを拡大するには**、[拡大]ボタン(h)をクリックします。両横のスクロールバーを動かすと画像表示を移動させることができます。
  - **画像の表示サイズを縮小するには**、[縮小]ボタン(i)をクリックします。
  - **元の表示サイズに戻すには**、[リセット]ボタン(j)をクリックします。

- **プレビュー画像を保存するには、[画像として保存]ボタン(k)をクリックします。**

### SBPLコマンドでコマンドテキストボックスに入力された画像をプレビューする

1. [コマンド]ボックス(c)にコマンドを入力します。
2. [プレビュー]ボタン(d)をクリックすると、入力したコマンドの出力画像が表示されます。  
出力画像が[プレビュー画像]ボックス(g)に表示されます。

- **コマンドをクリアするには、[解除]ボタン(f)をクリックします。**

### コマンドファイルをロードしてコマンドを編集する

1. ファイル挿入ボックス(a)をクリックし、コンピュータのファイルシステムからコマンドファイルを選択します。
2. [ファイルから読み込む]ボタン(e)をクリックすると、[コマンド]ボックス(c)で選択したファイルのコマンドが表示されます。
3. [コマンド]ボックス(c)のコマンドを編集します。
4. [プレビュー]ボタン(d)をクリックすると、編集したコマンドの出力画像が表示されます。  
出力画像が[プレビュー画像]ボックス(g)に表示されます。

- **コマンドをクリアするには、[解除]ボタン(f)をクリックします。**

## ステータス監視機能の無効化/有効化

All-In-One Toolは、USB、LAN、無線LANで接続されているプリンタに対し、定期的にステータスチェックコマンドを送信し、監視用のプリンタステータスを表示します。

### ステータス監視機能の無効化

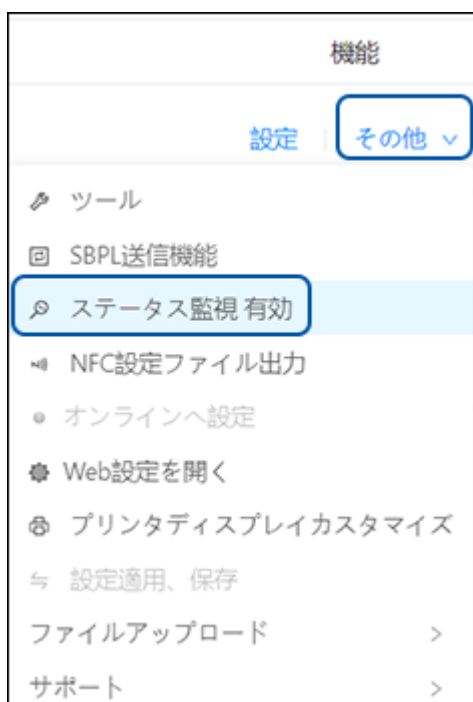
プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [ステータス監視 無効]をクリックします。



プリンタステータスとして[ステータス無効]が表示されます。

## ステータス監視機能の有効化

プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [ステータス監視 有効]をクリックします。



プリンタのステータスが表示されます。

## NFC設定の出力

NFC ToolはAndroidアプリ [モバイルAll-In-One Tool] の一部です。

この機能は、CL4NX/CL6NXシリーズ（シリアルNo 6B～以降）、CL4NX-J/CL6NX-J/CL4NX Plus/CL6NX Plus/CL4NX-J Plus/CL6NX-J Plusシリーズ、FX3-LX\_Ln（海外モデル）、CT4-LX/CT4-LX-HC（海外モデル）/HC4-LXシリーズ、PW208NX/PW208mNX、PW4NXおよびS84NX/S86NXシリーズ（海外モデル）で使用できます。

この機能は、選択されているプリンタからプリンタ設定を出力し、設定をファイルとして保存します。ファイル拡張子はAIOTNFCで、このファイルをモバイルAll-In-One Toolで使用すると、電源を入れなくても設定を同じモデルの他のプリンタに転送できます。

NFCインタフェースを搭載している対応プリンタは、電源が入っていないときでもNFCインタフェースを介して、プリンタ設定を含むデータを受信できます。受信した設定は、プリンタの電源が入ったときに適用されます。この機能を使用すると、プリンタ設定作業の生産性を改善できます。

ただし、1台のプリンタを、プリンタの設定メニュー、All-In-One Tool、またはWebインタフェースを使用して設定する必要があります。このプリンタを、設定データの出力に使用します。

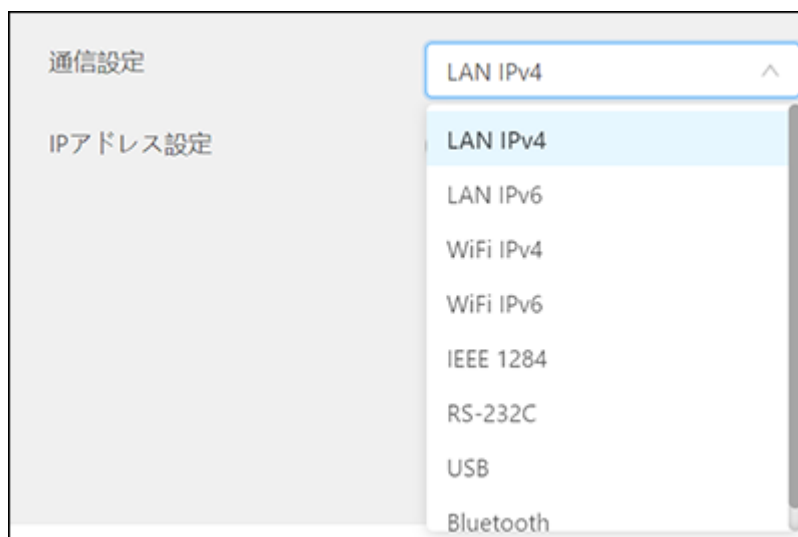
1. プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [NFC設定ファイル出力]をクリックします。



[NFC設定ファイル出力]ダイアログが表示されます。



2. [通信設定]ドロップダウンリストをクリックし、設定ファイルに含めるインタフェースを選択します。



- 設定ファイルに含めることができるプリンタインタフェース設定は1つだけです。

3. [通信設定]の設定用にIEEE 1284、RS-232C、USB、またはBluetoothを選択した場合は、以降の手順をスキップして手順6に進んでください。

4. [通信設定]の設定用にLANまたはWi-Fiを選択した場合は、[含まない]/[含む]トグルスイッチをクリックして静的IPアドレスを除外または含めることができます。

NFC設定ファイル出力 情報

プリンタ名: CL6NX-J Plus      モデル: CL6NX-J Plus 305dpi

1 ステップ1 インタフェース選択  
2 ステップ2 アプリケーション選択  
3 ステップ3 追加設定

通信設定      WiFi IPv4

IPアドレス設定       含まない

WEP キー 1       5, 10, 13 または 26 桁のアルファベットと数字の文字列

WEP キー 2       5, 10, 13 または 26 桁のアルファベットと数字の文字列

WEP キー 3       5, 10, 13 または 26 桁のアルファベットと数字の文字列

WEP キー 4       5, 10, 13 または 26 桁のアルファベットと数字の文字列


次へ

5. Wi-Fiを選択した場合は、[WEP キー]や[WPA PSK]も指定する必要があります。
6. [次へ]をクリックします。



7. [アプリケーション]ドロップダウンリストをクリックし、設定ファイルに含めるプリンタ言語を選択します。

NFC設定ファイル出力 情報 ×



プリンタ名: CL6NX-J Plus      モデル: CL6NX-J Plus 305dpi

ステップ1  
インタフェース選択

2 ステップ2  
アプリケーション選択

3 ステップ3  
追加設定

設定ファイルに含めるアプリケーション

アプリケーション

SBPL ^

SBPL

SZPL

SIPL

SDPL

STCL

戻る 次へ



- 設定ファイルに含めることができるアプリケーション設定は1つだけです。

8. [次へ]をクリックします。

9. [保存]をクリックして、選択されているプリンタの設定を保存します。

NFC設定ファイル出力 情報

プリンタ名: CL6NX-J Plus

モデル: CL6NX-J Plus 305dpi

ステップ1  
インターフェース選択

ステップ2  
アプリケーション選択

3 ステップ3  
追加設定

NFC設定ファイルに含める追加設定(オプション)

Google Driveへアップロード

SATO App Storageへアップロード

戻る 保存

[名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。ファイル名を指定してファイルを保存します。モバイルAll-in-One Toolを使用してプリンタ設定をおこなうAndroid端末に、このファイルを転送する必要があります。

出力が成功したら、[最初に戻る]をクリックして別のファイルの出力を開始するか、または **X** ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

NFC設定ファイル出力
情報
×

<b>プリンタ名:</b>	<b>モデル:</b>	<b>ファームウェア・バージョン:</b>
CL6NX-J Plus	CL6NX-J Plus 305dpi	1.0.0.0

- ✓ ステップ1  
インタフェース選択
- ✓ ステップ2  
アプリケーション選択
- 3 ステップ3  
追加設定

**NFC設定ファイルに含める追加設定(オプション)**

Google Driveへアップロード

SATO App Storageへアップロード

最初に戻る



- 現在は、[Google Driveへアップロード]と[SATO App Storageへアップロード]を設定するオプションを使用できません。今後対応予定です。
- すべてのプリンタ設定が設定ファイルに含まれるわけではありません。これは、設定ファイルのサイズがプリンタのNFCインタフェースのデータ容量に適合する必要があるからです。

## オフライン/オンラインの設定

All-In-One Toolを使用すると、リモート操作でプリンタのオンライン/オフラインを切替えることができます。

プリンタページで[その他] > [オフラインへ設定]をクリックすると、選択したプリンタがオンライン状態からオフライン状態に切替わります。



プリンタページで[その他] > [オンラインへ設定]をクリックすると、選択したプリンタがオフライン/エラー状態からオンライン状態に切替わります。



## Web設定を開く

この機能は、LANまたは無線LANで接続されたプリンタのみ使用できます。Webブラウザを使用して、IPアドレスを手動で入力することなく、プリンタのWeb設定ページにかんたんにアクセスできます。

プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [Web設定を開く]をクリックします。



初期値のWebブラウザでWeb設定ページが開きます。

セキュリティ証明書を求められた場合は、認証して続行をクリックする必要があります。

### プリンタ状態

● オフライン

📶 SOS

### 印字

印字速度: 6 ips

濃度レンジ: A

印字濃度: 5

センサタイプ: 無効

動作モード: カッタ

バックフィード動作: 印字後

### デバイス

モデル: CL4NX-J Plus 203dpi

ヘッド密度: 203 dpi (8 dpmm)

シリアル番号: [REDACTED]

PCBシリアル番号: [REDACTED]

インストール済みオプション: Bluetooth,  
カッタ, NFC

### ネットワーク

IPv4アドレス: [REDACTED]

MACアドレス: [REDACTED]

### システム

ファームウェアバージョン: 1.13.3-r1

稼働時間: 2min

連絡先:

名前:

場所:

## プリンタディスプレイカスタマイズ

この機能を使用すると、プリンタ起動時のスプラッシュ画像やプリンタの[インフォメーション] > [ヘルプ動画]メニューで使用可能なヘルプ動画をアップロードできます。この機能は、CL4NX/CL6NX/CL4NX-J/CL6NX-J/CL4NX Plus/CL6NX Plus/CL4NX-J Plus/CL6NX-J Plusシリーズ(ファームウェアバージョン1.4.1以降)、FX3-LX\_Ln (海外モデル)、PW4NX、CT4-LX/CT4-LX-HC (海外モデル) / HC4-LXシリーズおよびS84NX/S86NXシリーズ (海外モデル) で使用できます。

プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [プリンタディスプレイカスタマイズ]をクリックします。



[プリンタディスプレイカスタマイズ]ダイアログが表示されます。





[プリンタディスプレイカスタマイズ]機能は、新たに画像/動画ファイルを記録するか、プリンタ内に既存のファイルがある場合は古いファイルに上書きします。すでに画像/動画ファイルが存在する場合は、リストの[アップロード済み]列(b)に[はい]が表示されます。アップロードされたファイルがない場合は[いいえ]が表示されます。

## 画像/動画のアップロード

1. アップロードする画像/動画のファイルをリストから選択します。左側のオプションボタン(a)には選択肢が表示されます。
2. ファイル挿入ボックス(c)をクリックし、コンピュータのファイルシステムから特定のファイルを選択します。  
画面に示されているファイル要件に従う必要があります。
3. [アップロード開始](d)をクリックします。

## 選択されている画像/動画の削除

1. アップロード済み画像/動画のうち削除したいものを選択します。左側のオプションボタン(a)には選択肢が表示されます。
2. [削除](e)をクリックします。

## すべての画像/動画の削除

1. [全て削除](f)をクリックします。  
画像を削除した場合はプリンタで表示されなくなりますが、動画を削除した場合は、初期状態で登録されていたヘルプ動画が復元されます。





- **画像をアップロードする際のファイル要件**

CT4-LX、CT4-LX-HC（海外モデル）、HC4-LX：拡張子が.png、解像度が480×272  
FX3-LX\_Ln（海外モデル）：拡張子が.png、解像度が480×800  
その他のプリンタ：拡張子が.png、解像度が320×240

- **動画をアップロードする際のファイル要件**

CT4-LX、CT4-LX-HC（海外モデル）、HC4-LX：拡張子が.webm、解像度が  
480×272、ファイルサイズが15MB未満  
FX3-LX\_Ln（海外モデル）：拡張子が.webm、解像度が480×800、ファイルサイズが  
15MB未満  
その他のプリンタ：拡張子が.webm、解像度が320×240、ファイルサイズが15MB未  
満

---

## プリンタログのエクスポート

[プリンタ・ログ・エクスポート]機能を使用すると、プリンタアクティビティのログや記録を抽出したり保存したりでき、トラブル対策に役立ちます。この機能により、ユーザーはHEXダンプデータをプリンタからエクスポートできます。これは、ユーザーのコンピュータに保存可能な16進形式の受信データ記録で、分析や共有に使用できます。

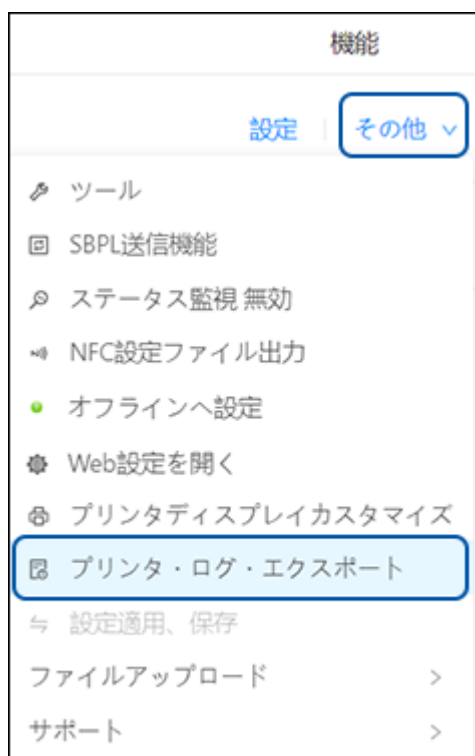
この機能を使用できるのは、PW208NX/PW208mNXおよびPW4NXのみです。

### 前提条件

- 受信した印字データからログファイル内のHEXダンプデータを作成するには、印字データを送信する前に[HEXダンプモード]を有効にする必要があります。

プリンタページで選択されているプリンタの[設定] > [ツール] > [HEXダンプ]をクリックします。その後、[HEXダンプモード]のトグルスイッチをクリックして有効にします。

1. プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [プリンタ・ログ・エクスポート]をクリックします。



[プリンタ・ログ・エクスポート]ダイアログが表示されます。

プリンタ・ログ・エクスポート

プリンタ名: PW208NX      モデル: -      ファームウェア・バージョン: -

● 印字データの処理に時間がかかる場合があります。もしログファイルに送信したデータが含まれていない場合には再度試してください。

ロググループを選択  
HEXダンプ

インタフェースを選択  
Wi-Fi X

キャンセル      確定

## 2. [インタフェースを選択]の選択肢にHEXダンプ作成用の印字データを受信するインタフェースが表示されていることを確認します。

利用可能な場合は、インタフェースを複数選択できます。

- 選択したインタフェース横の X ボタンをクリックして、選択を解除します。すべての選択が解除されると、[確定]が無効になります。
- プリンタがログファイル内のHEXダンプデータを処理するのに時間がかかることがあります。データが取得できない場合は[再試行]をクリックして再試行してください。

プリンタ・ログ・エクスポート

プリンタ名: PW208NX      モデル: PW208NX      ファームウェア・バージョン: 3.5.1-r1

● 印字データの処理に時間がかかる場合があります。もしログファイルに送信したデータが含まれていない場合には再度試してください。

ロググループを選択  
HEXダンプ

インタフェースを選択

キャンセル      再試行

- プリンタの接続が突然切断された場合は、[再試行]をクリックしてください。アプリケーションがHEXダンプデータ取得を再試行します。

## 3. [確定]をクリックして、ファイル名とファイルの保存場所を指定します。



- 初期設定では、ログファイルはユーザーの「ドキュメント」フォルダの下の「Printer Log」フォルダ、つまり *UserPath¥Documents¥AIOTv2Files¥Printer Log* に生成されます。UserPathは現在のコンピュータユーザーのパスです。
-

## メディアプロファイルの登録

複数種類の用紙を使う場合に、用紙ごとに印字設定をメディアプロファイルとして登録しておきます。登録したメディアプロファイルをホーム画面から呼び出してプリンタに適用できます。用紙を入れ替えるごとに、かんたんに設定を切替えることができます。最大5件のメディアプロファイルを登録できます。

この機能を使用できるのは、CT4-LX/CT4-LX-HC（海外モデル）/HC4-LXシリーズのみです。

1. プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [メディアプロファイル登録]をクリックします。



[メディアプロファイル登録]ダイアログが表示されます。

2. 右側のボタン(a)のいずれかをクリックして、登録または変更するメディアプロフィールを選択します。



選択したメディアプロフィールのダイアログが表示されます。

3. 登録名称(b)を入力し、ダイアログに表示されている各印字設定項目(c)を設定します。



- [単位: dot]をクリックすると、ラベルの長さの単位を[単位: mm]または[単位: inch]に切替えることができます。
- 選択されているメディアプロフィールの印字設定をもう一度読み込むには、[再読み込み]をクリックします。
- 選択されているプリンタのメディアプロフィールを削除するには、[削除]をクリックします。

4. 選択されているメディアプロフィールを登録したりメディアプロフィールに変更を適用したりするには、[適用]ボタンをクリックします。

プロフィール情報がプリンタに保存されます。

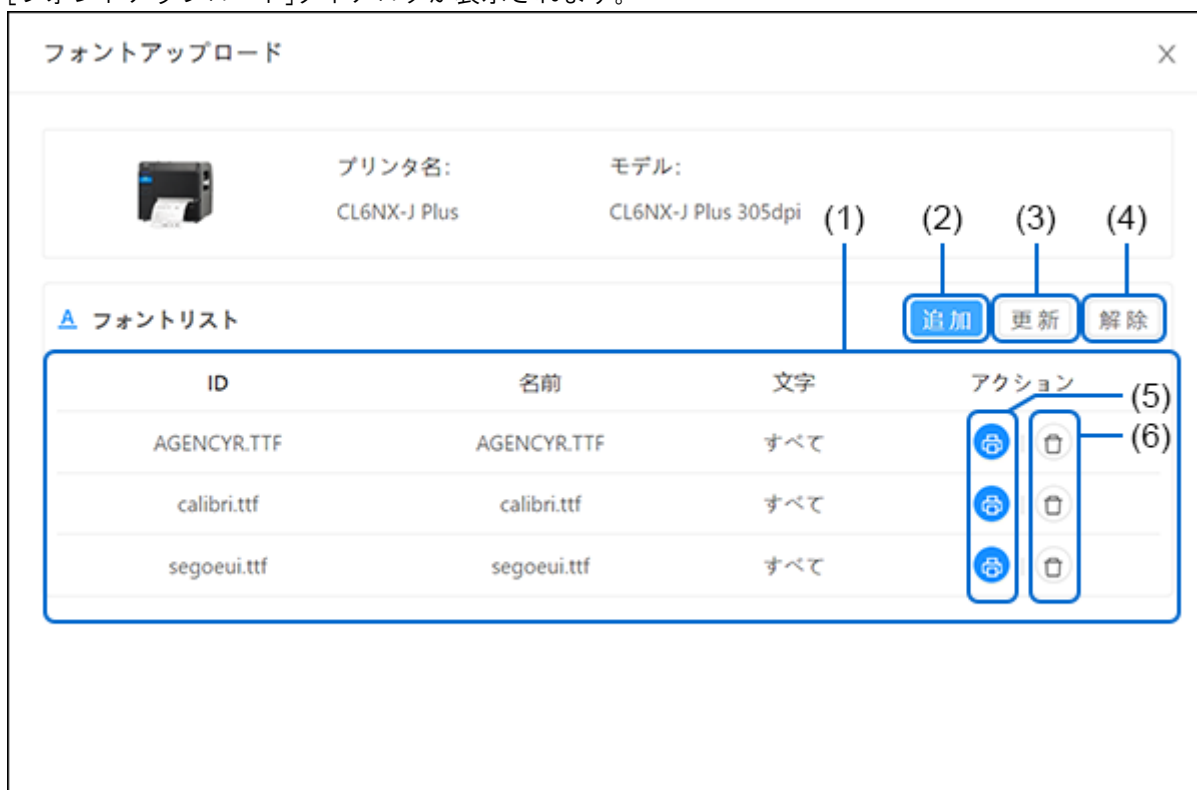
## フォントのアップロード

この機能を使用するとプリンタにフォントをアップロードできます。

プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [ファイルアップロード] > [フォントアップロード]をクリックします。



[フォントアップロード]ダイアログが表示されます。



(1) **[フォントリスト]**

プリンタにインストール済みのフォントがある場合は、[フォントリスト]に表示されます。

(2) **[追加]ボタン**

クリックすると、プリンタにフォントを追加できます。

(3) **[更新]ボタン**

クリックすると、フォントのリストを更新できます。

(4) **[解除]ボタン**

クリックすると、[フォントリスト]に表示されているすべてのフォントを削除できます。

(5) **[テスト印字]ボタン**

クリックすると、それぞれのフォントのテスト印字を実行できます。

(6) **[削除]ボタン**

クリックすると、各フォントを削除できます。

## TrueTypeフォント全体のアップロード



## 1. [追加]をクリックします。



[フォント追加]ダイアログが表示されます。



## フォントをプリンタにアップロードする



1. [TrueTypeフォント全体]タブの[フォント一覧]で[既定]が選択されていることを確認します。

初期状態では[フォント一覧]で[既定]が選択されています。既定とはコンピュータにインストールされているシステムフォントのことです。

2. [フォント選択]ドロップダウンリスト(a)をクリックし、フォントを選択します。

選択したフォントがプレビューボックス(b)に表示されます。

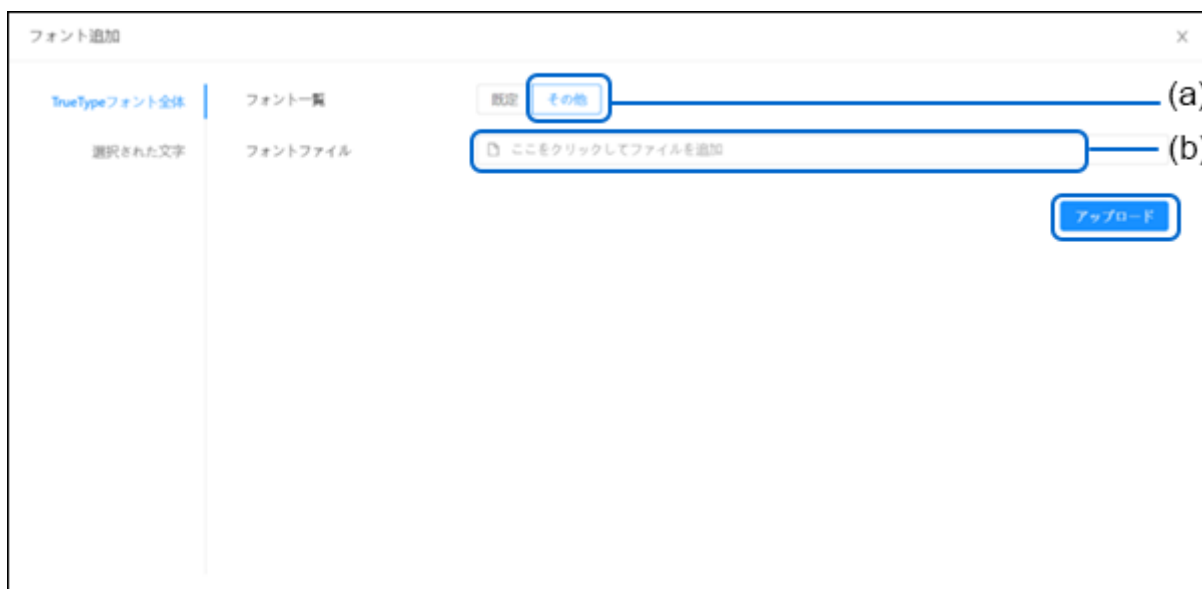
3. [アップロード]をクリックします。



- フォントによってはライセンス条項が定められている場合があります（サードパーティのフォントなど）。フォントのライセンス条項を守ってご使用ください。



#### 他のディレクトリからフォントをアップロードする



1. [TrueTypeフォント全体]タブの[フォント一覧]で[その他](a)を選択します。
2. ファイル挿入ボックス(b)をクリックし、他の場所を参照してフォントファイルを選択します。

### 3. [アップロード]をクリックします。



- フォントによってはライセンス条項が定められている場合があります（サードパーティのフォントなど）。フォントのライセンス条項を守ってご使用ください。



### 選択した文字のアップロード

この機能を使用するとプリンタに選択した文字をアップロードできます。



1. [選択された文字]タブで、[フォント選択]ドロップダウンリスト(a)をクリックし、フォントを選択します。
2. [フォントID](b)、[フォント名](c)および[フォントサイズ](d)を指定します。
3. [文字選択]ボックス(e)の文字をクリックして選択します。
  - 複数の文字範囲をクリックしてドラッグすることで、複数選択できます。
  - [Unicode入力]テキストボックス(f)にUnicodeのコードを入力して、文字を検索できます。Unicodeの文字が見つかった場合は、その文字が強調表示されます。

選択した文字は[選択されたすべてのリスト](g)に追加されます。

#### 4. [アップロード]をクリックします。



- フォントによってはライセンス条項が定められている場合があります（サードパーティのフォントなど）。フォントのライセンス条項を守ってご使用ください。



#### フォントライセンス

使用目的に沿ったフォントのライセンスを所有していることを確認してください。所有していない場合はアップロードをキャンセルしてください。

キャンセル

OK

## 画像アップロード

この機能を使用すると、画像をアップロードしてプリンタのメモリに保存できます。この機能は以下の画像形式に対応しています。

- BMP
- JPG
- GIF
- PNG

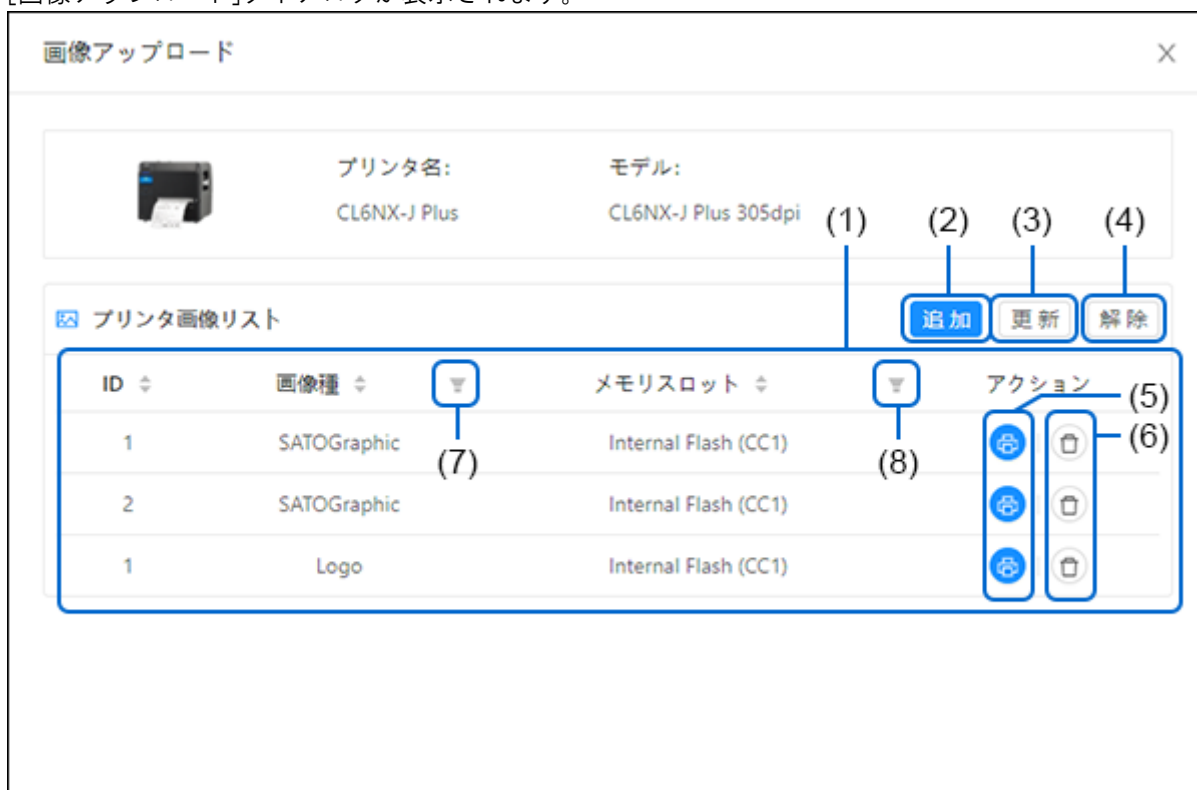
この機能は以下のタイプのアップロード形式に対応しています。

- SATOGraphic : SATO画像 (ESC+GR/GIコマンド)
- BMP : ビットマップ画像 (ESC+GT/GCコマンド)
- PCX : PCX画像 (ESC+PI/PYコマンド)
- Logo : 内部フラッシュのロゴ (FDコマンド)

プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [ファイルアップロード] > [画像アップロード]をクリックします。



[画像アップロード]ダイアログが表示されます。



(1) [プリンタ画像リスト]

プリンタにインストール済みの画像がある場合は、[プリンタ画像リスト]に表示されます。

(2) [追加]ボタン

クリックすると、プリンタに画像を追加できます。

(3) [更新]ボタン

クリックすると、画像のリストが更新できます。

(4) [解除]ボタン

クリックすると、[プリンタ画像リスト]に表示されているすべての画像を削除できます。

(5) [テスト印字]ボタン

クリックすると、それぞれの画像のテスト印字を実行できます。

(6) [削除]ボタン

クリックすると、各画像を削除できます。

(7) フィルタメニューボタン

クリックすると、画像のタイプ別にリストをフィルタ処理できます。

(8) フィルタメニューボタン

クリックすると、メモリスロット別にリストをフィルタ処理できます。

- [ID]、[画像種]、または[メモリスロット]の見出しをクリックして画像のリストを並べ替えることができます。

## 画像をプリンタにアップロードする

1. [追加]ボタンをクリックします。



[画像追加]ダイアログが表示されます。



2. アップロードする画像に対応する[画像種](a)を選択します。
3. [画像ID]テキストボックス(b)に画像の識別番号を入力します。  
初期値では、選択した画像種の次に使用可能な識別番号が表示されます。
4. [メモリスロット]ドロップダウンリスト(c)をクリックし、画像の保存先となるメモリの場所を選択します。

[画像種]で[Logo]が選択されていない場合は[メモリスロット]を使用できません。

5. [デザインモード]ドロップダウンリスト(d)をクリックし、デザインエフェクトを選択します。

デザインエフェクト機能を使用できるのは、[画像種]で、[BMP]、[PCX]、または[Logo]を選択した場合のみです。この機能を使用すると、カラーフェードエフェクトを施した画像をアップロードできます。

6. [画像保存場所]選択ボックス(e)をクリックし、コンピュータのファイルシステムから画像ファイルを選択します。

選択した画像が[プレビュー画像]ボックス(f)に表示されます。

7. [アップロード]をクリックします。



- [デザインモード]が設定されている場合は、デザインエフェクトの出力が[プレビュー画像]ボックスに表示されます。





## ファームウェアのアップロード

SATO認定のサービス担当者は、この機能を使用してプリンタにファームウェアをアップロードできます。ファームウェアのアップロードが必要な場合は、購入された販売店またはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。

プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [ファイルアップロード] > [ファームウェアアップロード]をクリックします。



このショートカットを使用すると[その他] > [ツール] > [パッケージをインストール]を操作できるようになります。

 詳細は、[パッケージのインストール](#)を参照してください。

## プリンタのサポートと連絡先

[サポート]メニューを使用すると、発生した問題を報告したり、質問をしたり、グローバルネットワーク連絡先リストから情報にアクセスしたりできます。

プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [サポート]をクリックします。



以下のオプションを選択できます。

### [オンラインチケット登録]


プリンタに問題が発生した場合や、何か質問がある場合は、[オンラインチケット登録]をクリックして要求フォームを送信してください。

### [営業担当]






弊社製品の詳細については、弊社営業担当に直接問い合わせることができます。[営業担当]をクリックして、サトーネットワーク連絡先リストにアクセスし、お客様の地域の連絡先を検索してください。

## [ツール] メニュー



- プリンタページに戻るには、[ツール]メニュー左上の  ボタンをクリックします。

[ツール]メニューでは、以下のことができます。

-  [アップロード](#)
-  [クローン作成](#)
-  [パッケージのインストール](#)
-  [テスト印字](#)
-  [再起動](#)

## アップロード

無線LAN認証とHTTPSで使用する証明書をアップロードできます。

選択肢は以下のとおりです。

- [HTTPS証明書]
- [Wi-Fiルート証明書]
- [Wi-Fiクライアント証明書]
- [Wi-Fi秘密鍵]
- [Wi-Fi EAP-FAST PACファイル]

1. プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [ツール]をクリックします。



[ツール]メニューが表示され、初期状態では[アップロード]が選択されています。

2. [アップロード]メニューで、アップロードする証明書のファイル挿入ボックスをクリックし、証明書ファイルを選択します。



使用可能な証明書ファイルの拡張子は以下のとおりです。

- .pem、.crt、.cer、.der (PEM または DER フォーマットでの Root CA および クライアント証明書用)
- .pfx、.p12 (PKCS #12 フォーマットでの クライアント証明書用)
- .prv、.key (PEM/PKCS#8 フォーマットでの プライベートキー用)
- .pac (PAC ファイル用)

3. 証明書ファイルを選択したボックス横の[アップロード]ボタンをクリックします。

## クローン作成

プリンタの設定値をコピーしPKGファイルとしてコンピュータに保存できます。

この機能は、既存のプリンタの設定値を取得して新しいプリンタにインストールしたり、複数のプリンタを同じ設定でセットアップしたりする場合に使用します。

1. プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [ツール]をクリックします。



[ツール]メニューが表示されます。

2. [クローン作成]タブをクリックします。

[クローン作成]メニューが表示されます。

3. [クローン作成]メニューでドロップダウンリスト(1)をクリックし、以下の選択肢のいずれかを選択します。



#### [ネットワーク/BT情報なし]

ネットワーク情報（LAN、Wi-Fi、IP、Bluetooth）以外のプリンタの設定とデータをコピーします。ネットワーク接続済みの複数のプリンタを同じ設定でセットアップする場合は、[ネットワーク/BT情報なし]を選択します。

#### [ネットワーク/BT情報あり（IPなし）]

ネットワーク情報（IPアドレス以外）を含むプリンタの設定とデータをコピーします。同じネットワークに接続する複数のプリンタを同じ設定でセットアップする場合は、[ネットワーク/BT情報あり（IPなし）]を選択します。

#### [ネットワーク/BT情報あり（IPあり）]

ネットワーク情報（IPアドレスを含む）を含むプリンタの設定とデータをコピーします。交換するプリンタの設定を新しいプリンタに引き継ぐ場合は[ネットワーク/BT情報あり（IPあり）]を選択します。

### 4. [プリンタのクローン]をクリックします。



- 設定はPKGファイル形式で保存されます。テキストエディタで開いて内容を確認したり編集したりすることはできません。
- 設定をプリンタに適用するには、[ツール]メニューの[パッケージをインストール]機能を使用します。



詳細は、[パッケージのインストール](#)を参照してください。

---

## パッケージのインストール

この機能を使用すると、PKG形式のファイルでクローン設定をプリンタに適用したり、AEPパッケージをプリンタにインストールできます。

SATO認定のサービス担当者は、プリンタのファームウェアまたはファームウェアパッチをプリンタにインストールすることができます。プリンタにファームウェアのインストールが必要な場合は、購入された販売店またはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。

1. プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [ツール]をクリックします。



[ツール]メニューが表示されます。

2. [パッケージをインストール]タブをクリックします。

[パッケージをインストール]メニューが表示されます。

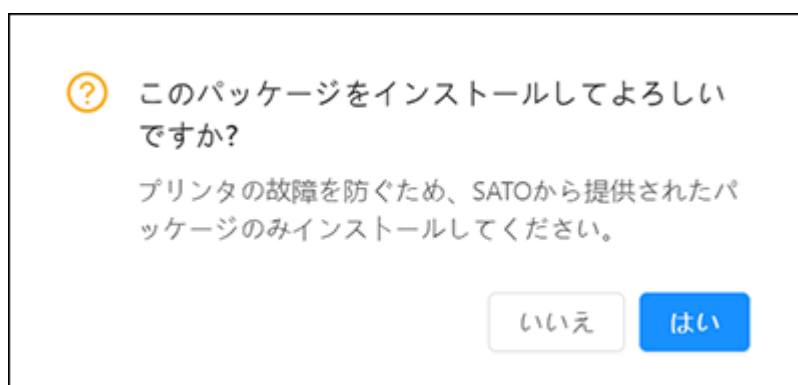


3. ファイル挿入ボックス(1)をクリックし、インストールするパッケージファイルを選択します。



4. [インストール]をクリックします。

確認ダイアログが表示されます。



5. 確認後、[はい]をクリックして操作を進めます。

インストール処理が開始され警告ダイアログが表示されます。



**6. 警告メッセージをよく読み、インストールが完了するまで待ちます。**

インストールが完了するとプリンタが自動的に再起動します。

## テスト印字

指定されたファイルまたはプリンタの設定情報を使用してテスト印字を実行できます。

### 指定ファイルを使用したテスト印字

テスト印字用のファイルを使用してテスト印字を実行できます。

1. プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [ツール]をクリックします。



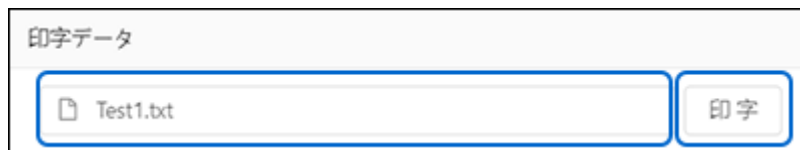
[ツール]メニューが表示されます。

2. [テスト印字]タブをクリックします。

[テスト印字]メニューが表示されます。



3. ファイル挿入ボックスをクリックし、コンピュータのファイルシステムからテスト印字用ファイルを選択します。



4. [印字]をクリックします。

## プリンタ設定情報を使用したテスト印字

以下のプリンタ設定情報が記載されたテスト印字を実行することができます。

- [工場設定]：工場用テスト印字を実行します。
- [設定一覧]：設定情報一覧を使用してテスト印字を実行します。
- [設定一覧 (QRコード)]：設定情報のQRコードを使用してテスト印字を実行します。

1. プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [ツール]をクリックします。



[ツール]メニューが表示されます。

2. [テスト印字]タブをクリックします。

[テスト印字]メニューが表示されます。



3. [ラベル]ドロップダウンリストから、[工場設定]、[設定一覧]、または[設定一覧 (QRコード)]を選択します。



4. [印字]をクリックします。

## 再起動

プリンタをリモートで再起動できます。

1. プリンタページで選択されているプリンタの[その他] > [ツール]をクリックします。



[ツール]メニューが表示されます。

2. [再起動]タブをクリックします。

[再起動]メニューが表示されます。

3. プリンタを再起動するには[プリンタ再起動]をクリックします。



## [設定] メニュー

プリンタのほとんどの設定は、All-In-One Toolアプリケーションからリモートでおこなえます。



- プリンタページに戻るには、[設定]メニュー左上の < ボタンをクリックします。

All-In-One Toolに対応している全プリンタで、使用可能なすべてのカテゴリのメニューを、以下のリストに示します。



- 選択されているプリンタで使用可能な状態かどうかにより、All-In-One Toolのメニューの選択肢や設定項目の一部が表示されない場合があります。
- 設定と機能についての詳細は、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。

## [印字]メニュー

[印字]メニューには、以下の設定項目があります。



- 選択されているプリンタで使用可能な状態かどうかにより、All-In-One Toolのメニューの選択肢や設定項目の一部が表示されない場合があります。
  - 設定と機能についての詳細は、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。
- 

## [一般] 設定

一般設定項目は以下のとおりです。

### [メディア種]

用紙の種類を設定します。

### [用紙長]

用紙の長さを設定します。

プリンタの印字解像度により設定範囲は異なります。



- [システム] > [地域] > [単位]メニューで、単位をdot、"（インチ）、mmの間で切替えることができます。
  - 用紙サイズには、台紙を含む値を設定してください。
- 

### [用紙幅]

用紙の幅を設定します。

プリンタの印字解像度により設定範囲は異なります。



- [システム] > [地域] > [単位]メニューで、単位をdot、"（インチ）、mmの間で切替えることができます。
  - 用紙サイズには、台紙を含む値を設定してください。
- 

### [ラベル自動測長]

用紙の長さが自動的に計測されます。

計測された用紙の長さが自動的に[用紙長]に保存されます。

### [印字方式]

リボンを使用して印字するか、感熱紙を使用して印字するかを選びます。

感熱方式/熱転写方式兼用モデルのみ表示されます。

### [リボンニアエンド]

[リボンニアエンド]を有効にすると、リボンが終了に近づいたときに警告アイコンを表示します。警告アイコンが表示されても、印字動作は停止しません。



感熱方式/熱転写方式兼用モデルで、[印字方式]メニューで[熱転写方式]を選択している場合にのみ表示されます。

#### [印字速度]

印字速度を設定します。

#### [センサタイプ]

用紙を検出するセンサタイプを設定します。

#### [アイマーク位置]

アイマークの位置を設定します。

#### [用紙サイズ]

中央のアイマークの位置を決める用紙サイズを設定します。

#### [アイマークオフセット]

アイマークのオフセット位置を設定します。

#### [自動モード]

[自動モード]を有効にすると、取り付けているオプションに応じて動作モードが自動で切替わりま  
す。

#### [動作モード]

動作モードを手動で設定します。

#### [バックフィード]

バックフィード動作を設定します。

#### [排出カット]

最後に印字した用紙に、排出カット動作を設定します。指定したタイミングで最後の用紙をカットし  
ます。

#### [濃度レンジ]

印字の濃度レンジを設定します。

#### [印字濃度]

印字の濃度を10段階で指定します。

設定範囲は1～10です。1が最も薄く、10が最も濃くなります。

#### [ハクリ設定]

ハクリ動作時のバックフィード動作とセンサのタイプを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### [バックフィード]

ハクリ動作時のバックフィード動作を設定します。

### [センサタイプ]

ハクリ動作時に使用するピッチセンサのタイプを設定します。

## [基点補正]設定

縦方向および横方向の印字基準位置を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### [縦位置補正]

縦方向の印字位置を設定します。

### [横位置補正]

横方向の印字位置を設定します。

## [詳細設定]設定

印字の動作を詳細に設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### [一般]

[詳細設定]設定の一般設定項目は以下のとおりです。

### [調整モード]

オフセット位置、印字位置、印字濃度、および用紙頭出しセンサの位置を補正します。

設定項目は以下のとおりです。

### [オフセット調整]

オフセット位置を補正します。

オフセット調整により、ティアオフ/カット/ハクリ動作時のバックフィード量と用紙停止位置を調整します。

紙送りと逆方向を“+”、紙送り方向を“-”として、オフセット位置を設定します。



- [システム] > [地域] > [単位]メニューで、単位をdot、"（インチ）、mmの間で切替えることができます。
- 

### [印字位置調整]

印字位置調整では、印字開始位置を設定することで縦方向の印字位置を調整します。

紙送りと逆方向を“+”、紙送り方向を“-”として、印字位置を設定します。



- [システム] > [地域] > [単位]メニューで、単位をdot、"（インチ）、mmの間で切替えることができます。
-

### [ピッチ+オフセット調整]

「ピッチ+オフセット調整」機能は、オフセット位置とピッチ位置を同時に調整します。  
紙送りと逆方向を“+”、紙送り方向を“-”として、オフセット位置とピッチ位置を設定します。



- [システム] > [地域] > [単位]メニューで、単位をdot、”（インチ）、mmの間で切替えることができます。
- 

### [印字濃度調整]

印字濃度を微調整します。  
設定範囲は0～99です。0が最も薄く、99が最も濃くなります。

### [用紙頭出しセンサ]

用紙頭出しセンサの位置を調整します。  
オプションのハクリユニットまたはノンセパクタユニットを取り付けている場合は表示されません。  
紙送りと逆方向を“+”、紙送り方向を“-”として、用紙頭出しセンサの位置を補正します。



- [システム] > [地域] > [単位]メニューで、単位をdot、”（インチ）、mmの間で切替えることができます。
  - 設定と機能についての詳細は、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。
- 

### [用紙無駄なし機能]

用紙無駄なし機能を設定します。  
オプションのハクリユニットまたはノンセパクタユニットを取り付けている場合は表示されません。  
設定項目は以下のとおりです。

#### [有効]

用紙無駄なし機能を有効または無効にします。  
[エラー後 紙送り]および[起動時 紙送り]が無効の場合に設定できます。

#### [登録されている用紙長]

用紙無駄なし機能を正確に実行するために、使用するラベルの用紙長を登録します。用紙長を登録しないと、2枚目以降のラベルが白紙で送られる可能性があります。

以下の条件を満たす場合に表示されます。

- [用紙無駄なし機能] > [有効] が有効
- [印字] > [メディア種]メニューで[ラベル]を選択
- [印字] > [センサタイプ]メニューで[透過]または[反射]を選択

用紙長は、台紙を含む値を設定してください。



- [システム] > [地域] > [単位]メニューで、単位をdot、”（インチ）、mmの間で切替えることができます。
-

### [ヘッドチェック]

サーマルヘッドの断線がないか自動で確認します。

### [ヘッドチェック方法]

ヘッドチェックの方法を設定します。

### [枚数指定]

指定した枚数ごとにヘッドチェックをおこないます。

### [用紙飛びチェック]

用紙のサイズチェックを有効または無効にします。

### [オンライン起動]

プリンタ起動時にオンライン状態で起動するかを設定します。

### [エラー後 紙送り]

エラーから復帰してオンライン状態に切替わる時に、自動で紙送りをおこなうかを設定します。

### [起動時 紙送り]

プリンタ起動時に自動で紙送りをおこなうかを設定します。

### [オプションフィード量]

ティアオフ、ノンセパ、カットおよびハクリ停止のための用紙搬送量を設定します。

サーマルヘッドの位置を0として、紙送り量を設定します。



- [システム] > [地域] > [単位]メニューで、単位をdot、"（インチ）、mmの間で切替えることができます。
- 

### [バックフィード速度]

バックフィード速度を設定します。

### [ペーパーエンドセンサ]

ペーパーエンド（用紙切れ）を検知するセンサタイプを設定します。

### [印字有効範囲]

印字の基点となる位置を設定します。

### [優先設定]

プリンタの設定内容を、プリンタの設定とコマンドによる設定のどちらを優先させるかを設定します。

### [再発行設定]

再発行機能を有効または無効にします。

### [印字制御設定]

印字のパフォーマンスを設定します。

### [印字停止位置]

[センサタイプ]が[なし]に設定されている場合に用紙停止位置またはカット位置を調整します。用紙停止位置からの空白の量も設定します。



- [システム] > [地域] > [単位]メニューで、単位をdot、"（インチ）、mmの間で切替えることができます。
- 

### [ラベルニアエンド]

用紙が終了に近づいたときの警告アイコンの表示/非表示を設定します。警告アイコンが表示されても、印字動作は停止しません。

### [ハクリモード]

ハクリ動作を設定します。

### [リボンテンション調整]

リボン巻取りシャフトドライブに対するプラテンローラーの駆動タイミングの遅れ度合いを調整します。リボンの汚れ（カーボンリボンとラベル表面の摩擦痕）が見られる場合は、それを低減するように設定を調整できます。

設定値を下げると、プラテンローラーの駆動タイミングの遅れが減少します。

設定値を上げると、プラテンローラーの駆動タイミングの遅れが増加します。

感熱方式/熱転写方式兼用モデルで、[印字方式]メニューで[熱転写方式]を選択している場合にのみ表示されます。

### [ページクリッピングモード]

ページクリッピングモードを有効または無効にします。

ページクリッピングモードを有効にした場合、印字位置を区切りとして、印字領域外の印字は印字されません。

印字位置は、[印字] > [詳細設定] > [調整モード]メニューの[印字位置調整]または[ピッチ+オフセット調整]で設定した値に従って移動します。

### [フィードオフセット]

ノンセパモード使用時のフィード距離を設定します。

[動作モード]メニューで[ノンセパ]を選択している場合にのみ表示されます。



- [システム] > [地域] > [単位]メニューで、単位をdot、"（インチ）、mmの間で切替えることができます。
- 

### [バックフィードオフセット]

ノンセパモード使用時のバックフィード距離を設定します。

[動作モード]メニューで[ノンセパ]を選択している場合にのみ表示されます。



- [印字方式]を[熱転写方式]に設定する場合、ラベルバックフィードの長さは30mm以下である必要があります。30mmを超えている場合は、リボンの末端が誤って検出される可能性があります。
  - [システム] > [地域] > [単位]メニューで、単位をdot、"（インチ）、mmの間で切替えることができます。
-

### [フィード速度]

用紙のフィード速度を設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

### [印字速度と同期]

フィード速度設定は、印字速度設定と同じ値に設定されます。  
選択肢は以下のとおりです。

#### [有効]

フィード速度設定は、[印字] > [印字速度]メニューの設定と連動しています。

#### [無効]

[フィード速度]でフィード速度を手動で設定します。

### [フィード速度]

フィード速度を手動で設定します。  
[印字速度と同期]を無効にした場合にのみ使用できます。

### [ペーパーエンドセンサ]

ペーパーエンドを検知するセンサを選択し、ペーパーエンドの検出距離を調整します。  
以下の設定項目を使用できるのは、S84NX/S86NXシリーズ（海外モデル）のみです。

### [センサタイプ]

ペーパーエンドを検出するセンサを設定します。  
S84NX/S86NXシリーズ（海外モデル）でのみ使用できます。

### [ペーパーエンド距離]

[センサタイプ]を[透過]に設定したときのペーパーエンドの検出距離を調整します。  
S84NX/S86NXシリーズ（海外モデル）でのみ、[センサタイプ]メニューで[透過]を選択している場合に使用できます。



- [システム] > [地域] > [単位]メニューで、単位をdot、"（インチ）、mmの間で切替えることができます。
- 

### [カレンダー設定モード]

カレンダー機能の設定をします。  
設定項目は以下のとおりです。

### [カレンダー再発行]

再発行操作で再発行をおこなう際に日付と時刻を更新するかどうかを設定します。



- 再発行操作が完了していて、エラーの発生により印字が停止した場合は、この設定が[無効]であっても日付と時刻が更新されます。
-

### **【曜日コード】**

カレンダーコマンドの曜日コードを設定します。  
各曜日に文字を割り当てます。

### **【月コード】**

カレンダーコマンドの月コードを設定します。  
各月に文字を割り当てます。

### **【ケースフォーマット】**

カレンダーの文字形式を選択します。  
選択肢は以下のとおりです。

#### **【Mixed】**

最初の文字にのみ大文字を使用します。  
例：Sunday/Sun

#### **【Upper】**

すべての文字に大文字を使用します。  
例：SUNDAY/SUN

### **【カレンダーチェック】**

カレンダー用電池から取得した時間が正しいかを判定するか設定します。

[有効]を選択した場合、電池切れなどの理由で時間が正しくないと判定されると、カレンダーエラーが発生します。

### **【ワークシフトモード】**

このモードをSBPLコマンドとともに使用すると、特定の生産シフト情報をラベルに印字できます。

現場に必要なワークシフト数に応じて、最大3つのシフトを設定できます。たとえば、2つのシフトが必要な場合は、ワークシフト番号1および2を設定します。

ワークシフト開始時間と特定のワークシフトコードの名前を設定します。

選択肢は以下のとおりです。

#### **【シフトコード】**

ワークシフトモードを有効または無効にします。

#### **【シフトタイム】**

ワークシフト開始時間を設定します。

[シフトコード]メニューで[有効]を選択している場合にのみ設定できます。

#### **【シフト名】**

ワークシフトの名前を設定します。

[シフトコード]メニューで[有効]を選択している場合にのみ設定できます。

### **[動作詳細]**

印字動作を詳細に設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### **[スループットモード]**

スループットモードを有効または無効にします。

この設定を有効にすると、バックフィードからフォワードフィードまでの間隔またはフォワードフィードからバックフィードまでの間隔が短縮され、スループットが向上します。

### **[バックフィード動作拡張]**

バックフィード動作拡張を有効または無効にします。

[動作モード]メニューで[ハクリ]を選択している場合や、[バックフィード]メニューで[前]を選択している場合に表示されます。

この機能を有効にした場合、外部信号 (EXT) インタフェースを使用すると、印字データを受信して印字が可能な状態になると、バックフィードがおこなわれ、印字開始信号 (PRIN) の入力を待ちます。

## **[高精度印字モード] 設定**

高精度印字モードの動作を設定します。

高精度印字モードは、小さいサイズのラベルに精度の高い印字をおこないます。

この機能は、CL4NX Plus、CL6NX Plus、CL4NX-J Plus、CL6NX-J Plus、S84NX/S86NXシリーズ（海外モデル）でのみ使用できます。

設定項目は以下のとおりです。

### **[高精度印字モード]**

高精度印字モードを有効または無効にします。

### **[自動用紙長測定]**

[高精度印字モード]が[有効]に設定されている場合に自動用紙長測定を有効または無効にします。

### **[用紙長測定回数]**

[高精度印字モード]を[有効]に設定しており、かつ[自動用紙長測定]を[有効]に設定している場合、用紙長を算出するための用紙の測定回数を設定します。

### **[用紙長]**

[高精度印字モード]を[有効]に設定しており、かつ[自動用紙長測定]を[無効]に設定している場合、用紙長を手動で設定します。



## [通信設定]メニュー

[通信設定]メニューには、以下の設定項目があります。

### [一般] 設定

一般設定項目は以下のとおりです。

### [CR/LFカット]

受信データ内のCR/LFコード (0x0D / 0x0A) を無視するかを設定します。

### [CAN/DLEカット]

受信データ内のCAN/DLEコード (0x18 / 0x10) を無視するかを設定します。

## [ネットワーク] 設定

コンピュータとプリンタの間のインタフェースとしてLANまたは無線LANを使用するためのメニューです。

設定項目は以下のとおりです。

### [設定]

LANまたは無線LANを設定するか、インタフェースを選択します。



- 現在のAll-In-One Toolメニューでは、選択されているプリンタで使用可能な状態かどうかにより、ここに示す設定項目の一部が表示されない場合があります。
- 設定と機能についての詳細は、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。

設定項目は以下のとおりです。

### [LAN]

LANのIPv4、IPv6、TCP/IPポート番号、およびプロキシを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### [IPv4]

LANのIPv4を設定します。



- [モード]が[DHCP]のときは、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]、[DNSプライマリアドレス]、[DNSセカンダリアドレス]を変更できません。

設定項目は以下のとおりです。

### [モード]

IPアドレスの割り当て方法を選びます。

## [IPアドレス]

IPアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[DHCP]を選択している場合、画面にDHCPサーバーから取得したIPアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、IP アドレスを設定します。

## [サブネットマスク]

サブネットマスクアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[DHCP]を選択している場合、画面にDHCPサーバーから取得したサブネットマスクアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、サブネットマスクアドレスを設定します。

## [ゲートウェイ]

デフォルトゲートウェイアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[DHCP]を選択している場合、画面にDHCPサーバーから取得したゲートウェイアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。

## [DNSプライマリアドレス] / [DNSセカンダリアドレス]

DNSサーバーのアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[DHCP]を選択している場合、画面にDHCPサーバーから取得したDNSサーバーのアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、DNSサーバーのアドレスを設定します。

## [IPv6]

LANのIPv6を設定します。



- [モード]が[固定アドレス]以外のときは、[IPアドレス]、[プレフィックス長]、[ゲートウェイ]、[DNS]を変更できません。
- 

設定項目は以下のとおりです。

### [モード]

IPアドレスの割り当て方法を選択するか、IPv6を無効にします。

### [IPアドレス]

IPアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[自動設定]または[DHCP]を選択している場合、画面に取得したIPアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、IP アドレスを設定します。

### [プレフィックス長]

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、プレフィックスを設定します。

## [ゲートウェイ]

デフォルトゲートウェイアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[自動設定]または[DHCP]を選択している場合、画面に取得したゲートウェイアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。

## [DNS]

DNSサーバーのプライマリアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[自動設定]または[DHCP]を選択している場合、画面に取得したDNSサーバーのアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、DNSサーバーのアドレスを設定します。

## [ポート]

TCP/IPポート番号を設定します。



- 設定と機能についての詳細は、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。
- 

設定項目は以下のとおりです。

### [ポート番号1]

ポート1のポート番号を設定します。

### [ポート番号2]

ポート2のポート番号を設定します。

### [ポート番号3]

ポート3のポート番号を設定します。

### [通信プロトコル]

通信プロトコルを設定します。

### [TCP接続待ち]

複数のホストやアプリケーションからの接続要求時に、接続待ちをおこなうか設定します。

### [Legacy Status設定]

ポート番号3の返送ステータスフォーマットを互換モードにするかを設定します。

[通信プロトコル]メニューで[なし]を選択している場合は表示されません。

### [BCC]

BCCチェック機能を有効または無効にします。

[通信プロトコル]メニューで[Status5]を選択している場合にのみ表示されます。

### [ENQ応答遅延時間]

ステータス要求ENQに対するステータス返送の応答を遅らせる時間を設定します。

[通信プロトコル]メニューで[Status4]を選択している場合は設定できません。

### **[Status4周期応答間隔]**

ステータス返送の周期の応答間隔を設定します。

[通信プロトコル]メニューで[Status4]を選択している場合にのみ設定できます。

### **[プロキシ] (LAN)**

LANのプロキシを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### **[有効]**

プロキシの使用を有効または無効にします。

サーバーを設定している場合にのみ表示されます。

#### **[サーバー名]**

サーバーの設定後にサーバー名を表示します。

#### **[サーバー名設定]**

プロキシサーバーの詳細を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

- **[サーバー]**

プロキシサーバーの名前またはIPアドレスを設定します。

入力例) http://172.128.1.100

- **[ユーザー名]**

プロキシサーバーに接続するためにユーザー名が必要な場合は、ユーザー名を設定します。

- **[パスワード]**

プロキシサーバーに接続するためにパスワードが必要な場合は、パスワードを設定します。

- **[ポート番号]**

プロキシサーバーとの通信を許可するポート番号を設定します。

#### **[プロキシを使用しない]**

プロキシの例外となる名前、IPアドレスまたはドメインを設定します。

### **[DHCPオプション]**

LANのDHCPオプションを設定します。

[IPv4](LAN) > [モード]メニューまたは[IPv6](LAN) > [モード]メニューで[DHCP]を選択している場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

#### **[DNS更新 (オプション81)]**

DHCPサーバーオプション81の使用を有効または無効にします。

#### **[ホスト名]**

ホスト名を設定します。

## [Wi-Fi]

無線LANを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

## [IPv4] (Wi-Fi)

Wi-FiのIPv4を設定します。



- [モード]が[DHCP]のときは、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]、[DNSプライマリアドレス]、[DNSセカンダリアドレス]を変更できません。
- 

設定項目は以下のとおりです。

### [モード]

IPアドレスの割り当て方法を選びます。

### [IPアドレス]

IPアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[DHCP]を選択している場合、画面にDHCPサーバーから取得したIPアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、IP アドレスを設定します。

### [サブネットマスク]

サブネットマスクアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[DHCP]を選択している場合、画面にDHCPサーバーから取得したサブネットマスクアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、サブネットマスクアドレスを設定します。

### [ゲートウェイ]

デフォルトゲートウェイアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[DHCP]を選択している場合、画面にDHCPサーバーから取得したゲートウェイアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。

### [DNSプライマリアドレス]/[DNSセカンダリアドレス]

DNSサーバーのアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[DHCP]を選択している場合、画面にDHCPサーバーから取得したDNSサーバーのアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、DNSサーバーのアドレスを設定します。

## [IPv6] (Wi-Fi)

Wi-FiのIPv6を設定します。



- [モード]が[固定アドレス]以外のときは、[IPアドレス]、[プレフィックス長]、[ゲートウェイ]、[DNS]を変更できません。
- 

設定項目は以下のとおりです。

## [モード]

IPアドレスの割り当て方法を選択するか、IPv6を無効にします。

## [IPアドレス]

IPアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[自動設定]または[DHCP]を選択している場合、画面に取得したIPアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、IP アドレスを設定します。

## [プレフィックス長]

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、プレフィックスを設定します。

## [ゲートウェイ]

デフォルトゲートウェイアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[自動設定]または[DHCP]を選択している場合、画面に取得したゲートウェイアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。

## [DNS]

DNSサーバーのプライマリアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[自動設定]または[DHCP]を選択している場合、画面に取得したDNSサーバーのアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、DNSサーバーのアドレスを設定します。

## [ポート]

TCP/IPポート番号を設定します。



- 設定と機能についての詳細は、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。
- 

設定項目は以下のとおりです。

### [ポート番号1]

ポート1のポート番号を設定します。

### [ポート番号2]

ポート2のポート番号を設定します。

### [ポート番号3]

ポート3のポート番号を設定します。

### [通信プロトコル]

通信プロトコルを設定します。

### [TCP接続待ち]

複数のホストやアプリケーションからの接続要求時に、接続待ちをおこなうか設定します。

### [Legacy Status設定]

ポート番号3の返送ステータスフォーマットを互換モードにするかを設定します。

[通信プロトコル]メニューで[なし]を選択している場合は表示されません。

### [ENQ応答遅延時間]

ステータス要求ENQに対するステータス返送の応答を遅らせる時間を設定します。

### [プロキシ] (Wi-Fi)

Wi-Fiのプロキシを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### [有効]

プロキシの使用を有効または無効にします。

サーバーを設定している場合にのみ表示されます。

#### [サーバー名]

サーバーの設定後にサーバー名を表示します。

#### [サーバー名設定]

プロキシサーバーの詳細を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

- **[サーバー]**

プロキシサーバーの名前またはIPアドレスを設定します。

入力例) http://172.128.1.100

- **[ユーザー名]**

プロキシサーバーに接続するためにユーザー名が必要な場合は、ユーザー名を設定します。

- **[パスワード]**

プロキシサーバーに接続するためにパスワードが必要な場合は、パスワードを設定します。

- **[ポート番号]**

プロキシサーバーとの通信を許可するポート番号を設定します。

#### [プロキシを使用しない]

プロキシの例外となる名前、IPアドレスまたはドメインを設定します。

### [DHCPオプション] (Wi-Fi)

Wi-FiのDHCPオプションを設定します。

[IPv4] (Wi-Fi) > [モード]メニューまたは[IPv6] (Wi-Fi) > [モード]メニューで[DHCP]を選択している場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

#### [DNS更新 (オプション81)]

DHCPサーバーオプション81の使用を有効または無効にします。

#### [ホスト名]

ホスト名を設定します。

#### [ホスト名 (オプション12)]

DHCPサーバーオプション12の使用を有効または無効にします。

#### **[ホスト名 Suffix]**

DHCPサーバーオプション12で使用するホスト名サフィックスを設定します。

#### **[ユーザクラス (オプション77)]**

DHCPサーバーオプション77の使用を有効または無効にします。

#### **[ユーザクラス]**

DHCPサーバーオプション77で使用するユーザクラス名を設定します。

### **[Wi-Fi Direct]**

Wi-Fi Direct機能を設定します。

#### **[デバイス名]**

プリンタのデバイス名を手動で入力します。

### **[WEP設定]**

WEPキーを設定します。

[セキュリティ]メニューで[WEP]を選択している場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

#### **[認証]**

WEP認証方式を設定します。

#### **[キーインデックス]**

キーインデックスを設定します。

キーインデックス（WEPキー）は、接続する無線LANのアクセスポイントに合わせて設定します。

#### **[キー1]～[キー4]**

WEPキー1～4を設定します。

アルファベット（大文字および小文字）および数字を入力できます。

### **[WPA設定]**

WPA認証を設定します。

[セキュリティ]メニューで[WPA2+WPA]または[WPA2]を選択している場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

### **[EAP設定]**

EAP機能を設定します。

[WPA認証]メニューで[パーソナル (PSK)]以外の項目を選択している場合、または[セキュリティ]メニューで[ダイナミックWEP]を選択している場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

#### **[EAPモード]**

EAPモード（認証モード）を設定します。



### **[内部方式]**

内部方式を設定します。

[EAPモード]メニューで[FAST]、[PEAP]、または[TTLS]を選択している場合にのみ表示され  
ます。

### **[ユーザー名]**

ユーザー名を設定します。

0~63文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

### **[パスワード]**

パスワードを設定します。

0~32文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

### **[外部匿名ID]**

外部IDを設定します。

[EAPモード]メニューで[FAST]、[PEAP]、または[TTLS]を選択している場合にのみ表示され  
ます。

0~63文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

### **[サーバー証明認証]**

サーバー認証を有効または無効にします。

[EAPモード]メニューで[LEAP]以外の項目を選択している場合に表示されます。

### **[秘密鍵パスワード]**

秘密鍵パスワードを設定します。

[EAPモード]メニューまたは[内部方式]メニューで[TLS]を選択している場合にのみ表示され  
ます。

0~64文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

### **[PACプロビジョニング]**

PACの自動プロビジョニングを有効または無効にします。

[EAPモード]メニューで[FAST]を選択している場合にのみ表示されます。

### **[PACパスワード]**

PACパスワードを設定します。

[EAPモード]メニューで[FAST]を選択しており、かつ[PACプロビジョニング]を無効にしている場  
合にのみ表示されます。

0~64文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

## **[WPA認証]**

WPA認証方式を設定します。

## **[事前共有キー]**

PSK共有キーを設定します。

[WPA認証]メニューで[パーソナル (PSK)]を選択している場合にのみ表示されます。

8~63文字のASCII文字、または64桁の16進数で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用  
できます。

### [周波数帯]

周波数帯を設定します。

[モード]メニューで[Infrastructure]を選択している場合にのみ表示されます。

### [SSID]

SSIDを設定します。接続するネットワークの名称を手動で入力します。

最大32文字で入力します。英数字（大文字および小文字）および記号を使用できます。

### [ESS-IDステルス機能]

隠しSSID（ステルス機能）を設定します。

[モード]メニューで[Infrastructure]を選択している場合にのみ表示されます。

### [モード]

無線LANの通信方式を設定します。

### [チャンネル]

通信チャンネルを設定します。

[モード]メニューで[Ad-hoc]を選択している場合のみ、[チャンネル]を設定できます。

### [セキュリティ]

ネットワークのセキュリティ方式を設定します。プリンタ、ホスト、ネットワーク機器のセキュリティ方式が一致するように設定してください。

### [通信設定]

ネットワークインタフェースを選択します。

選択したプリンタにLANと無線LANの機能の両方が搭載されている場合に、どちらのネットワークインタフェースを使用するかを選ぶための項目です。

### [サービス]

TCP/IPポート番号、NTP、LPD、FTP、またはSNMPを設定します。



- 現在のAll-In-One Toolメニューでは、選択されているプリンタで使用可能な状態かどうかにより、ここに示す設定項目の一部が表示されない場合があります。
  - 設定と機能についての詳細は、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。
- 

設定項目は以下のとおりです。

### [ポート]

TCP/IPポート番号を設定します。



- 設定と機能についての詳細は、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。
- 

設定項目は以下のとおりです。

#### [ポート番号1]

ポート1のポート番号を設定します。

#### [ポート番号2]

ポート2のポート番号を設定します。

#### [ポート番号3]

ポート3のポート番号を設定します。

#### [通信プロトコル]

通信プロトコルを設定します。

#### [TCP接続待ち]

複数のホストやアプリケーションからの接続要求時に、接続待ちをおこなうか設定します。

#### [Legacy Status設定]

ポート番号3の返送ステータスフォーマットを互換モードにするかを設定します。

[通信プロトコル]メニューで[なし]を選択している場合は表示されません。

#### [BCC]

BCCチェック機能を有効または無効にします。

[通信プロトコル]メニューで[Status5]を選択している場合にのみ表示されます。

#### [ENQ応答遅延時間]

ステータス要求ENQに対するステータス返送の応答を遅らせる時間を設定します。

[通信プロトコル]メニューで[Status4]を選択している場合は設定できません。

#### [Status4周期応答間隔]

ステータス返送の周期の応答間隔を設定します。

[通信プロトコル]メニューで[Status4]を選択している場合にのみ設定できます。

### [NTP]

NTP機能を設定します。

NTP機能では、ネットワーク経由でNTPサーバーから時間情報を取得して、プリンタの時間を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### [有効]

NTP機能を有効または無効にします。

#### [エラー]

エラーを検知したときにNTPエラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

#### [NTPサーバーのIPアドレス]

IPv4アドレス、IPv6アドレス、またはNTPサーバーのDNS名を設定します。

### [LPD]

LPD機能を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### [有効]

LPD機能を有効または無効にします。

### **[DNSルックアップ]**

DNS Lookup機能を有効または無効にします。

### **[FTP]**

FTP機能を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### **[有効]**

FTP機能を有効または無効にします。

#### **[FTP タイムアウト]**

プリンタのFTPサーバーとクライアント間の接続タイムアウトの時間を設定します。

### **[SFTP]**

SFTP機能を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### **[有効]**

SFTP機能を有効または無効にします。

#### **[SFTPタイムアウト]**

プリンタのSFTPサーバーとクライアント間の接続タイムアウトの時間を設定します。

#### **[認証方式]**

SFTPの認証方式を設定します。

#### **[パスワード認証]**

パスワード認証を設定します。

[認証方式]メニューで[パスワード認証]を選択している場合にのみ表示されます。

#### **[鍵認証]**

認証情報を表示します。

[認証方式]メニューで[鍵認証]を選択している場合にのみ表示されます。

### **[SNMP]**

SNMP機能を設定します。

SNMP機能では、UDP/IPベースのネットワークを監視および管理できます。

設定項目は以下のとおりです。

### **[エージェント]**

エージェント機能を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### **[読取り専用]**

読取り専用機能を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### **[バージョン]**

SNMPのバージョンを設定します。

### **[コミュニティ]**

読取り専用のコミュニティ名を設定します。

[バージョン]メニューで[1|2c|3]または[1|2c]を選択している場合に表示されます。

### **[ユーザー]**

読取り専用のユーザー名を設定します。

[バージョン]メニューで[1|2c|3]または[3]を選択している場合に表示されます。

### **[セキュリティ]**

読取り専用のセキュリティレベルを設定します。

[バージョン]メニューで[1|2c|3]または[3]を選択している場合に表示されます。

### **[認証プロトコル]**

認証プロトコルを設定します。

[セキュリティ]メニューで[認証]または[プライバシー]を選択している場合に表示されます。

### **[認証パスワード]**

認証パスワードを設定します。

[セキュリティ]メニューで[認証]または[プライバシー]を選択している場合に表示されます。

### **[プライバシープロトコル]**

プライバシープロトコルを設定します。

[セキュリティ]メニューで[プライバシー]を選択している場合に表示されます。

### **[プライバシーパスワード]**

プライバシーパスワードを設定します。

[セキュリティ]メニューで[プライバシー]を選択している場合に表示されます。

## **[書込み許可]**

読取り/書込み機能を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### **[バージョン]**

SNMPのバージョンを設定します。

### **[コミュニティ]**

読取り/書込みのコミュニティ名を設定します。

[バージョン]メニューで[1|2c|3]または[1|2c]を選択している場合に表示されます。

### **[ユーザー]**

読取り/書込みのユーザー名を設定します。

[バージョン]メニューで[1|2c|3]または[3]を選択している場合に表示されます。

### **[セキュリティ]**

読取り/書込みのセキュリティレベルを設定します。

[バージョン]メニューで[1|2c|3]または[3]を選択している場合に表示されます。

### **[認証プロトコル]**

認証プロトコルを設定します。

[セキュリティ]メニューで[認証]または[プライバシー]を選択している場合に表示されます。

### **[認証パスフレーズ]**

認証パスフレーズを設定します。

[セキュリティ]メニューで[認証]または[プライバシー]を選択している場合に表示されます。

### **[プライバシープロトコル]**

プライバシープロトコルを設定します。

[セキュリティ]メニューで[プライバシー]を選択している場合に表示されます。

### **[プライバシーパスフレーズ]**

プライバシーパスフレーズを設定します。

[セキュリティ]メニューで[プライバシー]を選択している場合に表示されます。

## **[有効]**

エージェント機能を有効または無効にします。

## **[トラップ]**

トラップ機能を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### **[有効]**

トラップ機能を有効または無効にします。

### **[バージョン]**

SNMPのバージョンを設定します。

### **[IPバージョン]**

トラップ送信先に入力するIPアドレスのバージョンを設定します。

### **[送信先選択]**

トラップ送信先の数を設定します。

### **[送信先1]/[送信先2]/[送信先3]**

トラップ送信先のアドレスを設定します。

### **[コミュニティ]**

トラップのコミュニティ名を設定します。

[バージョン]メニューで[1]または[2c]を選択している場合に表示されます。

### **[ユーザー]**

トラップのユーザー名を設定します。

[バージョン]メニューで[3]を選択している場合に表示されます。

### **[セキュリティエンジンID]**

エンジンIDを設定します。

[バージョン]メニューで[3]を選択している場合に表示されます。

### **[セキュリティ]**

セキュリティレベルを設定します。

[バージョン]メニューで[3]を選択している場合に表示されます。

### **[認証プロトコル]**

認証プロトコルを設定します。

[セキュリティ]メニューで[認証]または[プライバシー]を選択している場合に表示されます。

### **[認証パスワード]**

認証パスワードを設定します。

[セキュリティ]メニューで[認証]または[プライバシー]を選択している場合に表示されます。

### **[プライバシープロトコル]**

プライバシープロトコルを設定します。

[セキュリティ]メニューで[プライバシー]を選択している場合に表示されます。

### **[プライバシーパスワード]**

プライバシーパスワードを設定します。

[セキュリティ]メニューで[プライバシー]を選択している場合に表示されます。

### **[問い合わせ先]**

連絡先の情報を設定します。

0～255文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

### **[機器名称]**

名前を設定します。

0～255文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

### **[設置場所]**

位置情報を設定します。

0～255文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

### **[オンラインサービス] (SOSユーザーのみ)**

SOS (SATO Online Services) の機能を設定します。

SOSを使用するには、事前にSOSアカウントを作成し、プリンタを追加する必要があります。

SOSの詳細については、SOSポータルサイトを参照してください。

 <https://www.sato-sos.com/>

設定項目は以下のとおりです。

#### **[連絡先]**

エラー発生時に表示されるSOS (SATO Online Services) 連絡先情報を表示します。

[SOSモード]メニューで[無効]以外のオプションを選択している場合にのみ表示されます。

#### **[SOSモード]**

SOS (SATO Online Services) のモードを選択するか、SOSを無効にします。

### [MQTT通信方式]

MQTTの通信プロトコルを設定します。

[SOSモード]メニューで[リアルタイム]を選択している場合にのみ表示されます。

### [MQTTプロキシ有効]

MQTT over WebSocket使用時にMQTTプロキシを有効または無効にします。

[SOSモード]メニューで[リアルタイム]を選択している場合にのみ表示されます。

プロキシ設定を有効にしており、かつ[MQTT通信方式]メニューで[MQTT over WebSocket]を選択している場合にのみ設定できます。

## [詳細設定]

インタフェースの拡張機能を設定します。



- 現在のAll-In-One Toolメニューでは、選択されているプリンタで使用可能な状態かどうかにより、ここに示す設定項目の一部が表示されない場合があります。
- 設定と機能についての詳細は、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。

設定項目は以下のとおりです。

### [ARP通知]

ARP通知の機能を設定します。

ARP通知は送信者のIPアドレスまたはMACアドレスが変更されたときに、他のホストの機器アドレスを解析した情報を更新するのに便利です。

設定項目は以下のとおりです。

#### [通知拡張]

ARP通知が有効になっている場合、ARPは接続またはDHCP割り当て後に1、2、4、8、16秒ごとに送信されます。

ARP通知が無効になっている場合、ARPは、接続またはDHCP割り当ての1秒後にのみ送信されません。

#### [通知周期]

0~600秒の範囲でARP通知の間隔を設定します。



- 0に設定した場合、この機能は無効になります。

## [IEEE1284] 設定

IEEE1284接続を設定します。

このインタフェースを搭載したプリンタの場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

## [通信プロトコル]

通信プロトコルを設定します。



## [BCC]

BCCチェック機能を有効または無効にします。

[通信プロトコル]メニューで[Status5]を選択している場合にのみ表示されます。

## [RS-232C] 設定

RS-232C接続を設定します。

このインタフェースを搭載したプリンタの場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

## [ボーレート]

ボーレート (bps) を設定します。

## [パラメータ]

データパラメータを設定します。

## [通信プロトコル]

通信プロトコルを設定します。

## [BCC]

BCCチェック機能を有効または無効にします。

[通信プロトコル]メニューで[Status5]を選択している場合にのみ表示されます。

## [USB] 設定

USB接続を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

## [通信プロトコル]

通信プロトコルを設定します。

## [BCC]

BCCチェック機能を有効または無効にします。

[通信プロトコル]メニューで[Status5]を選択している場合にのみ表示されます。

## [USBシリアル変更]

プリンタが返送するUSBシリアルNoの種別を設定します。

USBシリアルNoを (00000000) として返送するには、[USBシリアル変更]を有効にします。

新たにプリンタドライバを追加せずにプリンタを入れ替える場合に適しています。

プリンタの設置前に本設定を有効にする必要があります。

工場設定のUSBシリアルNo（各プリンタに固有）を返送するには、[USBシリアル変更]を無効にします。

プリンタごとにプリンタドライバを設定する場合に適しています。



- 同一のUSBシリアルNoが設定された2台のプリンタが同じコンピュータに接続されている場合、コンピュータでブルースクリーンエラーが発生することがあります。
- 

## [Bluetooth] 設定

Bluetooth接続を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### [一般]

設定項目は以下のとおりです。

### [有効]

Bluetooth機能を有効または無効にします。

### [BT動作モード]

Bluetooth有効時の動作モードを設定します。

### [名前]

プリンタのデバイス名を設定します。

1～53文字で入力します。英数字（大文字および小文字）および記号を使用できます。

### [PINコード]

PINコードを設定します。

4～16桁のPINコードを入力できます。英数字（大文字および小文字）および記号を使用できます。

### [BDアドレス]

プリンタのBDアドレスを表示します（このアドレスは変更できません。）

### [BDバージョン]

Bluetoothのファームウェアバージョンを表示します。（この値は変更できません。）

### [IAP機能]

IAP認証チップの動作状態を表示し、iOS搭載機器とBluetooth機器の間の通信を有効にします。

### [iOS再接続機能]

iOS再接続機能を無効または手動モードに設定します。

### [認証]

認証レベルを設定します。

#### [ISI]

ISI通信パラメータを設定します。  
設定範囲は、0、または18～4096です。  
ISW通信パラメータの設定値以上の値を設定してください。

#### [ISW]

ISW通信パラメータを設定します。  
設定範囲は、0、または18～4096です。  
ISI通信パラメータの設定値により、表示される設定範囲が異なります。  
ISI通信パラメータの設定値以下の値を設定してください。

#### [PSI]

PSI通信パラメータを設定します。  
設定範囲は18～4096です。  
PSW通信パラメータの設定値以上の値を設定してください。

#### [PSW]

PSW通信パラメータを設定します。  
設定範囲は18～4096です。  
PSI通信パラメータの設定値により、表示される設定範囲が異なります。  
PSI通信パラメータの設定値以下の値を設定してください。

#### [Bluetoothアドレス提供]

[Bluetoothアドレス提供]を有効にするとプリンタのデバイス名にBDアドレスが付与されます。

#### [IO互換]

セキュアシンプルペアリング時の認証処理を設定します。

#### [CRCチェック]

CRCチェック機能を有効または無効にします。

#### [通信プロトコル]

通信プロトコルを設定します。

#### [ペアリング情報]

プリンタに接続されているペアリング済み端末を一覧に表示します。

**ペアリング済み端末を一覧から削除するには**

1. [削除]をクリックして、不要な端末を削除します。
2. 確認後、[OK]をクリックして操作を進めます。



- PW208NX/PW208mNXは最大10台の端末、PW4NXは最大8台の端末をペアリングできません。
  - ペアリングされた端末の数が上限に達している場合は、新しくペアリングされた端末の情報は一覧の最後に追加され、最初にペアリングされた端末の情報は一覧から削除されます。
- 

## [NFC] 設定

NFC接続を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### [I/F有効]

NFCインタフェースを有効または無効にします。

## [外部信号] 設定

ホストとプリンタ間のインタフェースとして外部（EXT）信号を使用するためのメニューです。

設定項目は以下のとおりです。

## [入出力信号設定]

入出力信号を設定します。

[印字開始信号]メニューで[有効]を選択している場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

### [入力信号]

印字開始入力信号および再発行入力信号にピン番号を割り当てます。

設定項目は以下のとおりです。

#### [印字開始]

印字開始入力信号にピン番号を割り当てます。

#### [再発行設定]

再発行入力信号にピン番号を割り当てます。



- 複数の入力を同じ入力ピン番号には設定できません。同じ番号を設定しようとすると、「値が無効です」と赤く表示され、設定を保存できません。
- 

## [出力信号]

出力信号にピン番号を割り当てます。

設定項目は以下のとおりです。

### [ペーパーエンドセンサ]

#### **[ペーパー/リボンエンド] (RFIDモデルの場合)**

ペーパーエンド出力信号にピン番号を割り当てます。

RFIDモジュールを取り付けている場合、ペーパーエンド/リボンエンド出力信号にピン番号を割り当てます。

#### **[リボンエンド]**

##### **[RFIDタグエラー] (RFIDモデルの場合)**

リボンエンド出力信号にピン番号を割り当てます。

RFIDモジュールを取り付けている場合、RFIDタグエラー出力信号にピン番号を割り当てます。

#### **[マシンエラー]**

##### **[マシンエラー(RFID)] (RFIDモデルの場合)**

マシンエラー出力信号にピン番号を割り当てます。

RFIDモジュールを取り付けている場合、マシンエラー (RFID) 出力信号にピン番号を割り当てます。

#### **[印字完了]**

印字完了出力信号にピン番号を割り当てます。

#### **[印字枚数]**

##### **[オフライン]**

[外部信号 9ピン]メニューで[MODE1]を選択している場合、[印字枚数]が表示されます。

[外部信号 9ピン]メニューで[MODE2]を選択している場合、[オフライン]が表示されます。

印字枚数/オフライン出力信号にピン番号を割り当てます。

#### **[リボンニアエンド]**

リボンニアエンド出力信号にピン番号を割り当てます。

#### **[ハクリ完了]**

ハクリ出力信号にピン番号を割り当てます。

#### **[ラベルニアエンド]**

ラベルニアエンド出力信号にピン番号を割り当てます。



- 複数の出力を同じ出力ピン番号に設定できません。同じ番号を設定しようとすると、「値が無効です」と赤く表示され、設定を保存できません。
- 

#### **[外部信号 9ピン]**

外部信号9ピン出力の機能を設定します。

#### **[外部信号モード]**

印字完了信号のモードを設定します。

#### **[印字開始信号]**

印字開始信号を有効または無効にします。

### **[再発行信号]**

外部信号を使用する再発行機能を設定します。

### **[印字開始信号] (S84NX/S86NXシリーズ (海外モデル) 用)**

印字データをオンラインモードで使用できるときに印字開始信号 (PRIN) が検出された場合は、印字が開始されます。

設定項目は以下のとおりです。

#### **[有効]**

印字開始信号 (PRIN) を有効または無効にします。

[印字] > [一般] > [動作モード]メニューで[ハクリ]、[ノンセバ]、または[印字中ハクリ]を選択した場合、設定は有効に固定されます。

#### **[PIN]**

印字開始信号 (PRIN) 入力にピン番号を割り当てます。

[有効]を有効にした場合にのみ表示されます。

#### **[信号状態]**

割り当てる信号状態を選択します。

[PIN]で[AEP]以外の項目を選択している場合にのみ表示されます。

### **[再発行信号] (S84NX/S86NXシリーズ (海外モデル) 用)**

印字データをオンラインモードで使用できないときに再発行信号が検出された場合、以前に印字された内容を再度印字します。

設定項目は以下のとおりです。

#### **[有効]**

外部信号を使用する再発行機能を有効または無効にします。

[印字開始信号] > [有効]を有効にした場合にのみ表示されます。

#### **[PIN]**

再発行入力信号にピン番号を割り当てます。

[有効]を有効にした場合にのみ表示されます。

#### **[信号状態]**

割り当てる信号状態を選択します。

[PIN]で[AEP]以外の項目を選択している場合にのみ表示されます。

#### **[連続印字]**

有効にすると、印字開始信号 (PRIN) を介して再発行を実行できます。

再発行は、この設定の有効化によって、または再発行信号に割り当てられたPINによって実行できます。

[有効]を有効にした場合にのみ表示されます。

### **[拡張再発行]**

有効にすると、印字データが残っていても、印字されたばかりのデータが再発行されます。  
[有効]を有効にした場合にのみ表示されます。

### **[入出力信号設定] (S84NX/S86NXシリーズ (海外モデル) 用)**

入力/出力信号をピン番号に割り当てます。



- 入力信号機能と出力信号機能をピン番号に割り当てるときには、同じ機能を複数のピン番号に割り当てないでください。
- 

設定項目は以下のとおりです。

#### **[入力信号] (S84NX/S86NXシリーズ (海外モデル) 用)**

入力信号をピン番号に割り当てます。  
信号を割り当てるピンを選択します。  
使用可能なピンは以下のとおりです。

#### **[PIN7]/[PIN9]/[PIN10]/[PIN21]/[PIN22]/[PIN23]**

設定項目は以下のとおりです。

##### **[機能]**

割り当てる機能を選択します。

##### **[信号状態]**

割り当てる信号状態を選択します。

[機能]で[なし]以外の項目を選択している場合にのみ表示されます。

#### **[出力信号] (S84NX/S86NXシリーズ (海外モデル) 用)**

出力信号をピン番号に割り当てます。  
信号を割り当てるピンを選択します。  
使用可能なピンは以下のとおりです。

#### **[PIN3]/[PIN4]/[PIN5]/[PIN6]/[PIN16]/[PIN17]/[PIN18]/[PIN19]**

設定項目は以下のとおりです。

##### **[機能]**

割り当てる機能を選択します。

##### **[信号状態]**

割り当てる信号状態を選択します。

[機能]で[なし]または[AEP]以外の項目を選択している場合にのみ表示されます。

## [RFID] 設定

RFIDを設定します。

RFIDモデルでのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

### [一般]

RFIDの一般設定項目は以下のとおりです。

### [アンテナ位置]

使用するRFIDアンテナを選択します。この値を設定する場合は、弊社営業担当または販売店にご相談ください。

### [書込み電波出力]

インレイに情報を書き込むときに使用される電波出力を設定します。この値を設定する場合は、弊社営業担当または販売店にご相談ください。

### [読出し電波出力]

インレイから情報を読み出すときに使用される電波出力を設定します。この値を設定する場合は、弊社営業担当または販売店にご相談ください。

### [タグオフセット]

インレイへのデータ書込みを開始する位置を設定します。各タグで、印字開始位置からこの設定で指定した長さの位置がプリンタのRFIDアンテナと重なったときに、インレイへの書込みをおこないません。

この値を設定する場合は、弊社営業担当または販売店にご相談ください。

### [リーダー形式]

RFIDモジュールの型式を表示します。

### [リーダーバージョン]

RFIDモジュールのファームウェアバージョンを表示します。

### [PLD バージョン]

RFIDモジュールのPLDバージョンを表示します。

### [RFID再試行モード]

RFIDエラー発生時のモードを設定します。

### [RFID再印字回数]

RFIDエラー発生時、RFIDエラー画面を表示して印字を停止するまでに、[RFID再試行モード]で設定した再試行/リリース動作を何度繰り返すかを設定します。

### [不良タグに印をつける]

RFIDタグエラー発生時のエラー印字を有効または無効にします。



### [RFID未検出警告]

RFIDタグの無駄使いを防ぐために、印字ジョブにRFIDコマンドがない場合にRFID未検出警告エラーを表示して印字を停止するかを設定します。

### [RFIDログ]

書き込んだRFIDデータの情報を記録するログ機能を有効または無効にします。

ログデータには、100個のインレイの情報を記録できます。最大容量に達すると、古いログデータから新しいログデータに上書きされます。

プリンタの電源を切ると、すべてのログデータは失われます。



- モジュールがHFの場合はUIDデータが記録されます。
- 

### [RFIDデータ記録]

[RFIDログ]を有効にした場合に、ログを記録するデータを設定します。

モジュールがUHFの場合にのみ表示されます。

### [RFIDエラー出力方法]

RFIDエラー発生時の出力信号を設定します。

### [RFIDエラーパルス時間]

RFIDエラー発生時の出力信号の期間を設定します。

[RFIDエラー出力方法]メニューで[パルス]を選択している場合にのみ表示されます。

### [タグオフセット]

インレイにデータを書き込むときのオフセット値および書き込み動作を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### [タグオフセット]

インレイへのデータ書き込みを開始する位置を設定します。各タグで、印字開始位置からこの設定で指定した長さの位置がプリンタのRFIDアンテナと重なったときに、インレイへの書き込みをおこないません。

この値を設定する場合は、弊社営業担当または販売店にご相談ください。

### [エンコード動作]

[タグオフセット]で指定した位置でインレイにデータを書き込むときの、プリンタの動作を設定します。

[タグオフセット]が0mm以外に設定されている場合に表示されます。

### [フィルタ機能]

RSSI (Received Signal Strength Indication、受信信号強度) によるフィルタ機能を設定します。RFIDタグ発行時に読み取ったRSSI値が指定した閾値を下回る場合、RFIDタグエラーが発生します。エラーが発生したインレイ・RFIDタグにはエラーメッセージが印字されます。

モジュールがUHFの場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

### [RSSIフィルタ]

RSSIフィルタ機能を有効または無効にします。

### [閾値]

RSSIフィルタの閾値を設定します。

[RSSIフィルタ]を有効にしている場合にのみ表示されます。

### [カウンタ]

RFIDカウンタを表示します。

以下のコマンドによるRFID書込み動作がカウントされます。

- RFID書込み：EPCコードライト指定<IPO>、RFIDライト指定<RK>
- タグデータ印字：UID/EPC/IDm印字指定<TU>

ただし、印字や用紙搬送を伴わない書込みはカウントされません。

設定項目は以下のとおりです。

### [総走行距離]

RFID書込みの成功回数、失敗回数、および総試行回数を表示します。

項目は以下のとおりです。

#### [正常総発行枚数]

成功したRFIDタグへの書込みの総数を表示します。

#### [異常総発行枚数]

RFID書込みエラーの総数を表示します。

#### [印字総発行枚数]

印字されたRFIDタグの総数を表示します。

これは、[正常総発行枚数]と[異常総発行枚数]の合計数です。

### [ユーザー]

RFIDカウンタをクリアしたあとの、RFID書込みの成功回数、失敗回数、および総試行回数を表示します。

項目は以下のとおりです。

#### [正常総発行枚数]

RFIDカウンタをクリアしたあとに成功したRFIDタグへの書込みの総数を表示します。

#### [異常総発行枚数]

RFIDカウンタをクリアしたあとに発生したRFID書込みエラーの総数を表示します。

#### [印字総発行枚数]

RFIDカウンタをクリアしたあとに印字されたRFIDタグの総数を表示します。

これは、[正常総発行枚数]と[異常総発行枚数]の合計数です。

#### **[用紙]**

RFIDタグの縦方向の印字基準位置を設定します。  
設定項目は以下の通りです。

#### **[タイプ]**

RFIDタグの用紙種類を設定します。

#### **[基準位置]**

RFIDタグの縦方向の印字基準位置を設定します。  
紙送り方向を“+”、紙送りと逆方向を“-”として、印字基準位置を設定します。

## [バッテリー]メニュー

[バッテリー]メニューには、以下の設定項目があります。

### [状態]

バッテリーの状態を表示します。

### [サイクルカウント]

サイクルカウント（充放電サイクル）を表示します。

### [エコ充電]

エコ充電機能を有効または無効にします。

エコ充電機能は、バッテリーの寿命を延ばすことを目的とし、バッテリー充電完了時の充電量を満充電より少なめにおさえて、バッテリーの劣化を遅らせます。



- プリンタにオプションのクレードルキットを取り付けて使用する場合は、エコ充電機能を有効にすることを推奨します。
- 

### [充電完了後電源オフ]

充電完了後の電源オフを設定します。

プリンタがオンライン/オフライン画面で待機中に、充電完了後、3秒後にプリンタの電源が切れず。

### [キャパシティ]

バッテリーの初期の満充電容量を100%とした場合のバッテリー残量を表示します。

## [アプリケーション]メニュー

[アプリケーション]メニューには、以下の設定項目があります。

### [一般] 設定

一般設定項目は以下のとおりです。

### [プロトコル]

プリンタ言語を設定します。

### [グループ自動切替]

プリンタ言語の自動切替を有効または無効にします。

[アプリケーション] > [一般] > [プロトコル]メニューで[自動]を選択している場合にのみ表示されません。



- [自動]モードで設定されたプリンタ言語はグレーアウトされます。
- 

### [SBPL] 設定

SBPL (SATO Barcode Printer Language) とは、(株)サトーのバーコードラベルプリンタを制御する共通コマンドのことです。

プリンタコマンドとしてSBPLを使用するには、次の項目を設定します。

### [コマンドエラー表示]

印字データ中に不正なコマンドまたはパラメータを検出したときのコマンドエラー表示を、有効または無効にします。

### [プロトコルコード設定]

プロトコルコードを設定します。

### [印刷の向き]

ラベル印字のレイアウトを選択します。

### [フォント設定]

フォントを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### [ゼロスラッシュ]

ゼロ (0) をスラッシュ (/) 付き、スラッシュなしのどちらで印字するのかを設定します。

この設定は以下のビットマップフォントが対象となります。

X20、X21、X22、X23、X24、U、S、M、WB、WL、XU、XS、XM、XL

## **[漢字設定]**

使用する漢字コードを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### **[漢字モード]**

使用する漢字コードを設定します。

### **[文字コード]**

使用する文字コードを設定します。

### **[漢字書体]**

使用するフォントを設定します。

## **[プロポーションナルピッチ]**

文字ごとに異なる文字幅（プロポーションナルピッチ）で印字するのか、または同一幅（固定ピッチ）で印字するのかを設定します。

## **[コードページ]**

使用するコードページを一覧から選びます。

## **[ユーロコード]**

ユーロ通貨記号を任意のASCIIコードに設定します。

設定範囲は、0～FF（16進数）です。

## **[互換]**

SBPLの互換モードを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### **[M-8400 互換]**

M-8400プリンタとの互換機能を有効または無効にします。

### **[CODE128(C) ゼロ補填]**

CODE128のスタートコードがCの場合に、奇数桁を許容し、データの後ろにゼロを補填して印字するかどうかを設定します。

[M-8400 互換]を[有効]にすると自動的に有効になり、表示されません。

### **[漢字コマンド]**

受信データに漢字コマンドESC+K5、ESC+K6、ESC+K7が含まれる場合の動作を設定します。

### **[フォント/ロゴ呼び出し]**

フォント・ロゴ呼び出し印字指定コマンド（ESC+RF）で指定する文字コードの処理を設定します。

### **[PDF417 ECC レベル固定]**

PDF417印字指定コマンドで指定されたセキュリティレベルでPDF417コードを印字するかどうかを設定します。

### **[QTYタイミング]**

QTY更新タイミング互換を設定します。

### [文字間ピッチ]

文字間ピッチ (ESC+P) の有効範囲を設定します。

### [ヘッドサイズ]

ヘッドサイズに関する互換モードを設定します。

### [印字濃度]

印字濃度ESC+#Eコマンドによって使用される互換モードを設定します。

## [SZPL] 設定

プリンタコマンドとしてSZPLを使用するには、次の項目を設定します。

### [ラベル]

印字位置を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### [基点移動]

ラベルのシフトオフセット位置を設定します。

#### [基点補正]

ラベルのトップオフセット位置を設定します。

### [ラベル回転]

ラベルの印字レイアウトを選択します。

プリンタで設定した用紙サイズを回転の基準とします。

### [キャレット文字]

キャレット文字 (^) のコードを設定します。



- 各コード (キャレット文字、区切り文字、チルダ文字) は異なる値に設定する必要があります。
- 

### [区切り文字]

区切り記号 (,) のコードを設定します。



- 各コード (キャレット文字、区切り文字、チルダ文字) は異なる値に設定する必要があります。
- 

### [チルダ文字]

チルダ文字 (~) のコードを設定します。



- 各コード (キャレット文字、区切り文字、チルダ文字) は異なる値に設定する必要があります。
-

## [日時フォーマット]

日時の書式を設定します。

## [デフォルトフォント]

プリンタ内蔵の多言語フォントを使用して印字する場合の既定フォントを、一覧から選びます。

## [SIPL] 設定

プリンタコマンドとしてSIPLを使用するには、次の項目を設定します。

### [フォント設定]

フォントを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### [コードページ]

使用するコードページを一覧から選びます。

#### [新フォント]

新フォントを有効または無効にします。



- 新フォントの詳細については、弊社営業担当にお問い合わせください。
- 

#### [c20プロポーショナルピッチ]/[プロポーショナルピッチ]

文字ごとに異なる文字幅（プロポーショナルピッチ）で印字するのか、または同一幅（固定ピッチ）で印字するのかを設定します。

#### [ゼロスラッシュ]

ゼロ（0）をスラッシュ（/）付き、スラッシュなしのどちらで印字するのかを設定します。

## [STCL] 設定

プリンタコマンドとしてSTCLを使用するには、次の項目を設定します。

### [コマンドヘッド]

コマンドヘッドを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### [制御コード]

制御コードを設定します。

#### [1バイト目のコード]

1番目のバイトコードを設定します。

[制御コード]メニューで[カスタム]を選択している場合にのみ変更できます。





- 各コードは異なる設定値でなければなりません。

### [2バイト目のコード]

2番目のバイトコードを設定します。

[制御コード]メニューで[カスタム]を選択している場合にのみ変更できます。



- 各コードは異なる設定値でなければなりません。

### [3バイト目のコード]

3番目のバイトコードを設定します。

[制御コード]メニューで[カスタム]を選択している場合にのみ変更できます。



- 各コードは異なる設定値でなければなりません。

## [フォント設定]

フォントを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### [ゼロスラッシュ]

ゼロ (0) をスラッシュ (/) 付き、スラッシュなしのどちらで印字するのかを設定します。

### [ユーロコード]

ユーロ通貨記号を任意のASCIIコードに設定します。

設定範囲は、0~FF (16進数) です。

### [半角記号]

記号を半角文字で印字するかを設定します。

## [回転]

ラベルの印字レイアウトを設定します。

## [用紙サイズ指定コマンド無効]

用紙サイズ指定コマンドを無視するかを設定します。

## [300DPIヘッド互換]

解像度305dpiのプリンタを使用している場合に、300DPIヘッド互換を有効または無効にします。

有効にすると、ヘッド密度300dpiの印字データを305dpiで印字します。

## [SDPL] 設定

プリンタコマンドとしてSDPLを使用するには、次の項目を設定します。



- [優先設定]メニューより下の項目は、[優先設定]メニューの対応する項目で[設定]を選択している場合にのみ設定できます。
- 

### [制御コード]

制御コードを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### [コード種]

制御コードの種類を設定します。

#### [SOH]

SOHコードを設定します。

[コード種]メニューで[カスタム]を選択している場合にのみ変更できます。

設定範囲は、0~FF（16進数）です。



- 各コードは異なる設定値でなければなりません。
- 

#### [STX]

STXコードを設定します。

[コード種]メニューで[カスタム]を選択している場合にのみ変更できます。

設定範囲は、0~FF（16進数）です。



- 各コードは異なる設定値でなければなりません。
- 

#### [CR]

CRコードを設定します。

[コード種]メニューで[カスタム]を選択している場合にのみ変更できます。

設定範囲は、0~FF（16進数）です。



- 各コードは異なる設定値でなければなりません。
- 

#### [CNTBY]

CNTBYコードを設定します。

[コード種]メニューで[カスタム]を選択している場合にのみ変更できます。

設定範囲は、0~FF（16進数）です。



- 各コードは異なる設定値でなければなりません。
- 

### [互換モード有効]

SDPLの互換モードを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

## [TTF]

TrueTypeフォントの互換モードを有効または無効にします。

## [グラフィックス]

改行コードが省略されてもグラフィックデータの登録を許可するかどうかを設定します。

## [互換圧縮モード]

固有の圧縮方式で作成されたグラフィックデータに対応するかどうかを設定します。

## [優先設定]

SDPLコマンドの各設定項目で優先させる設定を選択します。プリンタの設定とコマンドによる設定のどちらを優先させるかを設定できます。

各項目で[設定]を選択すると、プリンタの[SDPL]メニューで指定した設定が使用されます。

設定項目は以下のとおりです。

### [フォーマット属性]

フォーマット属性の設定を、プリンタの設定とコマンドによる設定のどちらを優先させるかを設定します。

### [一時停止モード]

一時停止モードの設定を、プリンタの設定とコマンドによる設定のどちらを優先させるかを設定します。

### [1バイト文字コードページ]

1バイト文字コードページの設定を、プリンタの設定とコマンドによる設定のどちらを優先させるかを設定します。

### [測定単位]

測定単位の設定を、プリンタの設定とコマンドによる設定のどちらを優先させるかを設定します。

### [スケーラブルフォントスタイル]

スケーラブルフォントスタイルの設定を、プリンタの設定とコマンドによる設定のどちらを優先させるかを設定します。

### [センサタイプ]

センサタイプの設定を、プリンタの設定とコマンドによる設定のどちらを優先させるかを設定します。

### [フィードバックキャラクタ]

フィードバックキャラクタの設定を、プリンタの設定とコマンドによる設定のどちらを優先させるかを設定します。

### [SOHコマンド]

SOHコマンドの設定を、プリンタの設定とコマンドによる設定のどちらを優先させるかを設定します。

### [モジュール選択]

モジュール選択の設定を、プリンタの設定とコマンドによる設定のどちらを優先させるかを設定します。

## [スケーラブルフォントスタイル]

スケーラブルフォントのスタイルを設定します。

[優先設定] > [スケーラブルフォントスタイル]メニューで[設定]を選択している場合に変更できません。

設定項目は以下のとおりです。

### [ボールド]

スケーラブルフォントをボールド体（太字）にするかを設定します。

### [イタリック]

スケーラブルフォントをイタリック体（斜体）にするかを設定します。

## [SOHコマンド]

SOHコマンドを設定します。

[優先設定] > [SOHコマンド]メニューで[設定]を選択している場合に変更できます。

設定項目は以下のとおりです。

### [全SOHコマンド]

全SOHコマンドを有効または無効にします。または、コマンドごとの設定を可能にします。

### [SOH-Bコマンド]

SOH-Bコマンドを有効または無効にします。

[全SOHコマンド]メニューで[個別]を選択している場合に変更できます。

### [SOH-Cコマンド]

SOH-Cコマンドを有効または無効にします。

[全SOHコマンド]メニューで[個別]を選択している場合に変更できます。

### [その他]

SOH-B、SOH-Cコマンド以外のSOHコマンドを有効または無効にします。

[全SOHコマンド]メニューで[個別]を選択している場合に変更できます。

## [ラベル回転]

ラベルの印字レイアウトを設定します。

プリンタで設定した用紙サイズを回転の基準とします。

## [SOPエミュレーション]

SOPエミュレーションを設定します。

## [左右逆方向印字]

左右逆方向印字機能を設定します。

## [受信タイムアウト]

プリンタがバイナリデータ受信モードを継続する時間を設定します。

指定した時間を経過すると、プリンタはバイナリ受信モードを終了してSDPLコマンドをスキャンしません。

#### [空白ラベルフィード]

印字イメージを生成しないラベルフォーマット指定コマンドを受信したときに、何も印字されていないラベルを搬送するかを設定します。

#### [フォーマット属性]

フォーマット属性を設定します。

[優先設定] > [フォーマット属性]メニューで[設定]を選択している場合に変更できます。

#### [一時停止モード]

一時停止モードを有効または無効にします。

[優先設定] > [一時停止モード]メニューで[設定]を選択している場合に変更できます。

#### [1バイト文字コードページ]

1バイト文字に使用するコードページを一覧から選びます。

[優先設定] > [1バイト文字コードページ]メニューで[設定]を選択している場合に変更できます。

#### [測定単位]

測定単位を設定します。

[優先設定] > [測定単位]メニューで[設定]を選択している場合に変更できます。

#### [フィードバックキャラクタ]

<STX>aコマンドを有効または無効にします。

[優先設定] > [フィードバックキャラクタ]メニューで[設定]を選択している場合に変更できます。

#### [モジュール選択]

プリンタの設定内容の保存先を選択します。

[優先設定] > [モジュール選択]メニューで[設定]を選択している場合に変更できます。

### [SEPL] 設定

プリンタコマンドとしてSEPLを使用するには、次の項目を設定します。

#### [ラベル基準位置設定]

横方向および縦方向のオフセット位置を指定して、印字基準位置を調整します。

設定項目は以下のとおりです。

##### [横方向オフセット]

横方向のオフセット位置を指定します。

### **[縦方向オフセット]**

縦方向のオフセット位置を指定します。

### **[ラベル回転]**

ラベルの印字レイアウトを設定します。

プリンタで設定した用紙サイズを回転の基準とします。

### **[メモリ保存デバイス選択]**

フォーム、グラフィック、フォントのデータを保存するプリンタのメモリ領域を選択します。

### **[305dpiヘッドシミュレーション]**

解像度305dpiのプリンタを使用している場合に、300dpiシミュレーションモードを有効または無効にします。

### **[AEP]**

AEP（アプリケーション活用印字）モードを有効または無効にします。

AEPモードでは、プリンタ内でアプリケーションを動作させて、プリンタをスタンドアロンプリンタとして使用できます。

## [スタンドアローン]メニュー

[スタンドアローン]メニューには、以下の設定項目があります。

### [AEP]

AEP（アプリケーション活用印字）モードを有効または無効にします。

AEPモードでは、プリンタ内でアプリケーションを動作させて、プリンタをスタンドアロンプリンタとして使用できます。

## [システム]メニュー

[システム]メニューには、以下の設定項目があります。

### [一般] 設定

一般設定項目は以下のとおりです。

#### [LCD表示濃度]

ディスプレイの明るさを設定します。



- 省電力のため、一定時間プリンタを操作しなかった場合ディスプレイが暗くなります。
- 

#### [LCD画面回転]

ディスプレイの表示の向きを設定します。

#### [LED表示]

プリンタの現在のステータスを表示するLEDインジケータを有効または無効にします。

#### [カバーオープンセンサ]

カバーオープンスイッチを有効または無効にします。



- この設定を無効にした場合は、トップカバーが開いていてもプリンタは動作します。手や髪などがローラーに巻き込まれないように注意してください。
  - トップカバーが開いているときにプリンタを使用すると、ほこりがプリンタに入り込む可能性があり、その結果として印字の品質が低下するおそれがあります。
- 



- ユーザーは、この設定を無効にして、カバーオープンエラーを無効にすることができません。メンテナンス中にトップカバーを開いたり、カバーオープンスイッチが正常に動作していないときに一時的に印字したりできます。ただし、カバーオープンスイッチが正常に動作しない場合は、速やかにお客さまヘルプデスクに連絡して部品交換を依頼してください。
- 

#### [AC電源起動機能]

プリンタの電源を取っている主電源のオン/オフによりプリンタの電源をオン/オフするかを設定します。





- プリンタの電源のオン/オフを繰り返さないでください。
- 主電源を切ってまたすぐに入れると、プリンタがまだ電源オフ処理中のため起動しないことがあります。このようなときは、電源ボタンを押してプリンタの電源を入れてください。
- プリンタの動作中（印字中、アップデート中）に電源を切らないでください。プリンタが故障するおそれがあります。
- プリンタの電源オフ処理が完了するまでは、電源コードを抜かないでください。
- 誤った電源オン/オフの操作をおこなうと、プリンタの設定が壊れるおそれがあります。プリンタの設定が壊れた場合、初期値に戻ります。プリンタの電源を正しく切り、設定メニューの変更を適切に保存するために、電源ボタンを使用することを推奨します。

### [総発行枚数表示]

合計印字枚数の表示を有効または無効にします。

有効にすると、合計印字枚数がプリンタのオンライン画面とオフライン画面に表示されます。

オンライン画面とオフライン画面上の[QTY]の右の括弧内の数字が合計印字枚数です。



- プリンタの電源を入れたあとから電源を切るまでの合計印字枚数を表示します。プリンタの電源を切ると、枚数表示は[0]に戻ります。

### [クイック設定パネル]

プリンタのスイパダウンメニューを有効または無効にします。

有効にすると、画面上部から下方向にスイパしてメニューを開くことができます。

### [テーマ]

表示テーマを設定します。

### [大きなアイコン表示]

大アイコンの表示を設定します。

[有効]が設定されているときに大アイコンが表示されます。

### [表示速度]

設定値を表示する画面で右から左へ流れる表示の速度を設定します。

## [地域] 設定

プリンタの表示言語、カレンダー（オプション）、単位を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### [表示言語]

ディスプレイの表示言語を設定します。

表示言語を一覧から選びます。

#### **[単位]**

表示の長さの単位を設定します。

#### **[時間]**

時刻を設定します。

NTP機能が無効でオプションのRTCキットを取り付けている場合にのみ設定できます。

#### **[日付]**

日付を設定します。

NTP機能が無効でオプションのRTCキットを取り付けている場合にのみ設定できます。

#### **[表示言語アイコン]**

プリンタの[設定]メニューに[言語]アイコンを表示するかを設定します。

### **[お知らせ] 設定**

清掃および部品交換時期を通知する機能を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### **[プリンタ清掃]**

サーマルヘッドの清掃時期を通知します。

設定項目は以下のとおりです。

##### **[プリンタ清掃]**

サーマルヘッドの清掃時期の通知機能を有効または無効にします。

##### **[お知らせ間隔]**

サーマルヘッドの清掃時期の通知間隔を設定します。

[プリンタ清掃]メニューを有効にしている場合にのみ変更できます。

設定値はプリンタの印字距離を表します。

##### **[カウンタクリア]**

現在の印字距離を表示します。

#### **[サーマルヘッド交換]**

サーマルヘッドの交換時期を通知します。

設定項目は以下のとおりです。

##### **[サーマルヘッド交換]**

サーマルヘッドの交換時期の通知機能を有効または無効にします。

##### **[お知らせ間隔]**

サーマルヘッドの交換時期の通知間隔を設定します。

[サーマルヘッド交換]メニューを有効にしている場合にのみ変更できます。

設定値はプリンタの印字距離を表します。

#### **[現在の走行距離]**

現在の印字距離を表示します。

#### **[カッタユニット交換]**

カッタユニットの交換時期を通知します。

設定項目は以下のとおりです。

##### **[カッタユニット交換]**

カッタユニットの交換時期の通知機能を有効または無効にします。

##### **[お知らせ間隔]**

カッタユニットの交換時期の通知間隔を設定します。

[カッタユニット交換]メニューを有効にしている場合にのみ変更できます。

設定値は、カット回数を表します。

##### **[現在のカット回数]**

現在までにカッタでカットした回数を表示します。

#### **[プラテンローラー交換]**

プラテンローラーの交換時期を通知します。

設定項目は以下のとおりです。

##### **[プラテンローラー交換]**

プラテンローラーの交換時期の通知機能を有効または無効にします。

##### **[お知らせ間隔]**

プラテンローラーの交換時期の通知間隔を設定します。

[プラテンローラー交換]メニューを有効にしている場合にのみ変更できます。

設定値は、用紙搬送距離を表します。

##### **[現在の走行距離]**

現在までの用紙搬送距離を表示します。

#### **[ベルト交換(ギヤボックス)]**

ギヤボックスタイミングベルトの交換時期を通知します。

設定項目は以下のとおりです。

##### **[ベルト交換]**

ギヤボックスタイミングベルトの交換時期の通知機能を有効または無効にします。

##### **[お知らせ間隔]**

ギヤボックスタイミングベルトの交換時期の通知間隔を設定します。

[ベルト交換]メニューで[有効]を選択している場合にのみ変更できます。

設定値はプリンタの印字距離を表します。

### **[現在の走行距離]**

現在までにベルトが排出方向に用紙を送った距離を表示します。

### **[ベルト交換(リボン)]**

リボンタイミングベルトの交換時期を通知します。

設定項目は以下のとおりです。

#### **[ベルト交換]**

リボンタイミングベルトの交換時期の通知機能を有効または無効にします。

#### **[お知らせ間隔]**

リボンタイミングベルトの交換時期の通知間隔を設定します。

[ベルト交換]メニューで[有効]を選択している場合に変更できます。

設定値はプリンタの印字距離を表します。

### **[現在の走行距離]**

現在までにベルトが排出方向に用紙を送った距離を表示します。

### **[ブザー音] 設定**

プリンタのブザー音と操作音を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### **[エラー音]**

エラー音のブザー音量を設定します。

#### **[プリンタ電源オフ音]**

プリンタの電源を切るときのブザー音量を設定します。

#### **[音量]**

音量を設定します。

#### **[操作音] / [タッチ・キー入力音]**

タッチパネルまたはボタンを操作するときの音の種類を設定します。

#### **[音色]**

エラー発生時や電源オフ時の音の種類を設定します。

### **[低消費電力モード] 設定**

設定項目は以下のとおりです。

#### **[AC (バッテリーなし)]**

AC電源使用中の省電力機能を設定します。

#### **[バッテリー電源]**

オプションのバッテリー使用中の省電力機能を設定します。

## [スリープ タイムアウト]

プリンタがスリープモードに移行するまでの時間を設定します。



- 0に設定した場合、スリープ機能は無効になります。

## [自動電源オフ]

一定時間操作がおこなわれない状態が続いたとき、プリンタの電源を自動的に切るまでの時間を設定します。



- 0に設定した場合、自動電源オフ機能は無効になります。

## [パスワード] 設定

以下のパスワード設定は、物理的なプリンタの動作に対してのみ適用されます。

設定項目は以下のとおりです。

### [パスワード機能]

パスワード設定を有効または無効にします。

パスワードを有効に設定すると、設定メニューが表示される前に、[パスワード]メニューで設定したパスワードを入力する必要があります。

### [パスワード入力要求]

設定モードログイン後に、再度パスワード入力が必要になるまでの時間を設定します。

0にすると、設定モードに切替えたり設定メニュー項目を選択するたびにパスワードが必要になります。

### [インストール時のセキュリティ機能]

プリンタにpkgファイルをインストールするときにパスワードを入力するかどうかを設定します。

パスワードを有効に設定すると、パッケージファイルをダウンロードする前に、[パスワード]メニューで設定したパスワードを入力する必要があります。

### [NFCセキュリティ機能]

NFCインタフェースでAndroid端末から設定を書き込むとき、確認メッセージを表示するかパスワード入力を有効にするかを設定します。

NFCセキュリティ機能を使用するには、プリンタの電源がオフの状態からAndroid端末から設定を書き込む必要があります。プリンタの電源を入れると、確認メッセージまたはパスワード入力画面が表示されます。

## [互換] 設定

互換モードを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

## [SBPL]

SBPLの互換モードを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### [CODE128(C) ゼロ補填]

CODE128のスタートコードがCの場合に、奇数桁を許容してゼロ補填で印字するかどうかを設定します。

### [漢字コマンド]

受信データに漢字コマンド<K5>、<K6>、<K7>が含まれる場合の動作を設定します。

### [フォント/ロゴ呼び出し]

フォント・ロゴ呼び出し印字指定<RF>コマンドで指定する文字コードの処理を設定します。

### [OCRフォント]

旧字体のOCR-Bフォントで印字するかを設定します。

### [旧ジャーナル文字]

ジャーナル印字にX21フォントを使用するかを設定します。

### [文字間ピッチ]

文字間ピッチ指定<P>コマンドで指定したパラメータを、次の指定をするまで有効にするかを設定します。

### [パラメータ揮発化]

以下のコマンドで指定した設定値を、プリンタの電源オフで現在の設定値に戻すかを設定します。

- 動作モード指定<PM>
- 印字速度指定<CS>
- 印字濃度指定<#E>
- 基点補正指定<A3> (符号指定なし)
- センサ種指定<IG>
- 印字方式指定<PH>
- 用紙仕様指定<YE>

### [中国漢字コマンド]

中国語印字指定コマンドを使用できるようにするかを設定します。

### [解説文字重ね印字]

バーコードの解説文字をグラフィックと重ねて印字する場合に、解説文字の背景を白無地にせず、そのまま重ねて印字するかを設定します。

### [非対応コマンド応答]

プリンタが対応していないコマンドを受信した場合に、コマンドエラーとせずに処理を終了するかを設定します。

### [用紙仕様]

用紙仕様を設定します。

用紙仕様によって、ペーパーエンド検出後にプリンタが動作を停止するタイミングが変わりません。

### **[オプション動作待機時間指定]**

オプション動作待機時間指定<TW>コマンドで指定したパラメータを、印字中カットモードおよびパーシャルカットモードでの排出カット時間にも適用するかを設定します。

### **[BT コマンド Matrix2of5]**

バーコード比率登録指定<BT>コマンドでマトリックス2of5を指定したときに登録するバーコード種を設定します。

プリンタでは、本設定の有効/無効にかかわらずMatrix2of5を登録します。

### **[X20フォント 互換]**

X20フォントでプロポーショナルピッチを選択可能にするかを設定します。この設定により、XUフォントでプロポーショナルピッチを選択したときの旧機種との互換も切替わります。

### **[部分コピー指定]**

ラベル内コピー（部分コピー）指定<WD>コマンドのコピー領域に連番指定<F>コマンドを含めた場合に、コピー先に連番を反映して印字するかを設定します。

### **[印字有効領域]**

印字有効領域に関する互換モードを有効または無効にします。

## **[ネットワーク]**

LANの互換モードを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### **[ソケットキャンセル機能]**

プリンタがすでにソケット接続済みのときに、他からの接続要求をキャンセルするかを設定します。

## **[USB]**

USBの互換モードを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

### **[デバイスID]**

旧製品のプリンタのデバイスIDを返送するかを設定します。

## **[RS-232C]**

RS-232Cの互換モードを設定します。

オプションのRS-232Cキットを取り付けている場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

### **[ENQ応答]**

受信バッファフルエラー発生時の、STATUS3の返送ステータスを設定します。

## [ツール]メニュー

[ツール]メニューには、以下の設定項目があります。

### [一般] 設定

一般設定項目は以下のとおりです。

### [Clone通知設定]

クローン通知を有効または無効にします。

### [HEXダンプ]

HEXダンプ印字や受信バッファのダンプデータをUSBメモリに保存します。

設定項目は以下の通りです。

#### [HEXダンプモード]

HEXダンプモードを有効または無効にします。

[HEXダンプモード]を有効にすると、受信データが印字されると同時にhexdump/内に受信データのファイルが作成されます。

設定を無効に戻すと、作成されたファイルをディスプレイ上で確認できます。

### [バーコードチェッカー]

スキャナを使用したバーコードチェック機能を設定します。

プリンタにスキャナを接続すると、ラベルに印字したバーコードを確認できます。

設定項目は以下のとおりです。

### [テスト]

スキャナを設定します。

項目は以下のとおりです。

#### [接続先]

RS-232Cインタフェースの使用方法を設定します。



スキャナを接続している場合にのみ有効になります。

---

### [設定]

バーコードチェック機能を設定します。

項目は以下のとおりです。



## [モード]

バーコードチェック機能のモードを選択するか、機能を無効にします。

## [バーコード数指定方法]

1ラベル上のバーコード数を指定する方法を選択します。

[モード]メニューで[読み取りモード]を選択している場合にのみ表示されます。

## [バーコード数]

バーコードコマンド以外で作成したバーコード（グラフィックデータ、プレ印字されたバーコードなど）を読み取りチェックの対象に含める場合に、1ラベル上のバーコード数を指定します。

[モード]メニューで[読み取りモード]を選択している場合にのみ表示されます。

[バーコード数指定方法]メニューで[設定]を選択している場合にのみ変更できます。

## [開始位置]

バーコードチェックの開始位置（スキャナの読み取り開始位置）を調整します。

## [VOID印字]

バーコード読み取りエラーまたは照合エラー発生時に、該当ラベルに×マークを印字するかを設定します。

## [ホスト通知]

バーコードチェック結果を印字データ送信元のホストに返送するかを設定します。



- スキャナを接続している場合にのみ有効になります。
  - 以下の場合はこの機能を利用できません。
    - 動作モードがティアオフモードになっているとき
    - RFIDモデルを使用しているとき
    - プリンタがAEPモードになっているとき
  - スキャナの取り付けには、オプションのバーコードチェッカースタンドキットを使用してください。詳細は、バーコードチェッカースタンドキットに付属の『バーコードチェッカースタンドキット取扱説明書』をご覧ください。
- 

## [ログ採取]

ログデータの保存ができます。

設定項目は以下のとおりです。

### [追加ログ]（PW208NXのみ）

保存する追加のログを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

- **[Wi-Fi ログ有効]**  
Wi-Fi関連のログ機能を有効または無効にします。

## **[有効]**

ログ採取機能を有効または無効にします。

## **[オートクローン設定]**

オートクローン機能は、プリンタの設定が変更されたときに、その時点の設定およびインストールされているデータをUSBメモリに自動的に保存します。保存した設定とデータを復元するには、このUSBメモリを対象のプリンタに挿入します。

CT4-LX/CT4-LX-HC（海外モデル）/HC4-LXシリーズのプリンタでのみ使用できます。

本機能の実行（設定とデータの保存）には、プリンタ内部のUSBコネクタ（Type A）を使用します。保存した設定とデータの復元には、プリンタ背面のUSBコネクタ（Type A）を使用します。



- USBメモリの容量は4GB以上を推奨します。
  - 本機能で作成されたpkgファイルをほかのUSBメモリにコピーして使うことはできません。
- 

設定項目は以下の通りです。

## **[有効]**

オートクローン機能を有効または無効にします。

プリンタ内部のUSBコネクタ（Type A）に、[USBドライブのフォーマット]メニューでフォーマットしたUSBメモリを取り付けている場合にのみ設定できます。

## [インフォメーション]メニュー

[インフォメーション]メニューには、以下の設定項目があります。

### [ビルドバージョン]

プリンタの情報とバージョンを表示します。

#### [カーネルバージョン]

カーネルバージョンを表示します。

#### [名前]

ビルドバージョンの名称を表示します。

#### [日付]

ビルドした日付を表示します。

### [印字モジュール]

プリンタの印字モジュールに関する情報を表示します。

項目は以下のとおりです。

### [ブート]

ブートファームウェアの情報を表示します。

#### [名前]

ブートファームウェアのバージョンを表示します。

#### [日付]

ブートファームウェアのリリース日を表示します。

#### [チェックサム]

ブートファームウェアのチェックサムを表示します。

### [メイン]

メインファームウェアの情報を表示します。

#### [名前]

メインファームウェアのバージョンを表示します。

#### [日付]

メインファームウェアのリリース日を表示します。

#### [チェックサム]

メインファームウェアのチェックサムを表示します。

## [センサモジュール]

プリンタのセンサモジュールに関する情報を表示します。  
項目は以下のとおりです。

## [ブート]

ブートファームウェアの情報を表示します。

### [名前]

ブートファームウェアのバージョンを表示します。

### [日付]

ブートファームウェアのリリース日を表示します。

### [チェックサム]

ブートファームウェアのチェックサムを表示します。

## [メイン]

メインファームウェアの情報を表示します。

### [名前]

メインファームウェアのバージョンを表示します。

### [日付]

メインファームウェアのリリース日を表示します。

### [チェックサム]

メインファームウェアのチェックサムを表示します。

## [FPGAバージョン]

プリンタのFPGAバージョンを表示します。

### [名前]

FPGAバージョンを表示します。

## [カウンタ]

プリンタのカウンタ情報を表示します。



- SATO認定のサービス担当者以外は、カウンタをクリアすることはできません。
- 

項目は以下のとおりです。

## [ヘッド]

プリンタのヘッドカウンタに関する情報を表示します。

項目は以下のとおりです。

### [総走行距離]

現在の印字距離を表示します。

### [ヘッド走行距離1]/[ヘッド走行距離2]/[ヘッド走行距離3]

[ヘッド走行距離1]には、現在の印字距離が表示されます。

サーマルヘッドを交換して、カウンタをクリアすると、[ヘッド走行距離2]に表示されていた数値が[ヘッド走行距離3]に表示され、[ヘッド走行距離1]に表示されていた数値が[ヘッド走行距離2]に表示されます。[ヘッド走行距離1]は再度0からカウントを開始します。

## [ハクリ]

ハクリモード使用時の現在の印字距離を表示します。

## [ベルト(ギヤボックス)]

現在までにギヤボックスタイミングベルトが排出方向に用紙を送った距離を表示します。

項目は以下のとおりです。

### [ベルト走行距離1]/[ベルト走行距離2]/[ベルト走行距離3]

[ベルト走行距離1]には、現在までの用紙搬送距離が表示されます。

ベルトを交換して、カウンタをクリアすると、[ベルト走行距離2]に表示されていた数値が[ベルト走行距離3]に表示され、[ベルト走行距離1]に表示されていた数値が[ベルト走行距離2]に表示されます。[ベルト走行距離1]は再度0からカウントを開始します。

## [ベルト(リボン)]

現在までにリボンタイミングベルトが排出方向に用紙を送った距離を表示します。

項目は以下のとおりです。

### [ベルト走行距離1]/[ベルト走行距離2]/[ベルト走行距離3]

[ベルト走行距離1]には、現在までの用紙搬送距離が表示されます。

ベルトを交換して、カウンタをクリアすると、[ベルト走行距離2]に表示されていた数値が[ベルト走行距離3]に表示され、[ベルト走行距離1]に表示されていた数値が[ベルト走行距離2]に表示されます。[ベルト走行距離1]は再度0からカウントを開始します。

## [カッタ]

現在までのカッタ数を表示します。

## [実印字動作]

有効な印字動作の設定情報を表示します。

項目は以下のとおりです。

### **[動作モード]**

現在の動作モードを表示します。

### **[センサタイプ]**

使用しているセンサタイプを表示します。

## **[LAN]**

LANインタフェースのアドレスを表示します。

項目は以下のとおりです。

### **[LAN IPv4アドレス]**

LANのIPv4アドレスを表示します。

### **[LAN IPv6アドレス]**

LANのIPv6アドレスを表示します。

### **[LAN MACアドレス]**

LANのMACアドレスを表示します。

## **[Wi-Fi]**

無線LANインタフェースのアドレスを表示します。

無線LANが取り付けられていて、Wi-Fiが有効なインタフェースである場合にのみ表示されます。

項目は以下のとおりです。

### **[Wi-Fi IPv4アドレス]**

無線LANのIPv4アドレスを表示します。

### **[Wi-Fi IPv6アドレス]**

無線LANのIPv6アドレスを表示します。

### **[Wi-Fi MACアドレス]**

無線LANのMACアドレスを表示します。

## **[Wi-Fi バージョン]**

無線LANのバージョンを表示します。

無線LANが取り付けられていて、Wi-Fiが有効なインタフェースである場合にのみ表示されます。

### **[ファームウェア]**

ファームウェアのバージョンを表示します。

## [Bluetooth]

Bluetoothの接続情報を表示します。

Bluetoothキットが取り付けられている場合にのみ表示されます。

項目は以下のとおりです。

### [名前]

Bluetoothの名称を表示します。

### [BDアドレス]

BluetoothのBDアドレスを表示します。

## [IPアドレス]

IPv4アドレスを表示します。

## [IPアドレス]

IPv6アドレスを表示します。

## [LAN MACアドレス]

LANのMACアドレスを表示します。

## [Wi-Fi MACアドレス]

無線LANのMACアドレスを表示します。

無線LANが取り付けられていて、Wi-Fiが有効なインターフェースである場合にのみ表示されます。

## [Wi-Fiモジュール]

取り付けられた無線LANモジュールの名前を表示します。

無線LANが取り付けられていて、Wi-Fiが有効なインターフェースである場合にのみ表示されます。

## [Bluetooth]メニュー

Bluetooth接続を設定します。

[Bluetooth]メニューには、以下の設定項目があります。

### [有効]

Bluetooth機能を有効または無効にします。

### [名前]

プリンタのデバイス名を設定します。

1～53文字で入力します。英数字（大文字および小文字）および記号を使用できます。

### [PINコード]

PINコードを設定します。

4～16桁のPINコードを入力できます。英数字（大文字および小文字）および記号を使用できます。

### [BDアドレス]

プリンタのBDアドレスを表示します（このアドレスは変更できません。）

### [BDバージョン]

Bluetoothのファームウェアバージョンを表示します。（この値は変更できません。）

### [iOS再接続機能]

iOS再接続機能を無効または手動モードに設定します。

### [認証]

認証レベルを設定します。

### [ISI]

ISI通信パラメータを設定します。

設定範囲は、0、または18～4096です。

ISW通信パラメータの設定値以上の値を設定してください。

### [ISW]

ISW通信パラメータを設定します。



設定範囲は、0、または18～4096です。

ISI通信パラメータの設定値により、表示される設定範囲が異なります。

ISI通信パラメータの設定値以下の値を設定してください。

## [PSI]

PSI通信パラメータを設定します。

設定範囲は18～4096です。

PSW通信パラメータの設定値以上の値を設定してください。

## [PSW]

PSW通信パラメータを設定します。

設定範囲は18～4096です。

PSI通信パラメータの設定値により、表示される設定範囲が異なります。

PSI通信パラメータの設定値以下の値を設定してください。

## [CRCチェック]

CRCチェック機能を有効または無効にします。

## [通信プロトコル]

通信プロトコルを設定します。

## [Wi-Fi]メニュー

[Wi-Fi]メニューには、以下の設定項目があります。

### [Wi-Fi設定]

無線LANを設定します。

[Wi-Fi] > [有効]の設定が有効の場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

### [IPv4] (Wi-Fi)

Wi-FiのIPv4を設定します。



- [モード]が[DHCP]のときは、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]、[DNSプライマリアドレス]、[DNSセカンダリアドレス]を変更できません。
- 

設定項目は以下のとおりです。

#### [モード]

IPアドレスの割り当て方法を選びます。

#### [IPアドレス]

IPアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[DHCP]を選択している場合、画面にDHCPサーバーから取得したIPアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、IP アドレスを設定します。

#### [サブネットマスク]

サブネットマスクアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[DHCP]を選択している場合、画面にDHCPサーバーから取得したサブネットマスクアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、サブネットマスクアドレスを設定します。

#### [ゲートウェイ]

デフォルトゲートウェイアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[DHCP]を選択している場合、画面にDHCPサーバーから取得したゲートウェイアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。

#### [DNSプライマリアドレス]/[DNSセカンダリアドレス]

DNSサーバーのアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[DHCP]を選択している場合、画面にDHCPサーバーから取得したDNSサーバーのアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、DNSサーバーのアドレスを設定します。

## [IPv6] (Wi-Fi)

Wi-FiのIPv6を設定します。



- [モード]が[固定アドレス]以外のときは、[IPアドレス]、[プレフィックス長]、[ゲートウェイ]、[DNS]を変更できません。
- 

設定項目は以下のとおりです。

### [モード]

IPアドレスの割り当て方法を選択するか、IPv6を無効にします。

### [IPアドレス]

IPアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[自動設定]または[DHCP]を選択している場合、画面に取得したIPアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、IP アドレスを設定します。

### [プレフィックス長]

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、プレフィックスを設定します。

### [ゲートウェイ]

デフォルトゲートウェイアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[自動設定]または[DHCP]を選択している場合、画面に取得したゲートウェイアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。

### [DNS]

DNSサーバーのプライマリアドレスを設定および確認します。

[モード]メニューで[自動設定]または[DHCP]を選択している場合、画面に取得したDNSサーバーのアドレスが表示されます。

[モード]メニューで[固定アドレス]を選択している場合、DNSサーバーのアドレスを設定します。

## [ポート]

TCP/IPポート番号を設定します。



- 設定と機能についての詳細は、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。
- 

設定項目は以下のとおりです。

### [ポート番号1]

ポート1のポート番号を設定します。

### [ポート番号2]

ポート2のポート番号を設定します。

### [ポート番号3]

ポート3のポート番号を設定します。

### [通信プロトコル]

通信プロトコルを設定します。

### [TCP接続待ち]

複数のホストやアプリケーションからの接続要求時に、接続待ちをおこなうか設定します。

### [Legacy Status設定]

ポート番号3の返送ステータスフォーマットを互換モードにするかを設定します。

[通信プロトコル]メニューで[なし]を選択している場合は表示されません。

### [ENQ応答遅延時間]

ステータス要求ENQに対するステータス返送の応答を遅らせる時間を設定します。

[通信プロトコル]メニューで[Status4]を選択している場合は設定できません。

### [Status4周期応答間隔]

ステータス返送の周期の応答間隔を設定します。

[通信プロトコル]メニューで[Status4]を選択している場合にのみ設定できます。

## [Wi-Fi Direct]

Wi-Fi Direct機能を設定します。

### [デバイス名]

プリンタのデバイス名を手動で入力します。

## [Wi-Fi 接続設定]

無線LANの設定をします。

設定項目は以下のとおりです。

### [SSID]

SSIDを設定します。接続するネットワークの名称を手動で入力します。

最大32文字で入力します。英数字（大文字および小文字）および記号を使用できます。

### [ESS-IDステルス機能]

隠しSSID（ステルス機能）を設定します。

[モード]メニューで[Infrastructure]を選択している場合にのみ表示されます。

### [モード]

無線LANの通信方式を設定します。

### [周波数帯]

周波数帯を設定します。

[モード]メニューで[Infrastructure]を選択している場合にのみ表示されます。

### [チャンネル]

通信チャンネルを設定します。

[モード]メニューで[Ad-hoc]を選択している場合のみ、[チャンネル]を設定できます。

### [セキュリティ]

ネットワークのセキュリティ方式を設定します。プリンタ、ホスト、ネットワーク機器のセキュリティ方式が一致するように設定してください。

### [WEP設定]

WEPキーを設定します。

[セキュリティ]メニューで[WEP]を選択している場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

#### [認証]

WEP認証方式を設定します。

#### [キーインデックス]

キーインデックスを設定します。

キーインデックス（WEPキー）は、接続する無線LANのアクセスポイントに合わせて設定します。

#### [キー1]～[キー4]

WEPキー1～4を設定します。

アルファベット（大文字および小文字）および数字を入力できます。

### [WPA設定]

WPA認証を設定します。

[セキュリティ]メニューで[WPA2+WPA]または[WPA2]を選択している場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

### [EAP設定]

EAP機能を設定します。

[WPA認証]メニューで[パーソナル (PSK)]以外の項目を選択している場合、または[セキュリティ]メニューで[ダイナミックWEP]を選択している場合にのみ表示されます。

設定項目は以下のとおりです。

#### [EAPモード]

EAPモード（認証モード）を設定します。

#### [内部方式]

内部方式を設定します。

[EAPモード]メニューで[FAST]、[PEAP]、または[TTLS]を選択している場合にのみ表示されず。

#### [ユーザー名]

ユーザー名を設定します。

0～63文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

### [パスワード]

パスワードを設定します。

0~32文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

### [外部匿名ID]

外部IDを設定します。

[EAPモード]メニューで[FAST]、[PEAP]、または[TLS]を選択している場合にのみ表示されます。

0~63文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

### [サーバー証明認証]

サーバー認証を有効または無効にします。

[EAPモード]メニューで[LEAP]以外の項目を選択している場合に表示されます。

### [秘密鍵パスワード]

秘密鍵パスワードを設定します。

[EAPモード]メニューまたは[内部方式]メニューで[TLS]を選択している場合にのみ表示されます。

0~64文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

### [PACプロビジョニング]

PACの自動プロビジョニングを有効または無効にします。

[EAPモード]メニューで[FAST]を選択している場合にのみ表示されます。

### [PACパスワード]

PACパスワードを設定します。

[EAPモード]メニューで[FAST]を選択しており、かつ[PACプロビジョニング]を無効にしている場合にのみ表示されます。

0~64文字で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

## [WPA認証]

WPA認証方式を設定します。

### [事前共有キー]

PSK共有キーを設定します。

[WPA認証]メニューで[パーソナル (PSK)]を選択している場合にのみ表示されます。

8~63文字のASCII文字、または64桁の16進数で入力します。アルファベット、数字、および記号を使用できます。

## [有効]

Wi-Fi接続を有効または無効にします。

---

# よくあるご質問（Q&A） ・ お問い合わせ

---

## よくあるご質問（Q&A）

プリンタやプリンタドライバ、ラベル発行ツールなどの関連ソフトウェアやサプライ品などに関してよくいただくご質問については、サトーホームページのよくあるご質問をご覧ください。

 <https://www.sato.co.jp/support/faq/>

## 弊社ホームページのお問い合わせページ

 <https://www.sato.co.jp/contact/>

***SAVO***